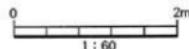
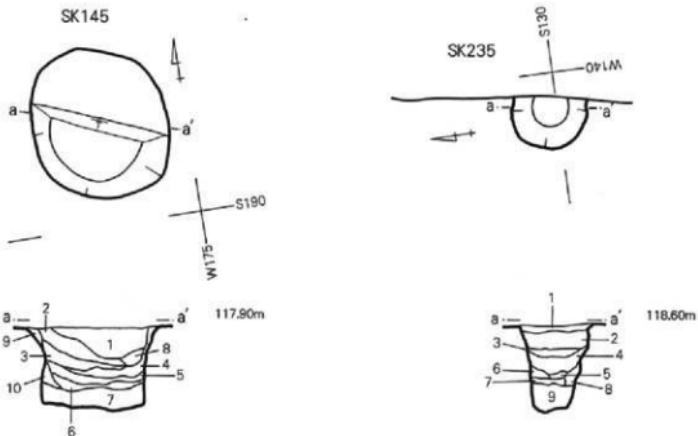


遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK10	1	7.5YR2/2 黒褐色	砂質土	φ = 5~10mm, 8cm大の地山ブロック (10YR4/6) を含む。
	2			1と3の中間。
	3	7.5YR2/2 黒褐色	砂質土	地山ブロックがまだら状に混在。

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK123	1	10YR2/1 黒色	シルト	地山 (10YR4/4) 土塊混入有。磚2点混入。その他遺物なし。
	2	10YR2/1 黒色	シルト	
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山 (10YR4/4) 土塊混入有。磚ブロック状混入少風靡される。
SK131	1	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒 (10YR4/4) が少量混入。
	2	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒 (10YR4/4) が少量混入。
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト質土	地山砂粒 (10YR4/4) が少量混入。色調やや赤味が強い。
	4	10YR3/2 黒褐色	シルト質土	地山砂粒 (10YR4/4) が少量混入。又、ブロック状混入も少量あり。
	5	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒 (10YR4/4) が微量混入。
	6	10YR3/3 暗褐色	砂質土(細砂)	地山砂粒 (10YR4/4) が多量混入。
	7	10YR2/2 黒褐色	シルト質土	地山砂粒 (10YR4/4) が多量混入。
	8	10YR4/4 褐色	砂質土	黒色ブロックがまじる。
	9	10YR3/1 黒褐色	砂質シルト	地山の崩落土 (10YR4/4) が多量混入。
	10	10YR3/1 黒褐色	砂質シルト	地山崩落土 (10YR4/4) が少量混入。



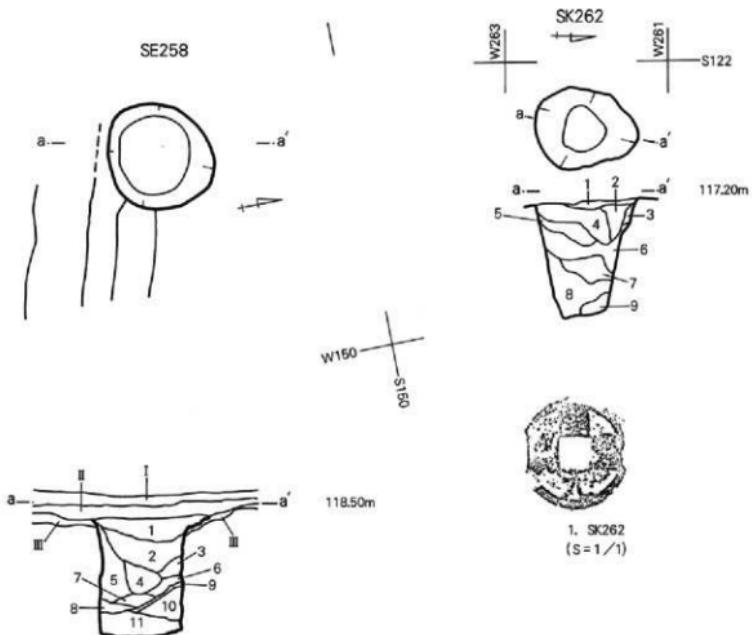
第46図 吉原 I 遺跡SK10・123・131土坑



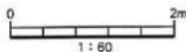
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK145	1	10YR2/3 黒褐色	砂質土	均一。ややゆるい。
	2	10YR2/2 黒褐色	砂質土	10YR5/4砂礫の輪(1~5cm)を含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	砂質土	均一。しまる。
	4	10YR2/3 黒褐色	砂質土	7.5YR4/4砂質土の粒子(5~8mm)を含む。
	5	10YR2/3 黒褐色	砂質土	10YR5/2砂質土(地山土)などか、層状に混じる。
	6	10YR2/1 黒色	砂質土	10YR5/4砂礫の輪(3~5cm)を少々含む。
	7	7.5YR3/2 黒褐色	砂質粘土	均一。しまる。
	8	10YR3/1 黒褐色	砂質土	均一。しまる。
	9	10YR3/1 黒褐色	砂質土	地山土(10YR4/3砂質土)の崩落混じる。
	10	10YR3/1 黒褐色	砂質土	地山土を少々混じる。
SK235	1	10YR2/2 黒褐色	土	7.5YR4/6土粒・同ブロックを少量含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	1よりやや暗い色調。7.5YR4/6土粒(2~5mm大)を1よりやや少なく含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	土	7.5YR4/6土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	土	7.5YR4/6土粒(2~3mm大)をわずかに含む。
	5	7.5YR3/4 黒褐色	砂	10YR2/2土粒、7.5YR4/6土粒を少量含む。
	6	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/4土を斑状に中程度含む。
	7	10YR2/2 黒褐色	土	7.5YR4/6褐色土を斑状に6より多く含む。
	8	10YR4/4 褐色	細砂	10YR2/2土ブロックを少量含む。
	9	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/4土ブロックを少量含む。



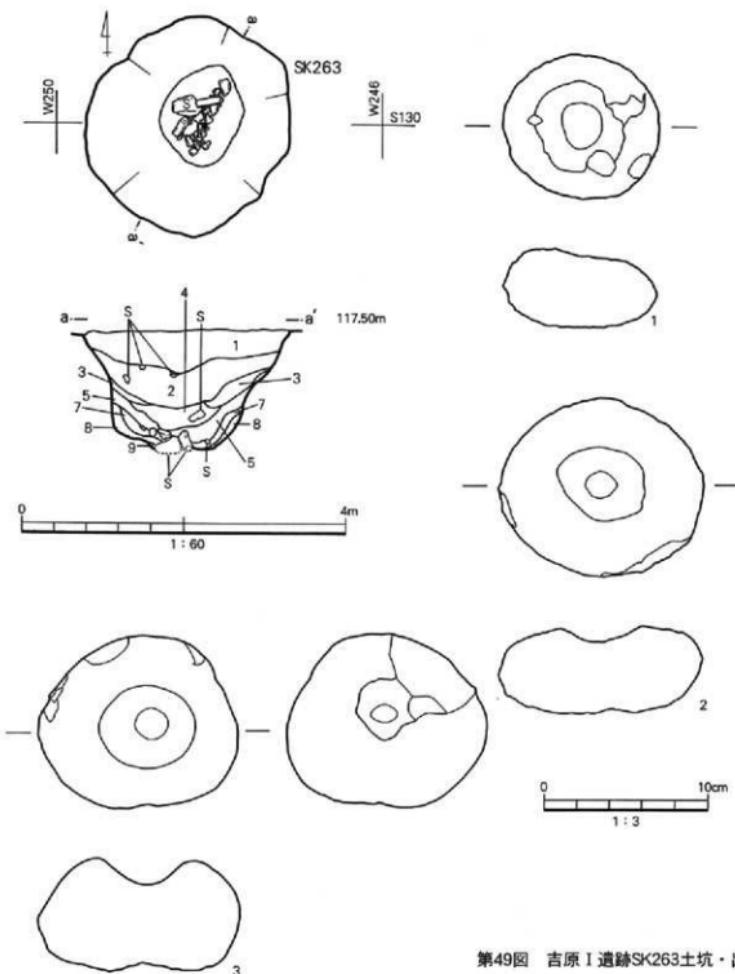
第47図 吉原 I 遺跡SK145・235土坑



遺構番号	層位	土色	土質	圖号
SE258	I	10YR3/2 黒褐色	土 小穂を少量含む。	
	II	10YR3/2 黒褐色	土 10YR5/6土粒 (2~3mm大) をわずかに含む。小穂を含む。I よりやや暗い色調。	
	III	10YR4/4 黄色	砂質 10YR3/2土粒を塊状に中程度含む。	
	1	10YR2/2 黒褐色	土 10YR4/4土粒 (1~3mm大) を少量含む。小糸繊 (1~5mm大) を中程度含む。	
	2	10YR2/2 黒褐色	土 10YR4/4土粒をよりやや多く含む。I よりもやや暗い色調。	
	3	10YR3/1 黒褐色	土 10YR3/2暗褐色砂を斑状に中程度含む。	
	4	10YR3/2 黒褐色	土 10YR4/4土粒・同ブロック、10YR4/4土粒・同ブロックを少量含む。	
	5	10YR3/3 細褐色	土 10YR2/2土粒・同ブロック、10YR4/4土粒・同ブロックを少量含む。	
	6	10YR3/2 黒褐色	土 10YR4/4細砂を塊状に多く含む。丸礫をやや多く含む。	
	7	10YR3/3 細褐色	土 10YR3/2土粒を中程度含む。丸礫を少量含む。	
	8	10YR4/4 黄褐色	土 10YR4/4土粒を中程度含む。	
	9	10YR2/1 黒褐色	土 10YR4/4土粒を少量含む。	
	10	10YR4/4 黄色	砂質 10YR3/2黑褐色砂・同ブロック、10YR4/4細砂のブロックを中程度含む。	
	11	10YR3/2 黒褐色	土 10YR4/4黄褐色砂・同ブロックを中程度含む。	
SK262	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト 地山隙 (2~4mm大) を中程度含む。炭化粧をわずかに含む。	
	2	10YR4/4 黄褐色	砂質シルト 10YR2/2黄褐色砂質土粒を中程度含む。	
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト 地山隙を少量含む。	
	4	10YR2/3 黒褐色	砂質シルト 地山隙・同ブロックを中程度含む。炭化粧を少量含む。	
	5	10YR2/3 黒褐色	砂質土 地山隙・同ブロックを多く含む。	
	6	10YR2/3 黒褐色	砂質土 地山隙・同ブロックを4 より多く含む。	
	7	10YR5/6 鮎褐色	砂質シルト 10YR2/3泥褐色砂質土・同ブロックを少量含む。	
	8	10YR2/2 黒褐色	砂質土 10YR5/6鮎褐色砂質シルト粒・同ブロックを多量に含む。	
	9	10YR2/3 黒褐色	砂質土 地山隙・同ブロックを中程度含む。	



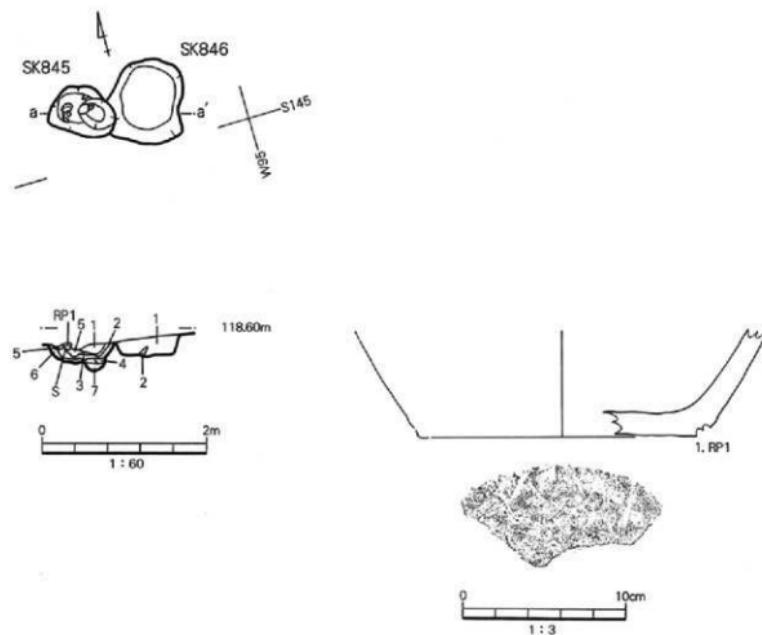
第48図 吉原 I 遺跡SE258井戸跡・SK262土坑・出土遺物



第49図 吉原 I 遺跡SK263土坑・出土遺物

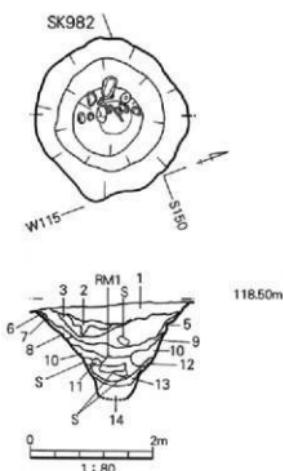
遺物番号	層位	土 質	土 質	備 考
SK263	1	10YR2/3 黒褐色	土	地山灰、丸礫(8cm前大)を少量含む。10YR2/1黒色土+ロックをわずかに含む。炭化粒を少量含む。
	2	10YR2/3 黒褐色	土	1よりやや明るい色調。ぼそぼそしている。炭化粒・礫山灰を少量含む。小礫を含む。砂までりでざらざらしている。
	3	7.5YR3/2 黑褐色	土	細かい土を多く含む。10YR2/2黒褐色土+粘土 (2~4mm前大) を少量含む。(壁の崩落土)
	4	10YR3/3 黑褐色	土	1より明るい色調。10YR2/3黒褐色土+粘土 (2~3mm前大) を多く含む。
	5	10YR3/5 黑褐色	粘質土	10YR5/5黒褐色細砂土+粘土+ロック。10YR2/3黒褐色土+粘土を少量含む。(壁の崩落土)
	6	7.5YR4/4 黒色	土	砂までり、ざらざらしている。
	7	7.5YR3/2 黑褐色	土	炭化粒をわずかに含む。地山灰 (2~3mm前大) を少量含む。
	8	10YR4/6 黒色	土	砂までり、10YR2/3黒褐色土+粘土を少量含む。
	9	10YR2/2 黑褐色	土	地山灰を少量含む。

III 吉原 I 遺跡

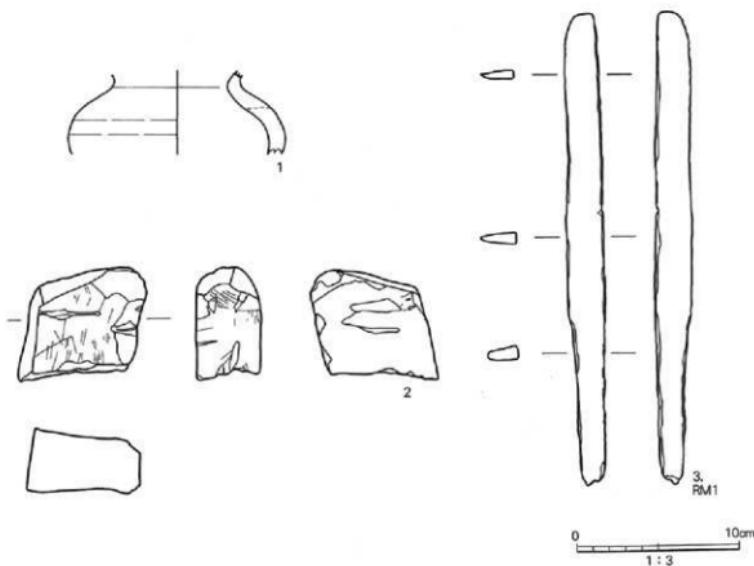


第50図 吉原 I 遺跡SK845・846土坑・出土遺物

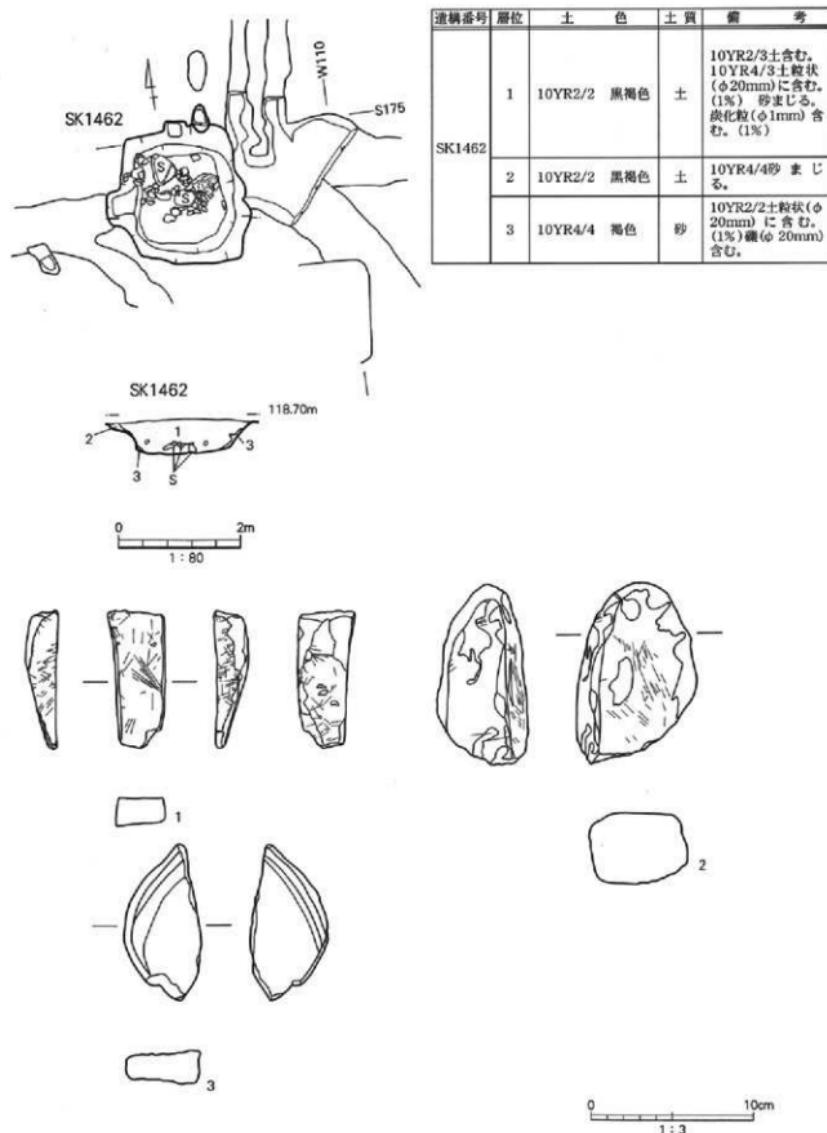
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK845	1	7.5YR2/1 黒色	土	ほぼ均質。塊土粒(Φ 2~3mm)含む。(1%)
	2	10YR2/1 黒色	土	ほぼ均質。塊土粒(Φ 2~4mm)含む。(1%)
	3	10YR2/1 黒色	土	焼土まじる。にごる。
	4	10YR2/1 黒色	土	均質。
	5	鉄分層		10YR2/2土まじる。にごる。
	6	鉄分層		ほぼ均質。
	7	10YR2/2 黒褐色	土	鉄分多量に含む。
SK846	1	10YR2/2 黒褐色	土	ほぼ均質。礫(Φ 2mm)まじる。
	2	10YR2/1 黒色	土	均質。



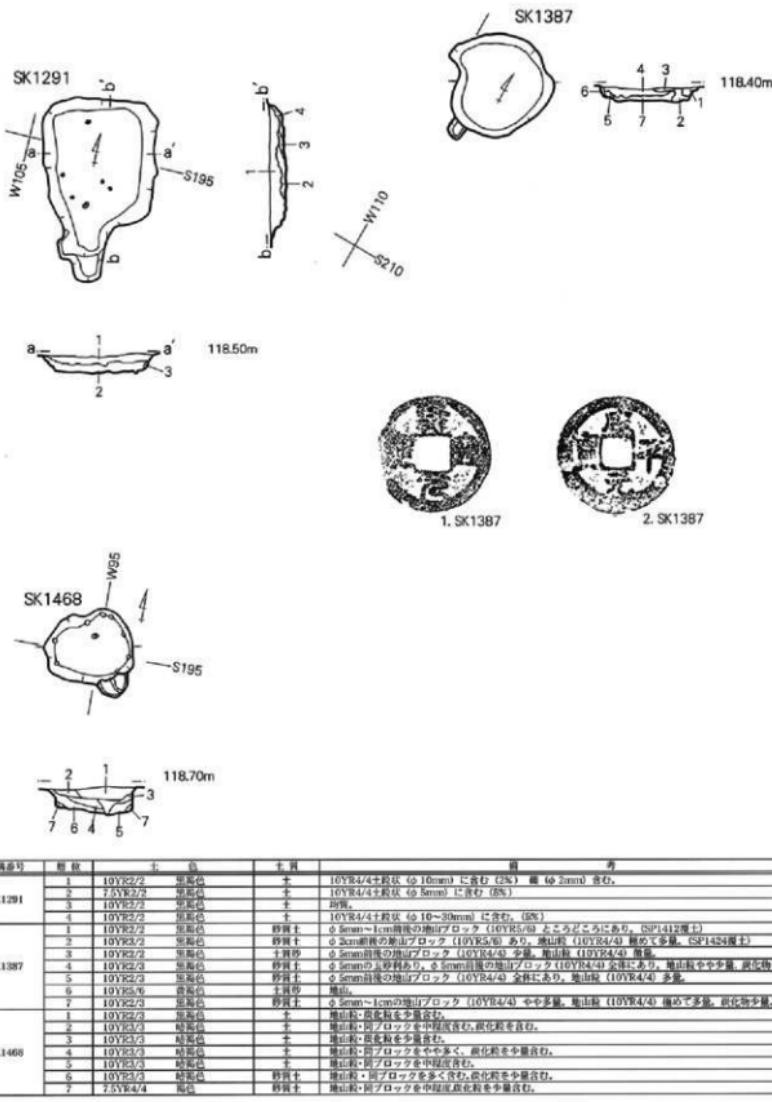
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK982	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/6土塊状(φ 5~10mm)に含む(1%) 鐵(φ 2~5mm)含む。 10YR2/1土塊状(φ 5mm)に含む(1%) 鐵土塊(φ 1mm)含む(1%)
	2	7.5YR2/1 黒色	シルト	10YR5/6土塊状(φ 5~20mm)に含む(1%)
	3	7.5YR2/1 黒色	土	10YR5/6土まだらに含む(30%)
	4	7.5YR2/1 黒色	シルト	10YR5/6土塊状(φ 20mm) 若干含む。
	5	10YR2/1 黒色	シルト	10YR2/2土まだらにまじる(40%)
	6	10YR5/6 黄褐色	細砂	10YR5/6土塊状(φ 20mm)
	7	10YR5/6 黄褐色	細砂	均質。
	8	10YR2/1 黒色	土	10YR5/6細砂まだらにまじる(40%)
	9	7.5YR2/1 黒色	シルト	7.5YR2/1シルトまだらにまじる。(10%) 全体的に非常に粘性が強い。
	10	7.5YR2/1 黒色	シルト	10YR5/6鐵砂塊状(φ 10~30mm)に含む。(5%)
	11	7.5YR2/1 黒色	シルト	砂まじり。地山絆・河ブロックを少含む。河限石(15~30cm)を含む。
	12	10YR2/1 黒色	土	10YR2/1土粒を少含む。
	13	10YR3/4 噴褐色	砂	10YR3/4砂粒・同ブロック、地山絆・同ブロックを多く含む。
	14	10YR2/1 黒色	土	10YR3/4砂粒・同ブロック、地山絆・同ブロックを多く含む。



第51図 吉原 I 遺跡SK982土坑・出土遺物



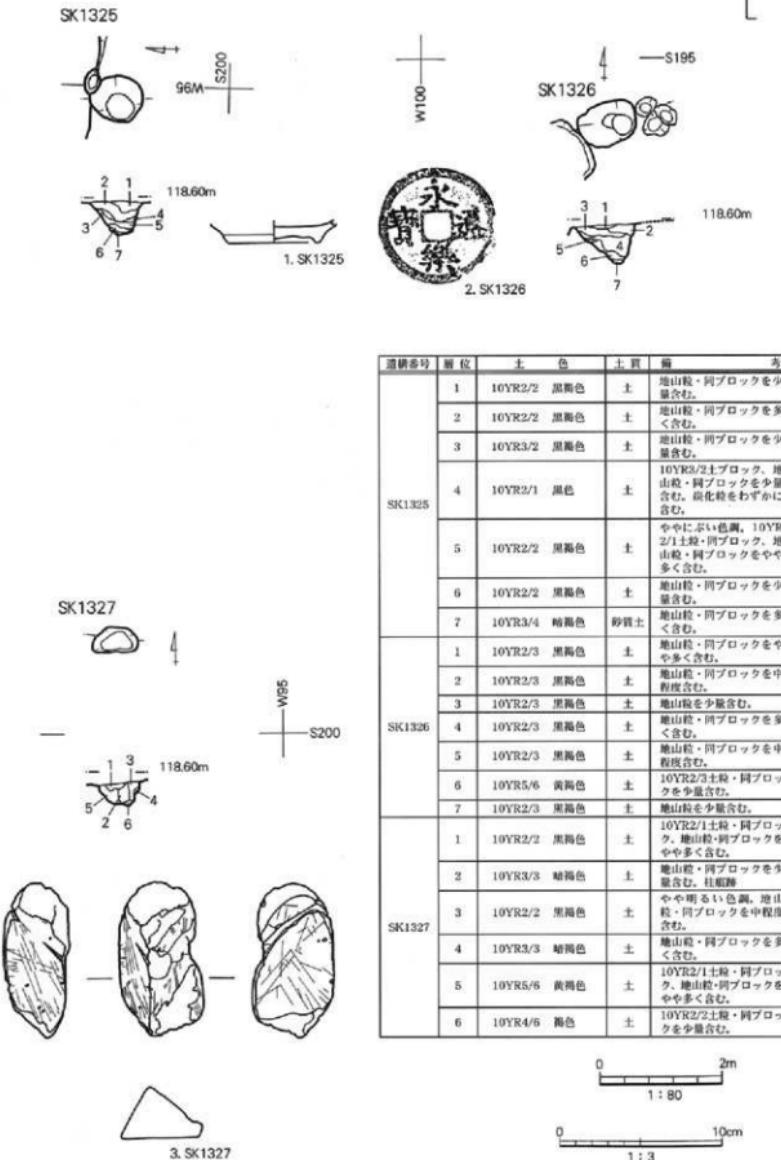
第52図 吉原 I 遺跡SK1462土坑・出土遺物



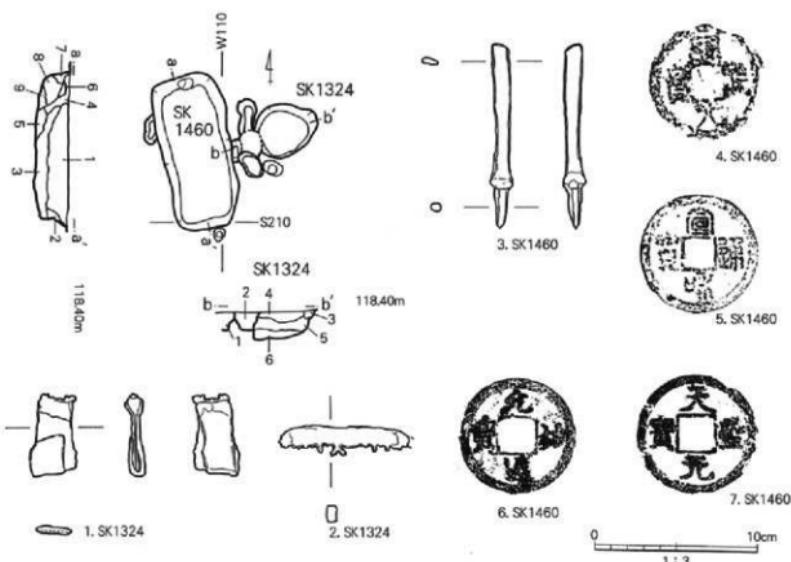
遺構番号	形 独	土 色	土 性	標 期
SK1291	1	10Y5/2-2	褐褐色	土。 10YR4/4 千枚状 (d. 10mm) に含む (2%) 硫 (d. 2mm) 少々。
	2	10Y5/2-2	褐褐色	土。 10YR4/4 千枚状 (d. 8mm) に含む (8%)
	3	10Y5/2-2	褐褐色	地質。
	4	10Y5/2-2	褐褐色	土。 10YR4/4 千枚状 (d. 10~30mm) に含む (8%)
SK1387	1	10Y5/2-2	褐褐色	砂質土。 Ø 8mm~1cm程度の地山ブロック (10YR5/6) とごくごく多くあり。 SP1412層上。
	2	10Y5/2-2	褐褐色	砂質土。 Ø 2cm程度の地山ブロック (10YR5/6) あり。 地山層 (10YR4/4) 混めて多量。 SP1424層上。
	3	10Y5/2-2	土褐色	Ø 8mm程度の地山ブロック (10YR4/4) 少量。 地山層 (10YR4/4) 混在。
	4	10Y5/2-2	褐褐色	砂質土。 Ø 8mm程度の地山ブロック (10YR4/4) 多量あり。 地山層や少少量。 地山層上。
	5	10Y5/2-2	褐褐色	Ø 8mm程度の地山ブロック (10YR4/4) 多量あり。 地山層 (10YR4/4) 多量。
	6	10Y5/2-2	褐褐色	Ø 8mm程度の地山ブロック (10YR4/4) 多量あり。 地山層 (10YR4/4) 多量。
	7	10Y5/2-2	紺質土	Ø 8mm~1cm程度の地山ブロック (10YR4/4) やや多量。 地山層 (10YR4/4) 混めて多量。 地物少。
SK1468	1	10Y5/2-2	褐褐色	地山層。 Ø 1cm程度の地山ブロック (10YR4/4) やや多量。 地山層 (10YR4/4) 混めて多量。 地物少。
	2	10Y5/2-2	褐褐色	地山層。 地下鉄を多量含む。
	3	10Y5/2-2	紺質土	地山層。 地下鉄を多量含む。
	4	10Y5/2-2	紺質土	地山層。 地下鉄をやや多く、 硫化鉄を少量含む。
	5	10Y5/2-2	紺質土	地山層。 地下鉄を中程度含む。
	6	10Y5/2-2	紺質土	地山層。 地下鉄を多く含む。 硫化鉄を少量含む。
	7	7.5Y5/4-4	褐色	地山層。 地下鉄を中程度含む。

0
2m
1 : 80

第53図 吉原 I 遺跡SK1291・1387・1468土坑・出土遺物



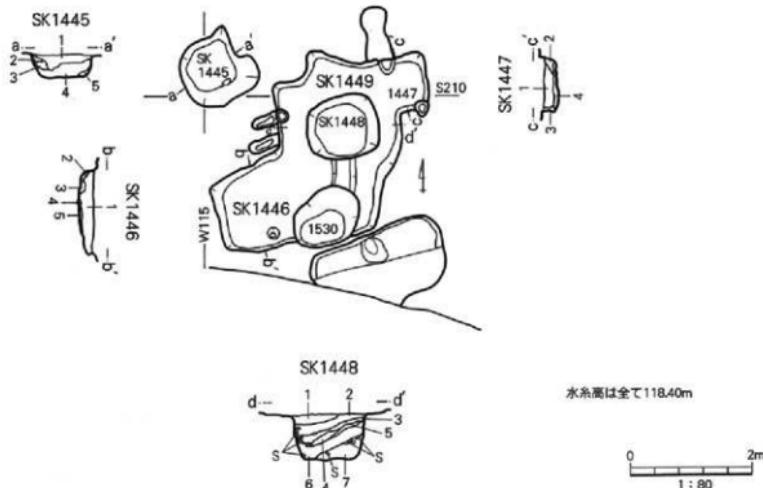
第54図 吉原 I 遺跡SK1325・1326・1327土坑・出土遺物



面積番号	組 編	土 質	土 質	標 錙
SK1460 ax'	1	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入少量。埴山砂小プロック混入少量。(鉢上・縁より古瓦出) 塗化物片
	2	10YR3/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入少量。埴山砂小プロック混入や多量。塗化物片混入少量。
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入少量。埴山砂小プロック混入少量。
	4	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入少量。埴山砂小プロック混入や多量。鉢内付着土少量。
	5	10YR3/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入多量。埴山砂小プロック混入や多量。鉢内付着土少量。
	6	10YR3/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入多量。埴山砂小プロック状混入多量。
	7	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂粗粒入や多量。埴山砂小プロック状混入多量。
	8	10YR3/3 暗褐色	砂質土	埴山砂粗粒入多量。埴山砂小プロック状混入や多量。鉢内付着土少量。塗化物片混入少量。
SP1507	9	10YR4/3 に赤い青褐色	砂質土	埴山砂粗粒入多量。埴山砂小プロック状混入や多量。塗化物片混入少量。
	10	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢プロックを中程度含む。塗化物片含む。(10YR4/3) 多量。
SK1324 b'b'	1	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢プロックを多く含む。塗化物片含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢プロックを3より多く含む。塗化物片含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質土	4より多く埴山砂・鉢プロックを多く含む。塗化物片含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢プロックを(3cm前後) 10YR5/40 や少量。
	5	10YR2/2 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢や多量。
SK1367	6	10YR5/4 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢(3cm前後) 10YR5/40 や少量。
	7	10YR2/2 黒褐色	シルト	埴山砂・鉢(3cm前後) 10YR5/40 や少量。
	8	10YR3/2 黒褐色	シルト	埴山砂・鉢(3cm前後) 10YR5/40 多量。
	9	10YR3/1 黒褐色	砂質土	埴山砂・鉢(3mm前後) 10YR5/40 あり。埴山砂。
	10	10YR3/2 黒褐色	砂質土	埴山砂。

第55図 吉原I遺跡SK1460・1324・1367土坑・出土遺物

図 吉原 I 遺跡



遺構番号	形	土色	土質	面	西
SK1445	1	IORY2/2 黄褐色	土	通山斜・同ブロックキテ無む。底土粒、炭化物を含む。	
	2	IORY3/3 暗褐色	土	やや黄褐色。通山斜・同ブロック多く含む。	
	3	IORY3/3 暗褐色	土	通山斜・同ブロックキテ無む。下部に断山大ブロックを含む。	
	4	IORY3/3 暗褐色	砂質土	通山斜・同ブロック・1.5m以上厚く。同ブロックをやや多く含む。上部はやや明るい白泥。	
	5	IORY4/6 黄褐色	砂質土	IORY3/3 暗褐色土を含む。	
SK1446	1	IORY2/2 黄褐色	土	通山斜・同ブロックを中程度含む。炭化物を含む。	
	2	IORY5/6 褐褐色	砂質土	ブロックの塊。	
	3	IORY3/3 黄褐色	砂質土	通山斜・同ブロックを中程度含む。	
	4	IORY3/4 黄褐色	砂質土	通山斜・同ブロックキテ無む。	
	5	IORY5/8 黄褐色	土	IORY2/2 残段・同ブロックを中程度含む。	
SK1447	1	IORY2/1 黄褐色	砂質土	通山斜面人跡・地盤ハーフロック状泥人少見。	
	2	IORY2/1 黄褐色	砂質土	通山斜面人跡・地盤ハーフロック状泥人少見。	
	3	IORY2/1 黄褐色	砂質土	通山斜面人跡・地盤ハーフロック状泥人少見。	
	4	IORY2/1 黄褐色	砂質土	通山斜面人跡・地盤ハーフロック状泥人少見。	
SK1448	1	IORY3/2 黄褐色	砂質土	通山斜・同ブロック・炭化物・同ブロックを多く含む。	
	2	IORY3/4 黄褐色	砂質土	通山斜・同ブロック・1.0m以上多く含む。底土粒、瓦礫(2~3mm大)を含む。	
	3	IORY3/4 黄褐色	砂質土	2.0m以上やや明るい白泥。通山斜・同ブロックを多く含む。底土粒を少含む。	
	4	IORY3/4 黄褐色	砂質土	同砂泥・1.0m以上多く含む。底土粒を多く含む。	
	5	IORY3/4 黄褐色	砂質土	通山斜・同ブロックを中程度含む。底土粒を少含む。	
	6	IORY3/4 黄褐色	砂質土	通山斜・同ブロック・1.0m以上多く含む。底土粒を少含む。	
	7	IORY3/4 黄褐色	砂質土	通山斜・1.0m以上大・多く含む。底土粒・同ブロックを中程度含む。	



1. SK1445



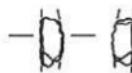
2. SK1530



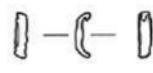
3. SK1447



4. SK1449



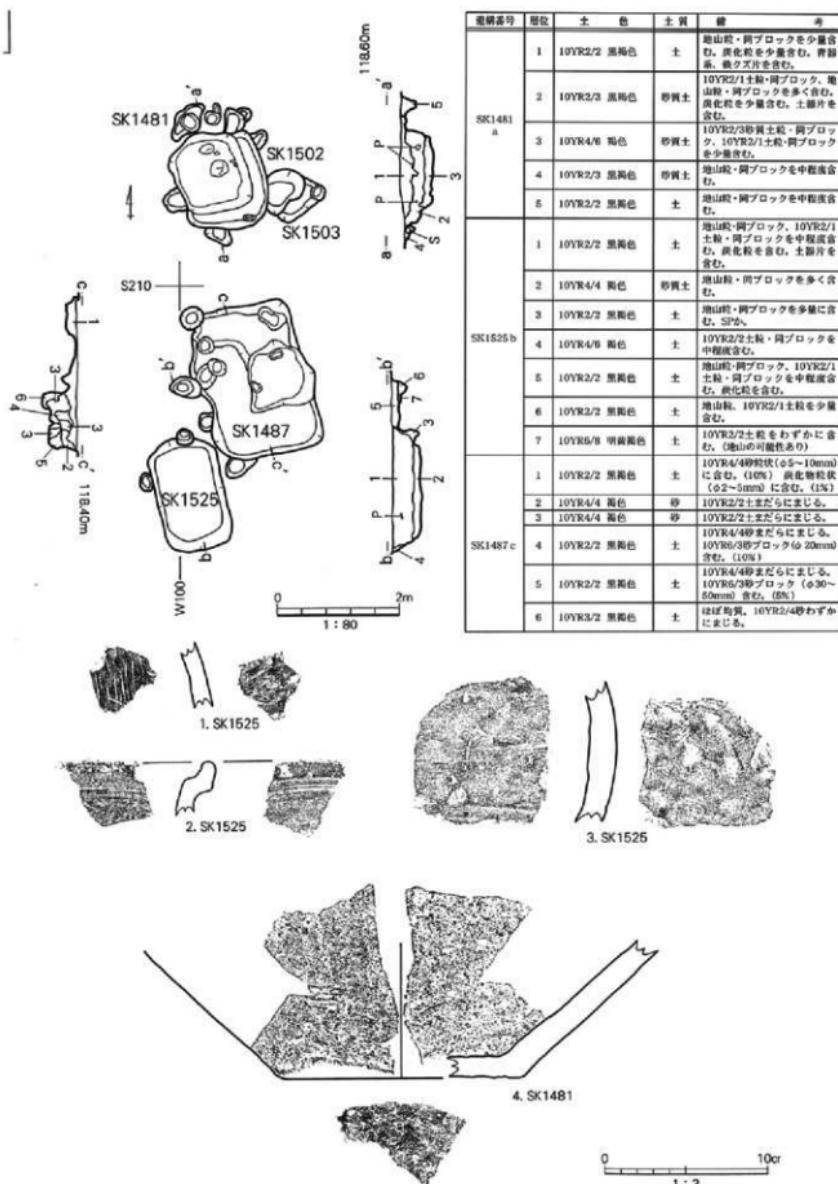
5. SK1448



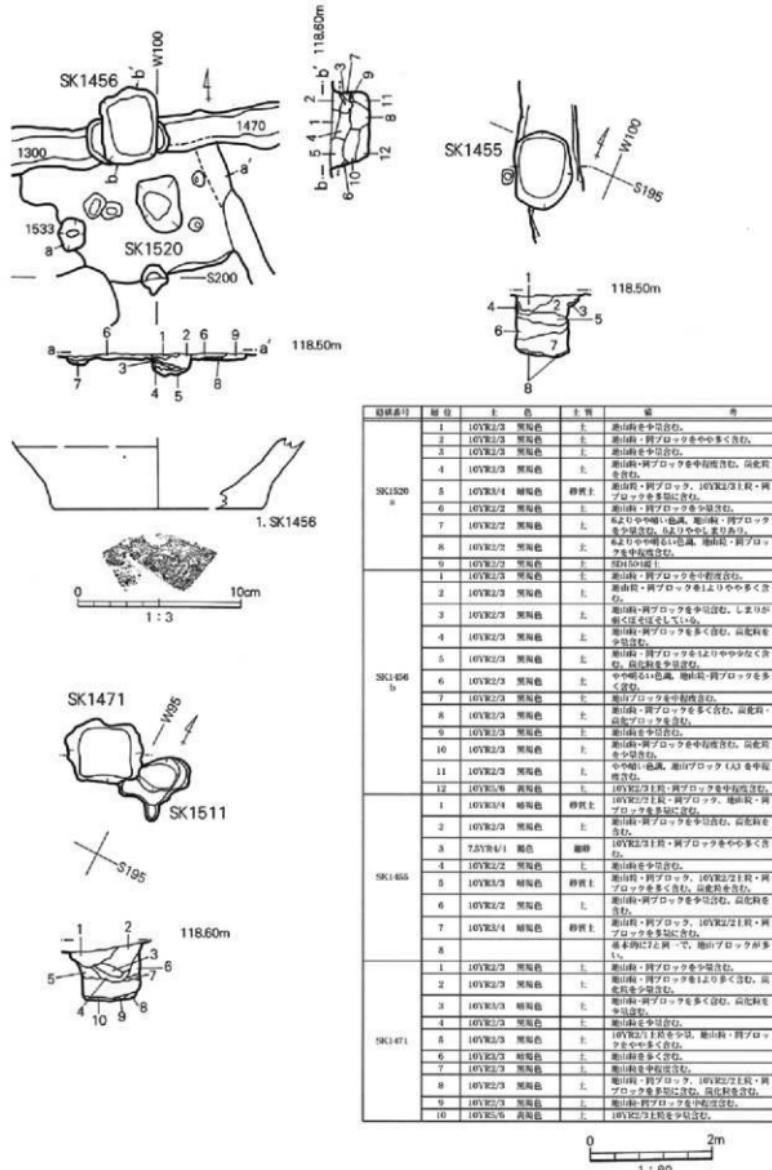
6. SK1447



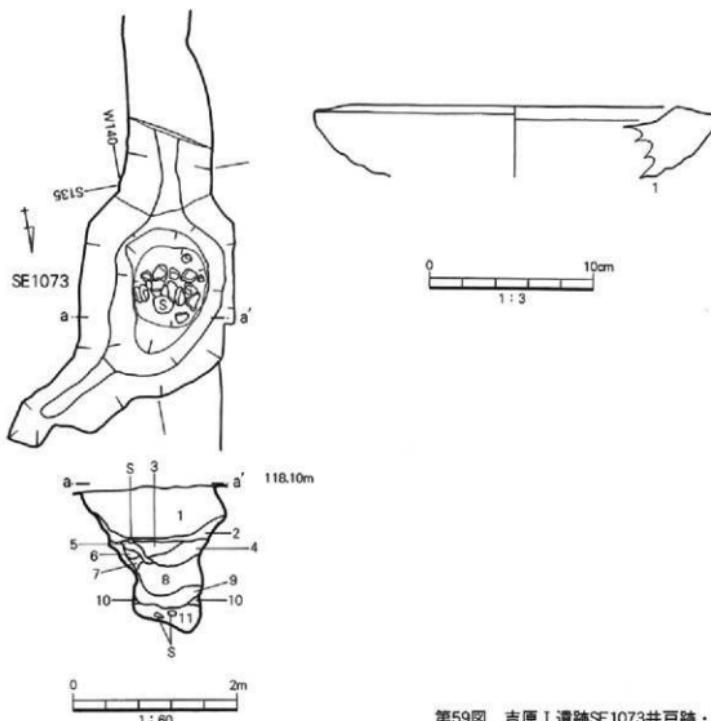
第56図 吉原 I 遺跡SK1445・1446・1447・1448・1449土坑・出土遺物



第57図 吉原 I 遺跡SK1481・1487・1525土坑・出土遺物



第58図 吉原 I 遺跡SK1456・1520・1455・1471土坑・出土遺物

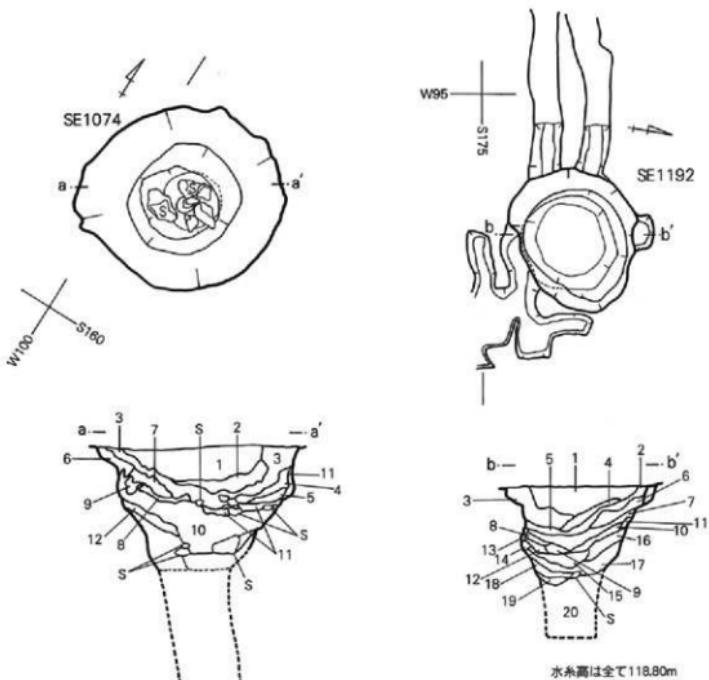


第59図 吉原I遺跡SE1073井戸跡・出土遺物

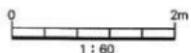
遺構番号	層位	土 色	土 質	備 考
SE1073	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YRA/6 ブロックを火成状に含む。
	2	10YR4/4 淡色	砂質土	100% 地山と同様。酸化鉄分を微量含む。
	3	10YR1.7/1 黒色	土	φ 3cm, φ 5cm, φ 10cmの礫を含む。地山粒をまばらに含む。φ 10cm程度の酸化鉄分の塊と粒状の酸化鉄分を微量含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	土	φ 2 cm, φ 5 cmの礫を含む。地山粒をまばらに含む。10YR1.7/1 ブロックを4層全体の20%程含む。
	5	10YR4/4 淡色	砂質土	10YR1.7/1を塊状に10%含む。
	6	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒を微量含む。酸化鉄分を微量含む。
	7	10YR4/4 淡色	土	10YR2/2 ブロックを50%近く混入する。φ 2cmの礫を含む。
	8	10YR2/1 黒色	土	地山粒を帶状に含む。2.5YR1.7/1を帶状に含む。
	9	10YR4/6 淡色	土	φ 10cmの礫を含む。2.5YR3/1の土を帶状に含む。
	10	2.5YR3/1 硝赤灰色	砂質土	10YR2/1 土を微量、粒状に含む。
	11	10YR2/1 黒色	砂質土	地山粒を微量含む。φ 10cm大の礫を二つ含む。酸化鉄分を微量含む。

のなどがある。

遺物は大窯期の瀬戸美濃系の皿(54-1)や水楽通寶(54-2)、砥石(54-3)などが出土している。瀬戸美濃系の皿は外面高台内部に輪ドチの痕跡が認められる。砥石は3面使用されている。



遺跡番号	層位	土色	土質	層位	土色
SE1192	1	10YR2/2 黒褐色	土 地盤斜面を半包围する。樹木根を多く含む。小石を含む。	1	10YR2/2 黒褐色
	2	10YR2/2 黒褐色	同上 同の斜面を半包围する。樹木根とロックを半包围する。	2	10YR2/2 黒褐色
	3	10YR2/2 黒褐色	表土 地盤より、地盤斜面に斜ブロックを多量含む。瓦片 (1cm大) を半包围。	3	10YR2/2 黒褐色
	4	10YR2/2 黒褐色	同上 同の斜面を半包围する。樹木根を含む。	4	10YR2/2 黒褐色
	5	10YR2/2 黒褐色	サトウカズラの根を多く含む。地盤斜面に斜ブロックを半包围。	5	10YR2/2 黒褐色
	6	10YR2/6 黄褐色	同上 同の斜面にいくほどやや薄い黄褐色となる。10YR2/3上層・斜ブロックを半包围。	6	10YR2/6 黄褐色
	7	10YR2/6 黄褐色	同上 同の斜面を半包围する。	7	10YR2/6 黄褐色
	8	10YR2/6 黄褐色	同上 同の斜面を半包围する。	8	10YR2/6 黄褐色
	9	10YR2/4 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	9	10YR2/4 黑褐色
	10	10YR2/4 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	10	10YR2/4 黑褐色
	11	10YR2/4 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	11	10YR2/4 黑褐色
	12	10YR2/2 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	12	10YR2/2 黑褐色
	13	10YR2/3 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	13	10YR2/3 黑褐色
	14	10YR2/4 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	14	10YR2/4 黑褐色
	15	10YR2/4 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	15	10YR2/4 黑褐色
	16	10YR2/2 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	16	10YR2/2 黑褐色
	17	10YR2/2 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	17	10YR2/2 黑褐色
	18	10YR2/2 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	18	10YR2/2 黑褐色
	19	10YR2/4 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	19	10YR2/4 黑褐色
	20	10YR2/2 黑褐色	同上 同の斜面を半包围する。	20	10YR2/2 黑褐色
SE1074	1	10YR2/2 黑褐色	土 10YR2/2 黑褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。10YR2/3 上層にまじる。(20%)	1	10YR2/2 黑褐色
	2	10YR2/2 黑褐色	同上 10YR2/2 黑褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。粘化物 (0.5mm) 有り。(1%)	2	10YR2/2 黑褐色
	3	10YR2/3 黑褐色	同上 10YR2/3 黑褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。粘化物 (0.5mm) 有り。(1%)	3	10YR2/3 黑褐色
	4	10YR2/2 黑褐色	同上 10YR2/2 黑褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	4	10YR2/2 黑褐色
	5	10YR2/2 黑褐色	同上 10YR2/2 黑褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	5	10YR2/2 黑褐色
	6	10YR2/2 黑褐色	同上 10YR2/2 黑褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	6	10YR2/2 黑褐色
	7	10YR2/4 こぶし黒褐色	同上 10YR2/2 黒褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	7	10YR2/4 こぶし黒褐色
	8	10YR2/4 こぶし黒褐色	同上 10YR2/2 黒褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	8	10YR2/4 こぶし黒褐色
	9	10YR2/4 こぶし黒褐色	同上 10YR2/2 黒褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	9	10YR2/4 こぶし黒褐色
	10	10YR2/4 こぶし黒褐色	同上 10YR2/2 黒褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	10	10YR2/4 こぶし黒褐色
	11	10YR2/4 こぶし黒褐色	同上 10YR2/2 黒褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	11	10YR2/4 こぶし黒褐色
	12	10YR2/4 こぶし黒褐色	同上 10YR2/2 黒褐色 60 3mm に含む。(1%) 粘 (0.2mm) 有り。(1%)	12	10YR2/4 こぶし黒褐色



第60図 吉原 I 遺跡SE1074・1192井戸跡

(6) 溝跡

溝跡は多数検出されている。そのほとんどが区画などを目的としたものと考えられる。a～d類に分類を行い、以下、各類に属する主な溝跡について概述する。

a類 幅1m前後で直線的に走るもの。

S D 101・218・219・121・820 (第61・62図)

調査区中央部に検出され、全体で南北77m、東西70mの範囲を区画する溝跡である。幅0.8～1.1m、確認面からの深さ0.1～0.5mを測る。主軸方位は南北軸でN-3°-Eである。壁は緩やかに立ち上がり、底面は平坦で、断面形はU字状や箱型を呈する。覆土は黒褐色土を基調に、レンズ状に堆積する。

遺物はSD101、219覆土から須恵器甕(63-1、3)、土師器坏(63-2)などが出土した。

S D 13・17・1470・1490・1300・1265 (第64図)

調査区南部で検出され、やや蛇行するが、2条平行して東西に走る。ST1やST1456など中世の遺構に一部切られている。幅0.6～1.2m、確認面からの深さ0.1～0.3mを測り、検出長は東西約52mである。主軸方位は南北軸でN-0°30'-Eを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は基本的に平坦だが、一部凹凸がみられる。溝間に遺構が希薄であることから道路状遺構と思われる。

遺物はSD1490から、底部切離しがヘラ切の須恵器坏(64-1)や須恵器甕(64-2)が出土した。

S D 261 (第65図)

C区中央部に検出された、南北に伸びる溝跡である。中央北側で一度途切れ、北と南に分かれるが、形状・覆土から同一遺構と判断した。幅0.8～0.9m、確認面からの深さは0.2～0.4mを測る。主軸方位はN-9°-Eである。南北が調査区外となるため全体の長さは不明であるが、検出長は17.6mである。壁は緩やかに立ち上がり、底面は平坦である。また底面にクワなどの工具の痕跡が確認された。

遺物は覆土上層から底部にヘラ記号「X」のある須恵器坏(65-1)が出土した。

上記の溝跡は出土遺物、覆土などから奈良・平安時代の遺構と考えられる。

S D 819・1214・1174・1102・1077 (第75図)

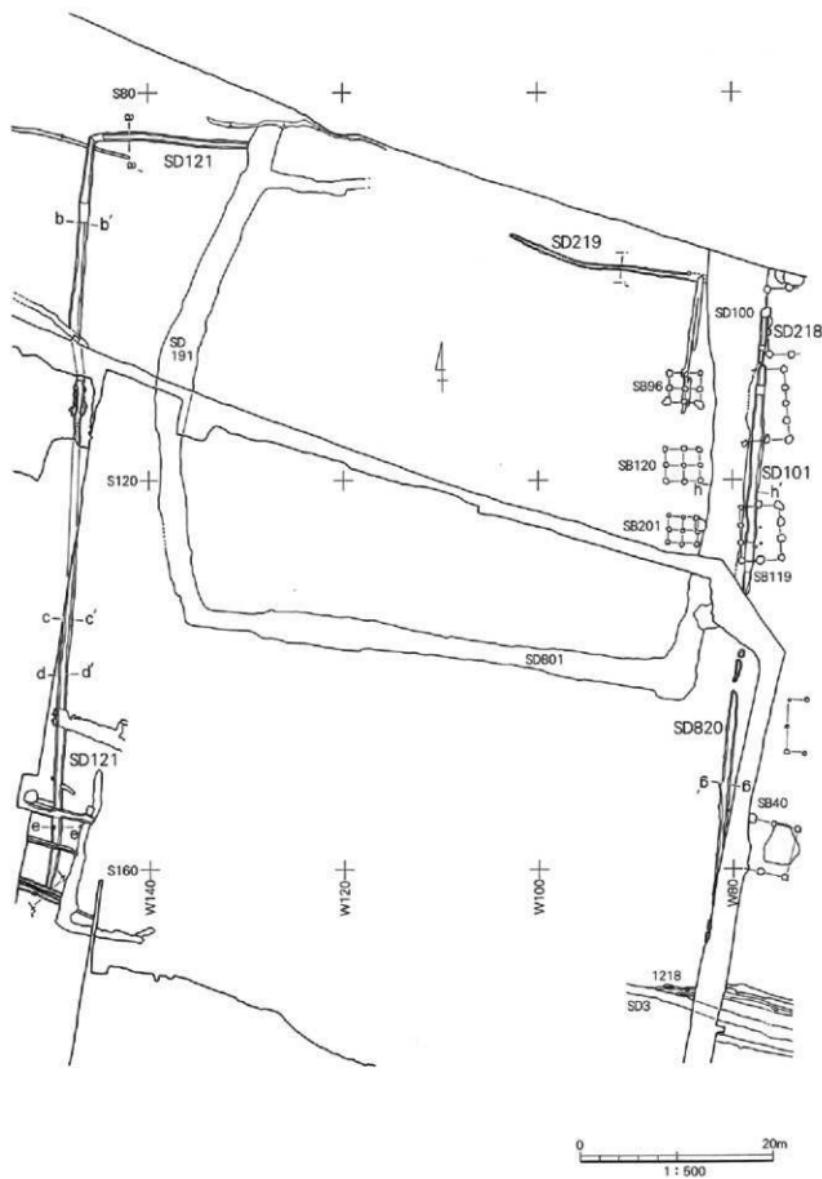
G区北半、SD801の南に検出され、全体で南北30m、東西56mの範囲を区画すると考えられる溝跡である。SD1077、819の北端がSD801のコーナー部付近にあり、SD801の溝跡を意識して構築されたものと思われる。SD801と1214は搅乱により分断されるが、同一遺構と判断される。SD1102、1174が検出された地区は、土取りなどにより上部が削平を受けているため、溝幅も狭く、確認面からの深さも浅い。幅は0.7～1.1m、確認面からの深さは0.5～0.7mを測る。主軸方位は南北軸でN-9°-Eである。壁の立ち上がりは緩やかで、断面形は逆台形状を呈する。底面は平坦である。遺物は出土していない。

b類 幅0.8～2m前後で直線的に走るもの。

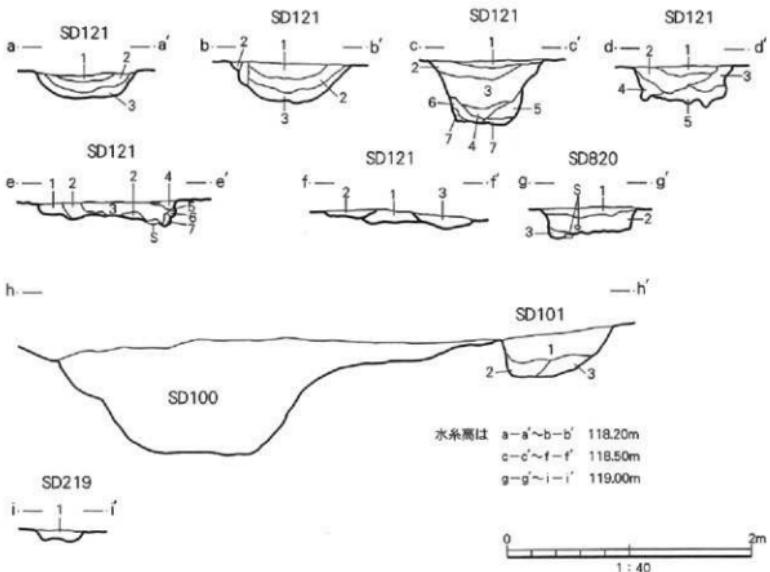
S D 3・1107・1179・1463 (第71図)

A、G区南半に検出され、主軸方向などから、竪穴状遺構を区画すると考えられる溝跡である。SD3、SD1179は、形状・覆土から同一遺構と判断される。

幅0.8～2.1m、確認面からの深さは0.3～0.7mを測る。主軸方位はSD3の南北軸でN-12°-Wで



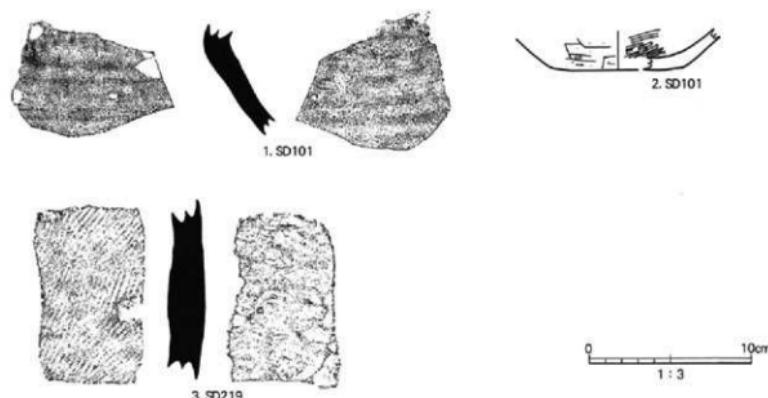
第61図 吉原 I 遺跡SD101・218・219・121・820溝跡平面図



第62図 吉原 I 遺跡SD101・218・219・121・820土層断面

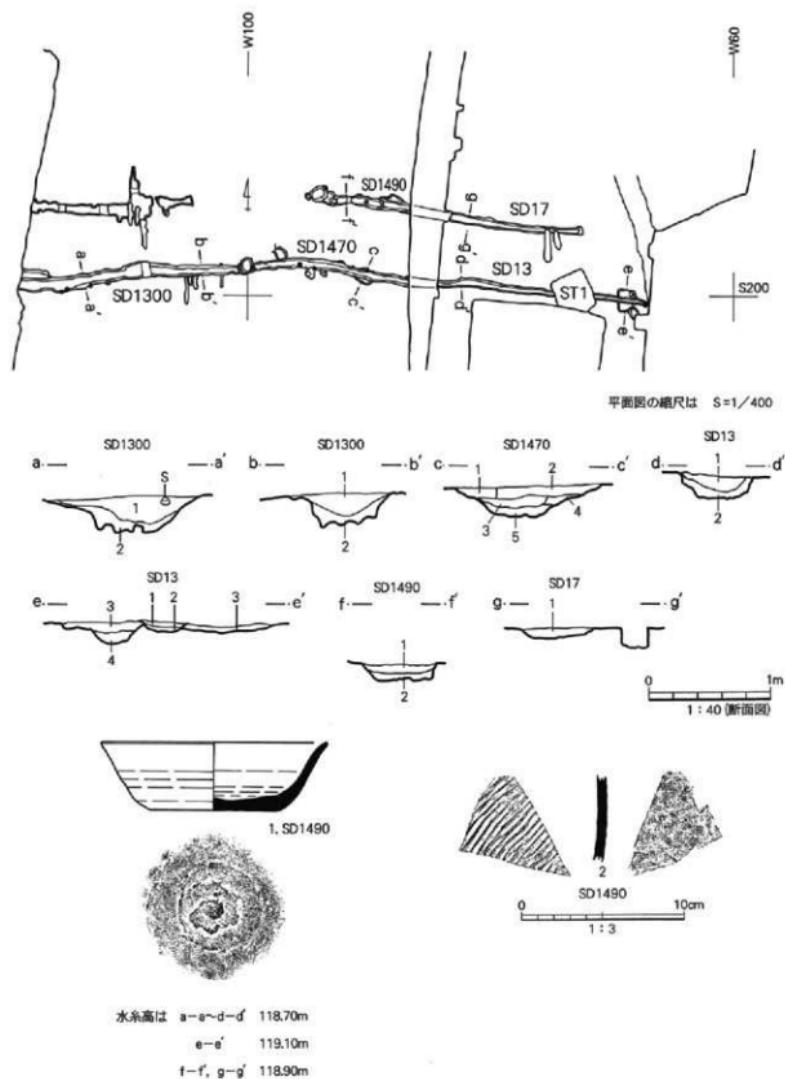
遺構番号	剖面位	土色	土質	備考
SD121ab	1	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山砂粒(10YR4/4)が少量混入。
	2	10YR2/1 黒色	シルト質土	地山ブロックが多く混在する。
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト質土	地山砂粒が多量に混在する。遺物の混入等見られる。(縦文期の遺物入る)
SD121c	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒(1~5mm大)を少量含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒(1~3mm大)をわずかに含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	土	2よりやや明るい色調。10YR5/4砂質土粒(1~3mm大)を2と同程度含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒(1~2mm大)を微量含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/4砂質土粒(1~3mm大)を中程度含む。
	6	10YR5/6 黃褐色	砂質土	10YR2/2上と同ブロックを半埋状含む。
	7	10YR3/3 咸褐色	土	10YR6/4砂・同ブロック、10YR2/2土粒・同ブロックを中程度含む。
SD121d	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/6黄褐色土粒(1~2mm大)を微量含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/6黄褐色土粒(1~3mm大)を少量含む。
	3	10YR2/3 黒褐色	土	10YR5/6黄褐色土粒(2~3mm大)を1よりやや多く含む。
	4	10YR2/3 黑褐色	土	10YR5/6黄褐色土粒・同ブロックを少量含む。
	5	10YR2/2 黑褐色	土	ぼそぼそしている。10YR5/4にぶい黄褐色土粒・同ブロック、10YR5/6黄褐色土粒(1~3mm大)を中程度含む。
SD121e	1	10YR3/1 黒褐色	土	10YR4/4のブロック観じる。
	2	10YR2/1 黒色	土	10YR1/7のブロック、10YR4/4のブロック観じる。
	3	10YR1/7/1 黑色	砂質土	細緻混じる。
	4	10YR2/1 黑色	土	10YR4/4のブロック観じる。
	5	10YR3/1 黑褐色	土	10YR4/4のブロック、10YR2/1のブロック観じる。
	6	2SY4/4 オリーブ褐色	礫	隕結している。
	7	10YR2/1 黑色	土	2SY4/4のブロック観じる。
SD121f	1	10YR2/2 黑褐色	土	SD245覆土よりも、やや暗い色調。10YR5/6黄褐色砂粒(2~3mm大)を少量含む。小丸粒を少量含む。
	2	10YR2/2 黑褐色	土	10YR5/6暗褐色の状態をわずかに含む。SD245覆土。
	3	10YR2/2 黑褐色	土	ほとんど覗りじがない。SD246覆土。
SD820 g	1	10YR3/2 黑褐色	砂質土	砂質土ブロックφ5mmあり、砂粒や少量。
	2	10YR2/1 黑色	砂質土	φ2mmの砂あり、地土粒全体にあり、砂粒や少量。
	3	10YR2/2 黑褐色	砂質土	7.5YR4/4地山砂岩。
SD101h	1	10YR2/2 黑褐色	粘質土	7.5YR4/4褐色土粒(1~5mm大)を中程度含む。酸化鉄粒を中程度含む。土薄片を含む。
	2	10YR2/3 黑褐色	粘質土	10YR6/4粘質土粒(2~5mm大)を中程度含む。
	3	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘質土	10YR2/3土粒・同ブロックを少量含む。酸化鉄粒を少量含む。一部酸化している赤味を帯びた部分あり。
SD219 i	1	10YR2/2 黑褐色	土	10YR5/6黄褐色土粒(1~3mm大)を少量含む。

三 吉原 I 遺跡

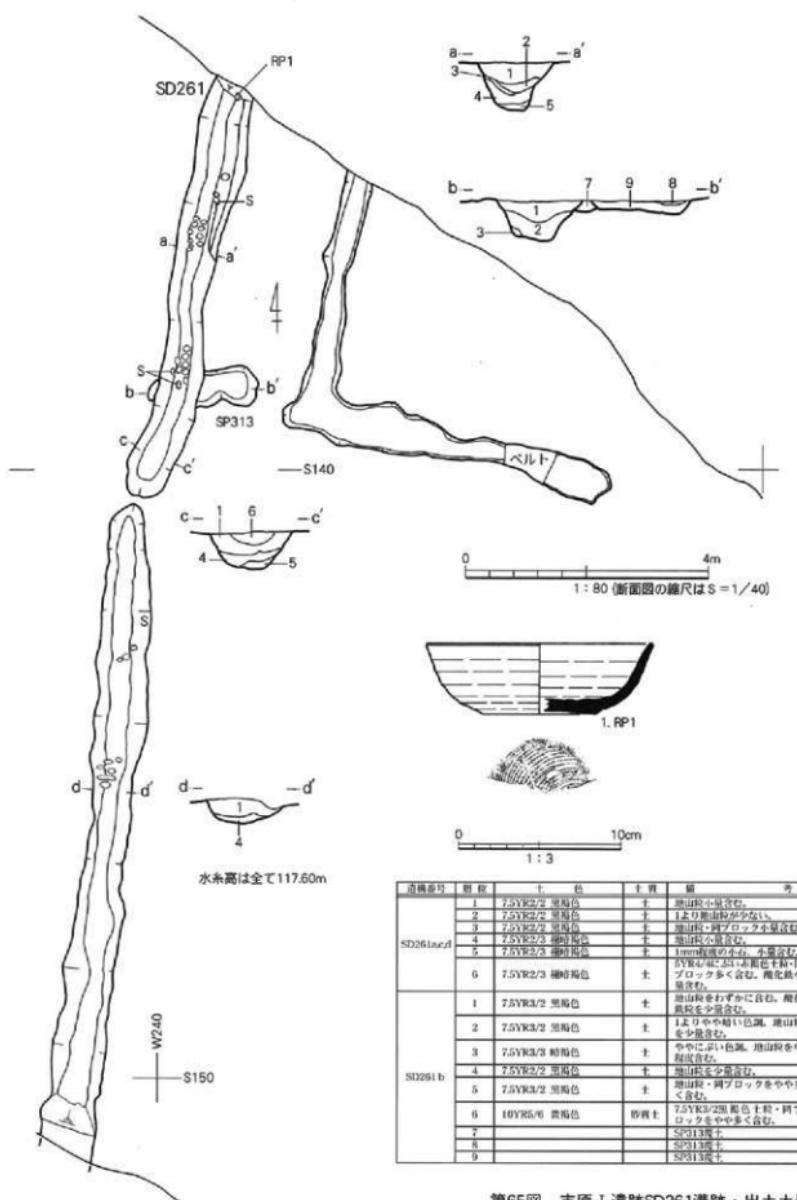


第63図 吉原 I 遺跡SD101・219出土土器

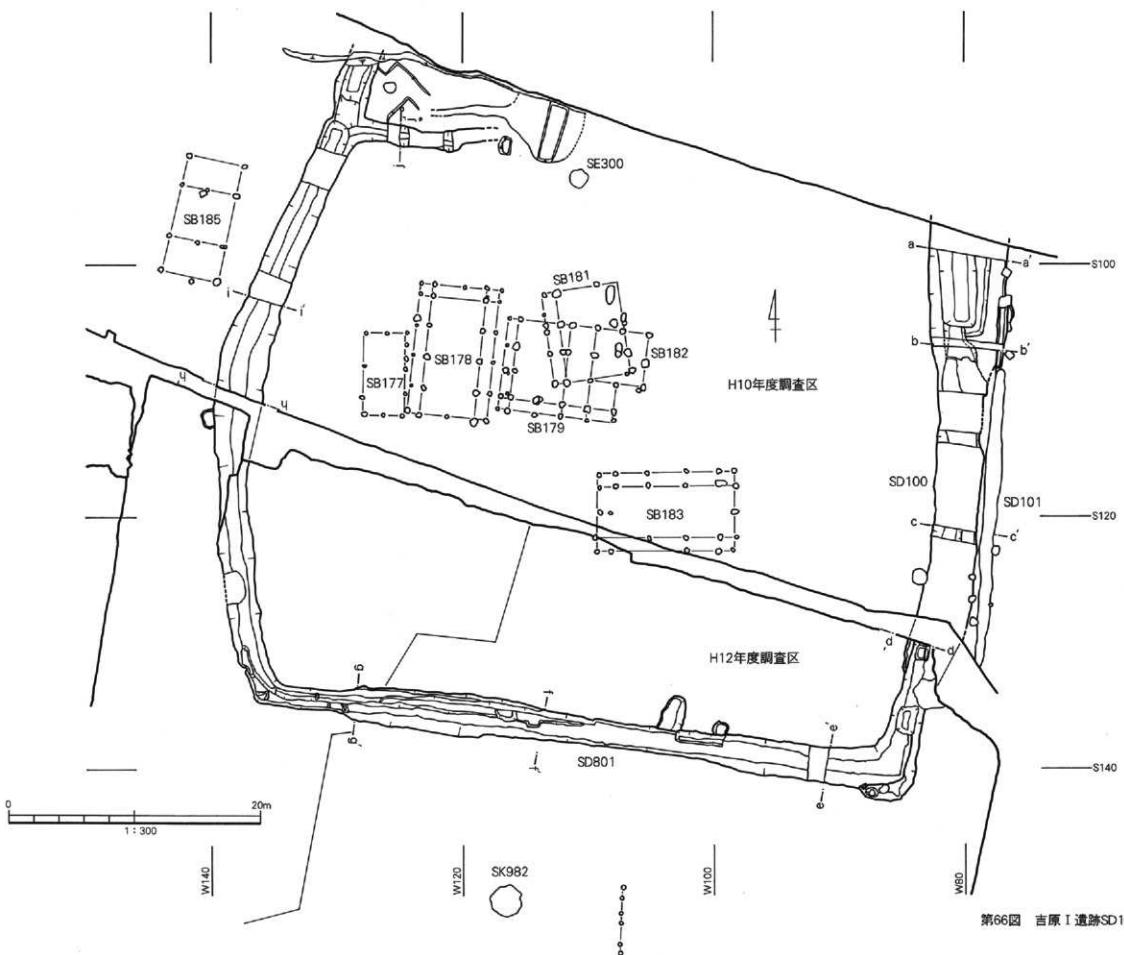
遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD1300ab	1	10YR1.7/1 黒色	シルト	
	2	10YR2/1 黒色	シルト	φ 5mm前後の地山ブロック(10YR5/4) やや少量。
SD1470c	1	10YR2/1 黒色	砂質土	均質。
	2	10YR2/1 黒色	砂質土	φ 5mmの地山ブロック (10YR5/4) 微量、鉄分微量。
	3	10YR3/3 黒褐色	砂質土	φ 3cm前後の地山ブロック (10YR5/4) 多量、燒土 (7.5YR5/6) 少量。
	4	10YR3/2 黒褐色	砂質土	φ 5mmの地山ブロック (10YR5/4) 少量。
	5	10YR2/2 黒褐色	砂質土	φ 1cm前後の地山ブロック (10YR5/4) 少量、地山砂 (10YR4/4) ところどころにあり。
SD13d, e	1	10YR2/3 黒褐色	土	10YR4/6褐色土粒 (2~3mm大) を少量含む。
	2	10YR4/4 褐色	土	10YR4/6褐色土粒 (2~3mm大) を1より多く含む。10YR2/3黒褐色土粒 (2~3mm大) を少量含む。
	3		SK14覆土	
	4		SK14覆土	
SD1490f	1	10YR2/1 黒色	砂質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	2	10YR5/6 黃褐色	細砂	10YR2/1砂質土粒・同ブロックを上部に多く含む。
SD17g	1	7.5YR1.7/1 黒色	砂質土	5YR2/2砂がまじる。

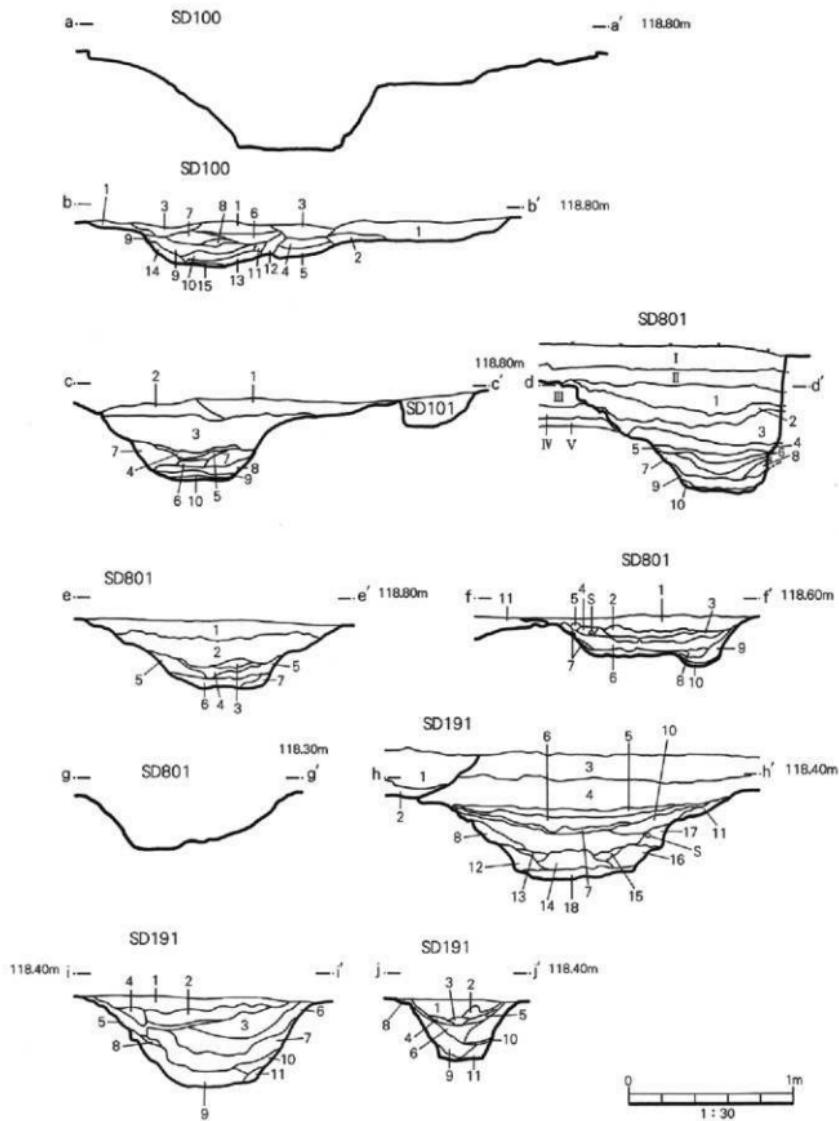


第64図 吉原 I 遺跡SD13・17・1470・1490・1300溝跡・出土土器



第65図 吉原 I 遺跡SD261溝跡・出土土器

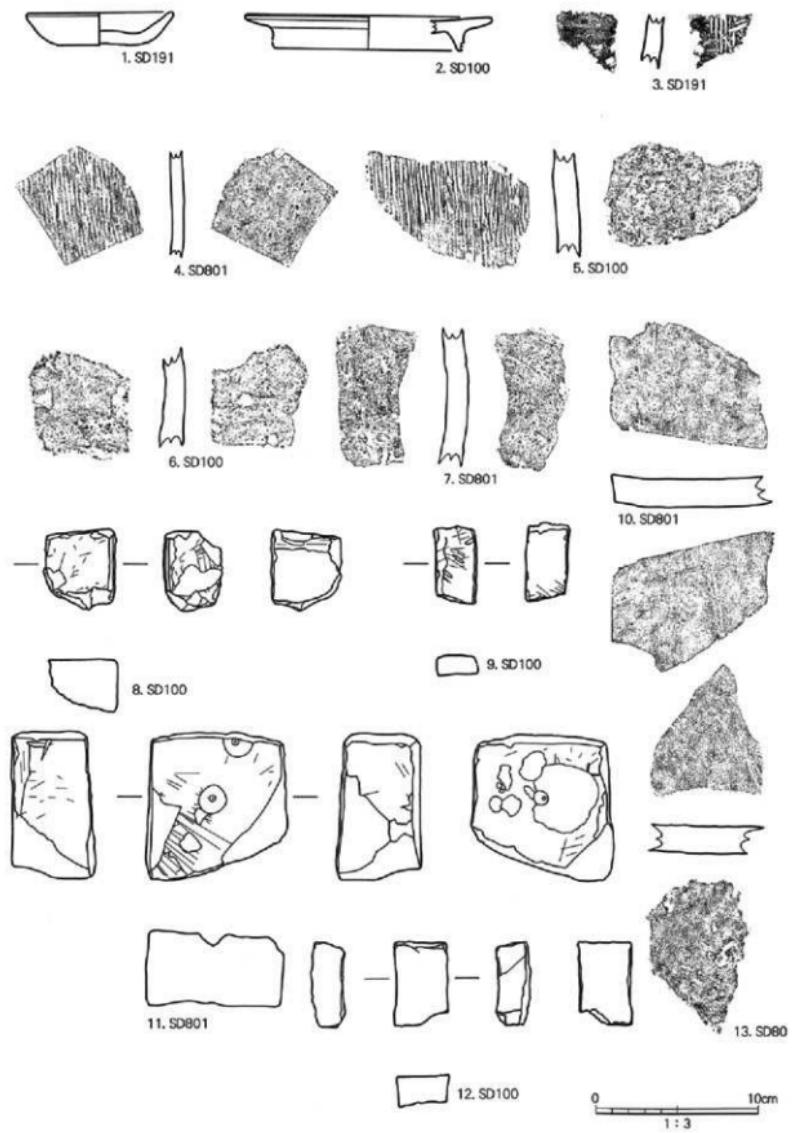




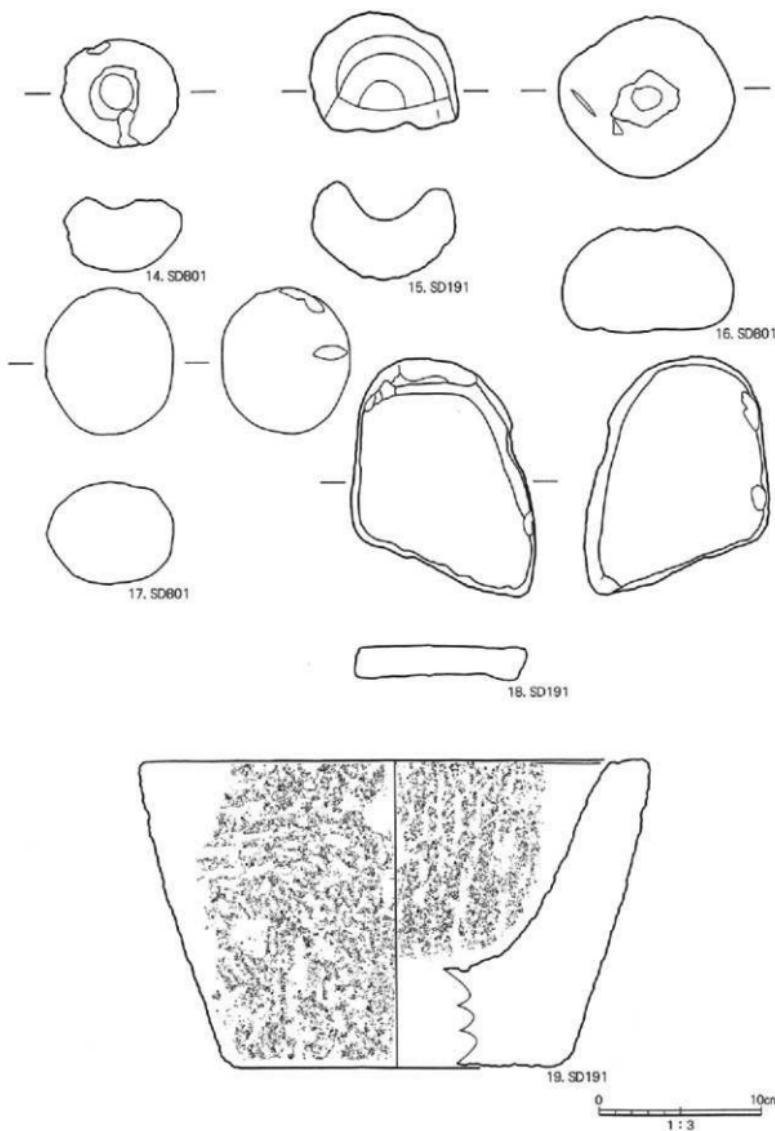
第67図 吉原 I 遺跡SD100・191・801土層断面

III 吉原 I 遺跡

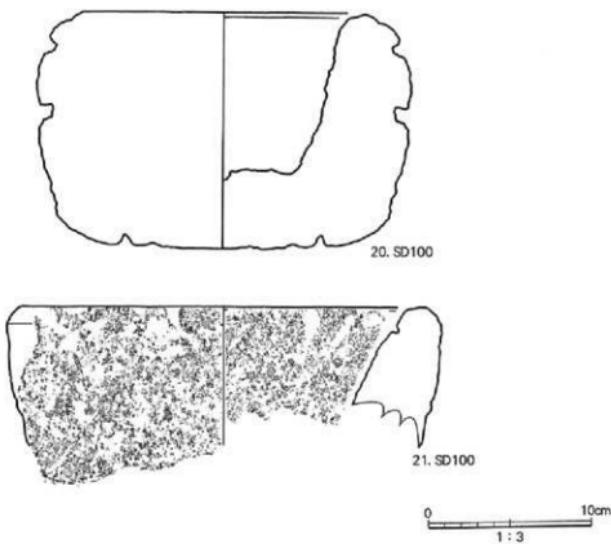
遺跡番号	層 号	土 色	土 壤	場 所	
				地圖	説明
SDI00 b'c'	1	10YR7/6 單面削色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (2~3mm) を中程度含む。上部にやや多く含む。	
	2	10YR7/3 c'に5-1薄褐色	土	10YR7/3 地面土ブロック多く含む。7.5YR7/6 土粒を少含む。	
	3	10YR7/6 單面削色	土	0.5~1.5cm の丸い塊を多く含む。	
	4	10YR7/6 單面削色	土	礫化地盤 (2~3mm) 中程度含む。	
	5	10YR7/2/3 黒褐色	土	4-5cm から5-6cm の塊を多く含む。礫化地盤 (2~3mm) を中程度含む。	
	6	10YR7/2 單面削色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (2~3mm) を多く含む。7.5YR7/6 土粒を多く含む。	
	7	10YR7/2 單面削色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (1~4mm) を多く含む。礫化地盤を少含む。	
	8	10YR7/4 單面削色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (2~3mm) を多く含む。	
	9	10YR7/5 細色	砂質土	10YR7/6 地面土 (2~3mm) と 7.5YR7/6 土粒を中程度含む。	
	10	10YR7/2 單面削色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (2~3mm) を多く含む。	
	11	10YR7/2 單面削色	砂質土	10YR7/6 地面土 (3~4mm) を少しばかし含む。	
	12	10YR7/2/1 黑褐色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (1~5mm) を多く含む。10YR7/6 土粒を少含む。	
	13	10YR7/2 單面削色	砂質土	10YR7/6 地面土の塊 (1cm×4cm) が数ヶ所に入ら、(瓦) になつた状態	
	14	10YR7/2 黑褐色	土		
	15	10YR7/2 黑褐色	土	1.5YR7/6 地面土 (2~3mm) と 10YR7/6 土粒 (2~3mm) を中程度含む。地中構造物の跡 (2~3mm) を多く含む。礫化地盤を少程度含む。	
SDI00 c'-c"	1	10YR7/2 單面削色	土	地中構造物の跡 (2~3mm) を多く含む。礫化地盤を少程度含む。	
	2	10YR7/2 單面削色	砂質土	7.5YR7/6 地面土 (1~3mm) を中程度含む。礫化地盤を少程度含む。	
	3	10YR7/2 單面削色	砂質土	2.5YR7/6 地面土 (1~3mm) を少含む。	
	4	10YR7/3 黑褐色	砂質土	2.5YR7/6 地面土 (2~3mm) を少含む。	
	5	10YR7/2 單面削色	砂質土	2.5YR7/6 地面土 (2~3mm) を多く含む。	
	6	10YR7/2 單面削色	砂質土	2.5YR7/6 地面土 (2~3mm) をやや多く含む。	
	7	10YR7/2 單面削色	砂質土	2.5YR7/6 地面土 (2~3mm) をやや多く含む。	
	8	10YR7/2 單面削色	シルト質土	2.5YR7/6 地面土 (2~3mm) をやや多く含む。	
	9	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	2.5YR7/6 地面土 (2~3mm) をやや多く含む。	
SDI00 d'-d"	1	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	2	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	3	7.5YR7/2 黑褐色	土	MBII	
	4	10YR7/4 c'に5-1薄褐色	砂質土	MBII	
	5	10YR7/4 黑褐色	砂質土	MBII	
	6	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	7	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	8	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	9	7.5YR7/2 黑褐色	砂質土	MBII	
	10	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	11	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	12	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
SDI00 e'-e"	1	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	2	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	3	10YR7/2 單面削色	シルト	MBII	
	4	10YR7/2 單面削色	シルト	MBII	
	5	10YR7/2 單面削色	シルト	MBII	
	6	10YR7/2 單面削色	シルト	MBII	
	7	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
	8	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
SDI00 f'-f"	1	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	2	10YR7/2 單面削色	土	MBII	
	3	10YR7/2 單面削色	シルト	MBII	
	4	10YR7/2 單面削色	シルト	MBII	
	5	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
	6	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
	7	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
	8	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
	9	7.5YR7/2 黑褐色	シルト	MBII	
	10	10YR7/4 b' 單面削色	砂質土	MBII	
	11	NZ	土	MBII	
SDI00 h'-h"	1	7.5YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	2	10YR7/3 單面削色	砂質土	MBII	
	3	10YR7/3 單面削色	砂質土	MBII	
	4	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	5	7.5YR7/2 黑褐色	砂質土	MBII	
	6	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	7	10YR7/4 單面削色	砂質土	MBII	
	8	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	9	7.5YR7/2 黑褐色	砂質土	MBII	
	10	7.5YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	11	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	12	2.5YR7/2 黑褐色	砂質土	MBII	
	13	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
SDI00 i'-i"	1	7.5YR7/2 單面削色	シルト質土	MBII	
	2	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	MBII	
	3	7.5YR7/4 5-1黑褐色	シルト質土	MBII	
	4	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	5	10YR7/2 單面削色	土質砂	MBII	
	6	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
SDI00 j'-j"	1	7.5YR7/2/1 黑褐色	シルト質土	MBII	
	2	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	MBII	
	3	7.5YR7/4 黑褐色	シルト質土	MBII	
	4	7.5YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	5	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	MBII	
	6	7.5YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	7	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	MBII	
	8	7.5YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	9	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	MBII	
	10	10YR7/2 單面削色	砂質土	MBII	
	11	7.5YR7/2 黑褐色	シルト質土	MBII	



第68図 吉原 I 遺跡SD100・191・801出土遺物（1）



第69図 吉原 I 遺跡SD100・191・801出土遺物（2）



第70図 吉原I遺跡SD100・191・801出土遺物（3）

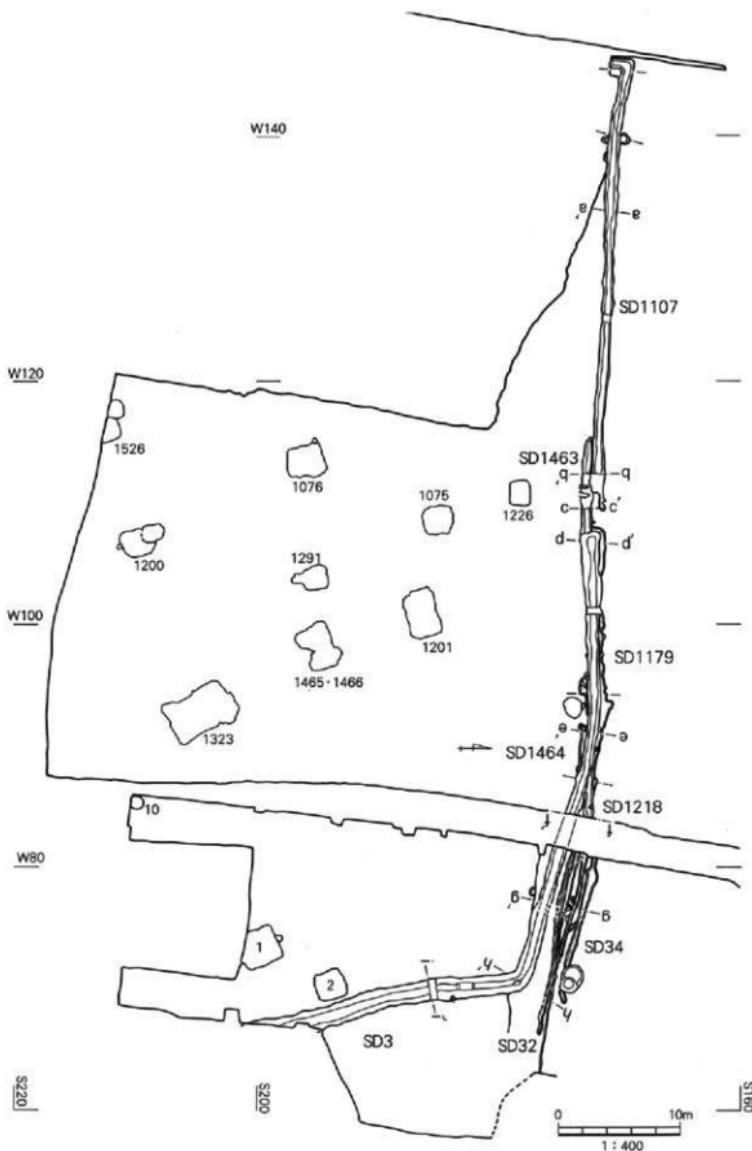
ある。壁の立ち上がりは緩やかで底面は平坦である。検出長は東西約75m、南北20m以上を測る。西に向かって傾斜しているため、排水などの機能も果たしていたものと考えられる。

遺物は瓷器系陶器壺（73-1・2・4・5）、鉢（73-3）、砥石、凹石が出土した。3は使用により内面が磨耗している。

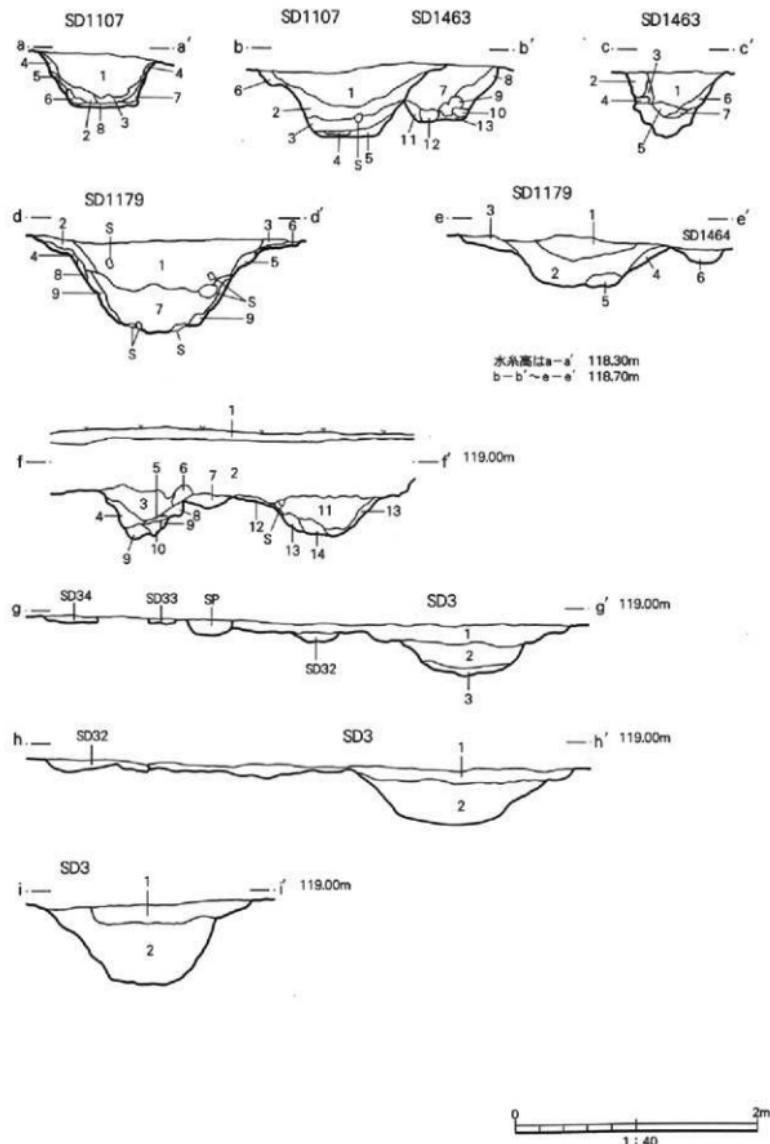
SD 1227・1504（第74図）

G区南半に検出され、豊穴状造構と主軸方向を同じくすることから、これらを区画すると考えられる溝跡である。上述のSD 3・1179他の区画との関連も考えられる。SD 1470を境に北側をSD 1227、南側をSD 1504としたが、形状・覆土などからみて、同一の造構と判断される。SD 1227はST 1226・ST 1075を切り、SD 1504はST 1465に切られる。

幅は1.0～1.4m、確認面からの深さは0.2～0.4mを測る。主軸方位は南北軸でN-26°-Wである。壁の立ち上がりは緩やかで、底面はやや凹凸がある。遺物は出土していない。



第71図 吉原 I 遺跡SD3・1107・1179・1463溝跡平面図

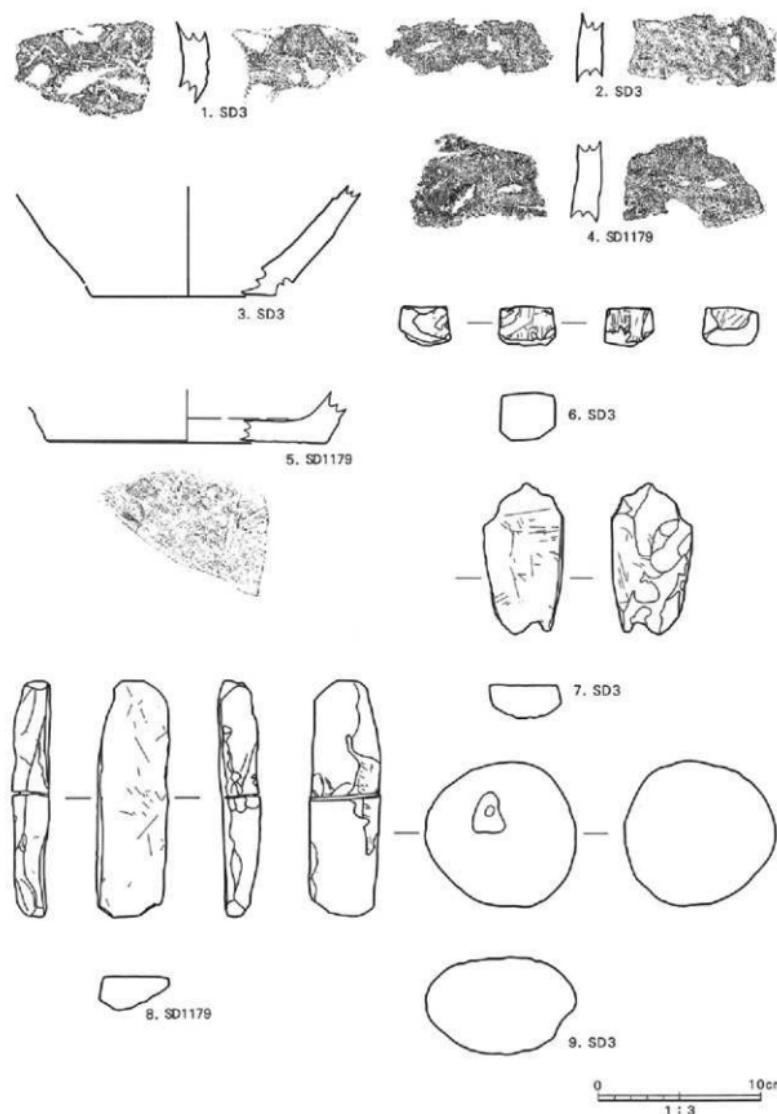


第72図 吉原 I 遺跡SD3・1107・1179・1463土層断面

III 吉原 I 地跡

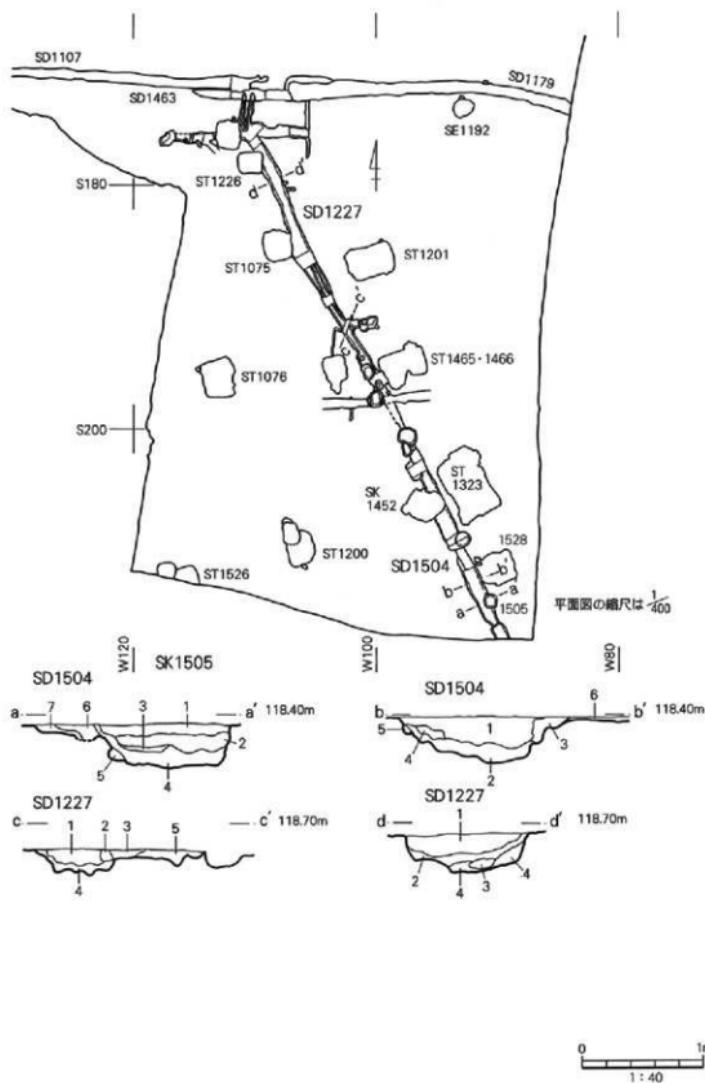
遺構番号	層 位	土 色	土 質	面 考
SD8 g. h	1	16YR3/2 黒褐色	土	10YR5/6 黒褐色土 (2~4mm大) を少量含む。
	2	16YR3/2 黒褐色	土	10YR5/6 黒褐色土 + 飼ブロックを1より多く含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	土	10YR5/6 黒褐色土 + 飼ブロックを中程度含む。やや赤味を帯びた色調。
	4	16YR2/2 黒褐色	土	10YR4/6 黒褐色砂質土 (2~3mm大) を中程度含む。やや赤味を帯びた色調。
	SD32	10YR3/1 黒褐色	土	10YR5/6 黒褐色土 (2~3mm大) をやや多く含む。SD3F2よりやや暗い色調。
	SD33	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/6 黒褐色砂質土 (2~3mm大) を少量化。
SD34	10YR2/2 黒褐色	土	10YR4/6 黑褐色砂質土 (2~3mm大) を少量化。	
	1	10YR3/2 黒褐色	土	10YR5/6 黒褐色土 (2~3mm大) を少量化。
SD3	2	16YR3/1 黒褐色	土	10YR5/6 黒褐色土 (2~4mm大) を1より多く含む。
	1	16YR2/3 黑褐色	土	中心部 15cmの塊を含む。10YR5/4土粒を微量含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
SD1107a	2	10YR2/2 黑褐色	土	10YR4/6 土粒 + 飼BLを30% 亂入する。極少の酸化鉄分を微量含む。
	3	10YR2/2 黑褐色	土	10YR4/6 土粒を5% 含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	4	16YR2/2 黑褐色	土	10YR6/4 土粒 + 飼BLを40% 亂入する。
	5	16YR3/4 單褐色	土	10YR2/2 土粒を微量含む。
	6	10YR4/6 黑褐色	土	地山の崩落と見えられる層。10YR3/4BLを20% 亂入。約1cm程度の酸化鉄分の塊を1個含む。
	7	10YR4/6 黑褐色	土	10YR3/4BLを5% 亂入。極少の酸化鉄分を微量含む。10YR6/4 (地山A) を上方に10% 含む。
	8	10YR3/4 單褐色	土	10YR2/2 土粒を10% 含む。7.5YR5/6を下方に集中的に亂入する。10YR4/6土粒を10% 含む。
	9	16YR2/2 黑褐色	土	5YR5/8明るい褐色の小塊を微量含む。約1cmと約5mmの変化物をそれぞれ1個ずつ含む。約3cm程度の塊を1個含む。(地山A)
SD1107b	2	16YR2/2 黑褐色	土	約1cm程度の塊を微量含む。約6cmの塊を3層との間に含む。1m、7mに比べてしまがり弱い崩。地山粒を微量含む。(地山A)
	3	10YR2/3 黑褐色	土	約5cmの炭化物を1個含む。酸化鉄分を微量含む。地山粒微量含む。(地山B)
	4	10YR4/6 單褐色	砂質土	10YR3/3の土粒を20% 含む。
	5	10YR2/3 黑褐色	土	地山粒を3より多く20% 含む地山B)
	6	16YR2/2 黑褐色	土	地山粒を20% 含む。(地山A)
	7	10YR2/2 黑褐色	土	約2cmの塊を1個含む。地山粒を微量含む。(地山A)
SD1463b	8	10YR2/2 黑褐色	土	約2cmの塊を1個含む。約1cm程度の地山BLと地山粒を20% 含む。(地山A)
	9	10YR1.7/1 黒色	土	ほぼ均質ながら地山粒を微量含む。(地山A)
	10	10YR2/3 黑褐色	土	10YR1.7/1 土粒を微量含む。地山粒10YR5/6を50% 含む。(地山B)
	11	10YR2/2 黑褐色	土	約1cm程度の地山BLと地山粒を30% 含む。(地山B)
	12	10YR2/2 黑褐色	土	少し弱い地山BLと地山粒を5% 含む。(地山B)
	13	10YR2/3 黑褐色	土	地山粒を微量含む。(地山B)
SD1463c	1	10YR2/1 黑色	土	極少の酸化鉄分を少々含む。地山粒を微量含む。
	2	10YR2/1 黑色	土	10YR2/2の極大のBLを中央部に含む。また、そのBLに集中的に地山粒を含む。10YR2/2のBLの外の地山粒は微量。
	3	10YR3/4 單褐色	土	10YR2/2の土粒を40% 含む。約3cmの地山BL1個と地山粒を全体の30% 含む。
	4	10YR2/1 黑色	土	約3cmの地山BL1個と地山粒を全体の30% 含む。
	5	10YR2/2 單褐色	土	10YR1.7/1の約1cm程度の地山BLと土粒を10%、地山BLと地山粒を40% 含む。約4cmの10YR1.7/1のBLを1個含む。約5mm程度の地山BLと地山粒を10% 含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	6	10YR2/2 黑褐色	砂質土	10YR2/3のBLを50% 含む。地山粒を微量含む。
	7	7.5YR4/6 單褐色	砂質土	10YR2/3のBLを50% 含む。地山粒を微量含む。
	8	10YR2/2 黑褐色	砂質土	部分的に明瞭な地山BLと地山粒を30% 含む。
SD1179d	1	10YR2/2 黑褐色	粘質土	約0.8cm、約0.4cm、約0.3cmの塊をそれぞれ1個ずつ含む。約5mm程度の炭化物を3個含む。極少の酸化鉄分を微量含む。地山粒10YR5/6 (地山A) を微量含む。約5mm以下の塊を少々含む。
	2	10YR2/2 黑褐色	土	地山粒を10% 含む。約2cm程度の酸化鉄分の塊を1個含む。約2cm程度の10YR3/3のBLを2個含む。
	3	10YR2/2 黑褐色	土	地山粒を30% 含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	4	10YR2/2 黑褐色	土	地山BLと地山粒を40% 含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	5	10YR2/2 黑褐色	土	地山粒を30% 含む。
	6	7.5YR3/4 單褐色	土	地山Aが酸化した土と見えます。10YR2/2のBL上土粒を10% 含む。
	7	10YR2/2 黑褐色	粘質土	同じように10YR2/2が比較的弱い崩。堆積の痕跡を中心に約8cm~8cm程度の塊を10個程度含む。約3cmの地山BLと約5cmの地山BL10YR4/4:地山BLを1個ずつ含む。
	8	10YR2/2 黑褐色	土	地山粒を30% 含む。地山粒の土粒を微量含みます。
	9	10YR2/2 黑褐色	粘質土	約2cmの地山BLと地山粒を微量含む。極少の酸化鉄分を微量含む。堆積底部に約3cm程度の塊を3個含む。
SD1179e	1	10YR2/2 黑褐色	土	約0.5cmと約3cmと約1cmの塊をそれぞれ1個ずつ含む。それ以外は均質な層。
	2	10YR2/2 黑褐色	粘質土	約2cmと約1cmの塊を1個ずつ含む。地山粒を微量含む。1より多く色調が弱い。
	3	10YR2/2 黑褐色	土	1と同様に、2に比べて明るい色調の10YR2/2。均質な層。
	4	10YR2/2 黑褐色	粘質土	約5mm程度の地山BLと地山粒を10% 含む。
	5	10YR2/2 黑褐色	土	地山粒を10% 含む。
	6	10YR2/2 黑褐色	粘質土	約0.3cm~約1cmの地山BLと地山粒を10% 含む。SD1464F土。
SD1218	1	10YR4/6 單褐色	土	疊土。
	2	10YR3/3 單褐色	土	疊土。
	3	10YR2/2 黑褐色	土	約0.5mmの10YR3/4上土。粒をまばらに10% 含む。酸化鉄分を微量含む。
	4	10YR2/2 黑褐色	土	5よりも10YR3/4土BL + 粒を多量20% 含む。
	5	10YR2/2 黑褐色	土	10YR3/4土粒を多く微量含む。ほぼ均質な層。
	6	10YR2/2 黑褐色	土	10YR3/4土粒。約BLを40% 亂入する。植物の根による搅乱あり。
	7	10YR2/2 黑褐色	土	約0.5cm程度の10YR3/4土BLを中程度に少量化。それ以外に10YR3/4土粒を10% 含む。
	8	10YR2/2 黑褐色	土	10YR3/4土ブロック・粒を50% 近く含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	9	10YR4/6 單褐色	土	10YR1.7/1の土粒。土粒を40% 含む。
	10	10YR1.7/1 黒色	土	10YR4/6土ブロック・粒を20% 含む。
SD1179	11	10YR2/3 黑褐色	土	約0.3cmと約2cmの塊を1個ずつ含む。10YR3/4土粒。酸化鉄分を微量含む。
	12	10YR4/6 單褐色	土	10YR2/2の土粒を50% 近く含む。10YR4/6土粒が酸化した土と見えられる。
	13	10YR2/2 黑褐色	土	約1cm程度の地山BLと10YR4/6土粒を30% 含む。(地山B)
	14	10YR2/2 黑褐色	土	10YR4/6土粒と酸化鉄分を微量に含む。植物根による搅乱あり。

BL: ブロック



第73図 吉原 I 遺跡SD3・1179出土遺物

III 吉原 I 遺跡



第74図 吉原 I 遺跡SD1227・1504溝跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK1505a	1	10YR2/3 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少量含む。炭化粒を含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。炭化粒を含む。
	3	10YR2/3 黒褐色	土	地山粒を少量含む。ぼそぼそしている。
	4	10YR2/3 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少々含む。
	5			4と同層と思われるが、崩落している。
SD1504	6	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少々含む。
	7	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
SD1504b	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを少々含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロック(大)を多く含む。
	4	10YR2/2 黒褐色	土	地山粒・同ブロックを下部に中程度含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	土	比較的均一な層。
	6			ST1528覆土
SD1227c	1	10YR1.7/1 黒色	土	φ 1cm~5mmの地山ブロックと地山粒を微量含む。極小の酸化鉄分を微量含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	φ 1cm~5mmの地山ブロックと地山粒を20%含む。10YR1.7/1の土粒を5%含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	土	φ 1cmの地山ブロック1個と地山粒を微量含む。極小の酸化鉄分を1個含む。
	4	10YR1.7/1 黒色	土	形のはっきりしないφ 5cm~5mmの地山ブロックと地山粒を50%近く含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	土	φ 3cm~5mmの地山ブロックと地山粒を10%含む。10YR2/3のブロックと土粒を10%含む。
SD1227d	1	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山粒をわずかに含むが、均一な層。
	2	10YR2/2 黒褐色	砂質土	地山粒を少々含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質土	ブロック状に入っている。
	4	7.5YR3/4 喰褐色	砂質土	10YR2/2砂質土を斑状に中程度含む。

c類 幅2.5m以上を測るもの

SD100・191・801(第67~70図)

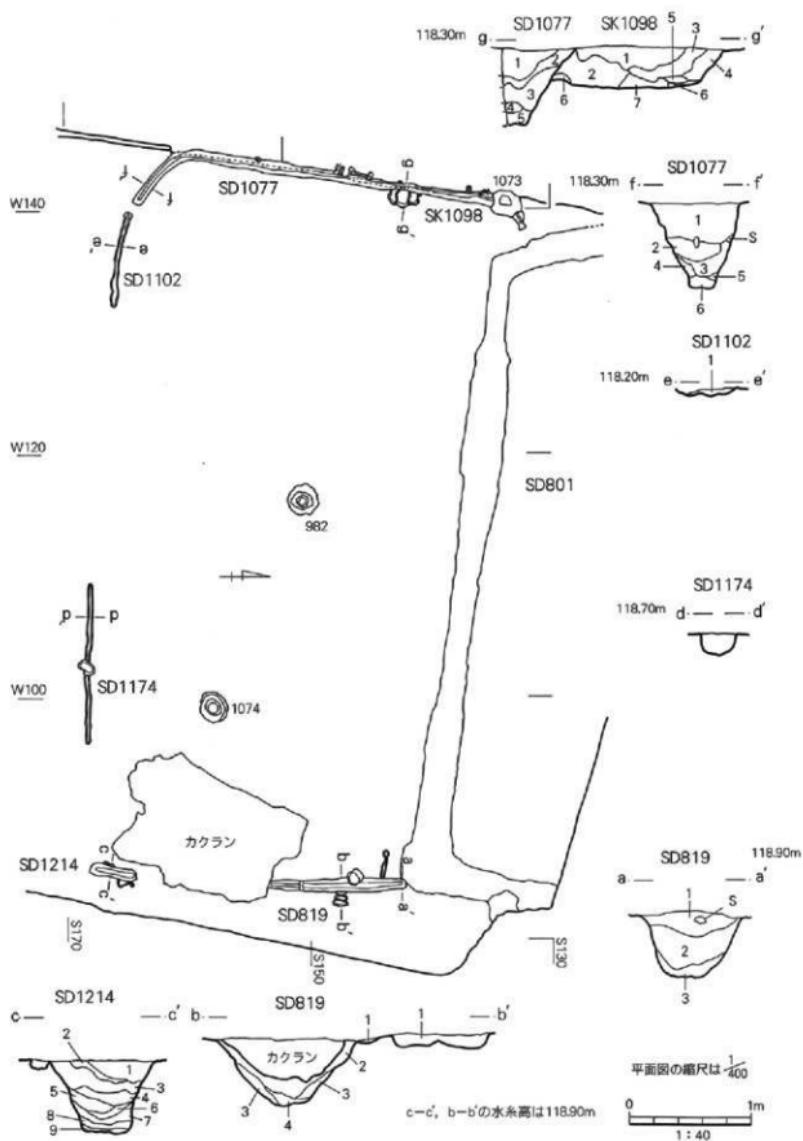
調査区中央北側に位置し、中世の掘立柱建物跡を区画する堀跡である。北辺を除く三辺が検出され、南北53m以上、東西52mの範囲を区画する。堀跡内部には掘立柱建物跡が7棟検出されている。幅2.5~6m、確認面からの深さは0.9~1.2mを測る。主軸方位は南北軸でN-8°-Eである。一部未精査の部分もあるが、壁の立ち上がりは緩やかで、底面には一部段差や凹凸が確認された。底面の形状からは、防御用または土橋などの施設があったものと推測される。

堀跡は北西角から二又に分かれており、北側は調査区外となり不明であるが、東側に伸びる溝跡は幅が1.4mと小さく、確認面からの深さも70cm前後と浅くなる。

遺物は外面全体にススの付着した土師質土器皿(68-1)や須恵器系陶器の擂鉢(68-3)、壺(68-4、5)、瓷器系陶器壺(68-6、7)、砥石、凹石、磨石、石鉢などの石製品、覆土上層から黒瓦片(68-10、13)が出土した。

d類 上記の分類に入らないもの

d類として、幅0.6m前後で蛇行して走るSD124などがある。時期は不明である。その他に、SD27・34・245・246・249・501・502・504・511・512・516・522・719・720・721・1103・1105・1108などがある。上記の遺構は現代まで農道として使用された部分の遺構確認面で検出された溝跡であり、道路状遺構の可能性がある。農道は明治の字限図でも確認される。時期は出土遺物がないため、不明である。



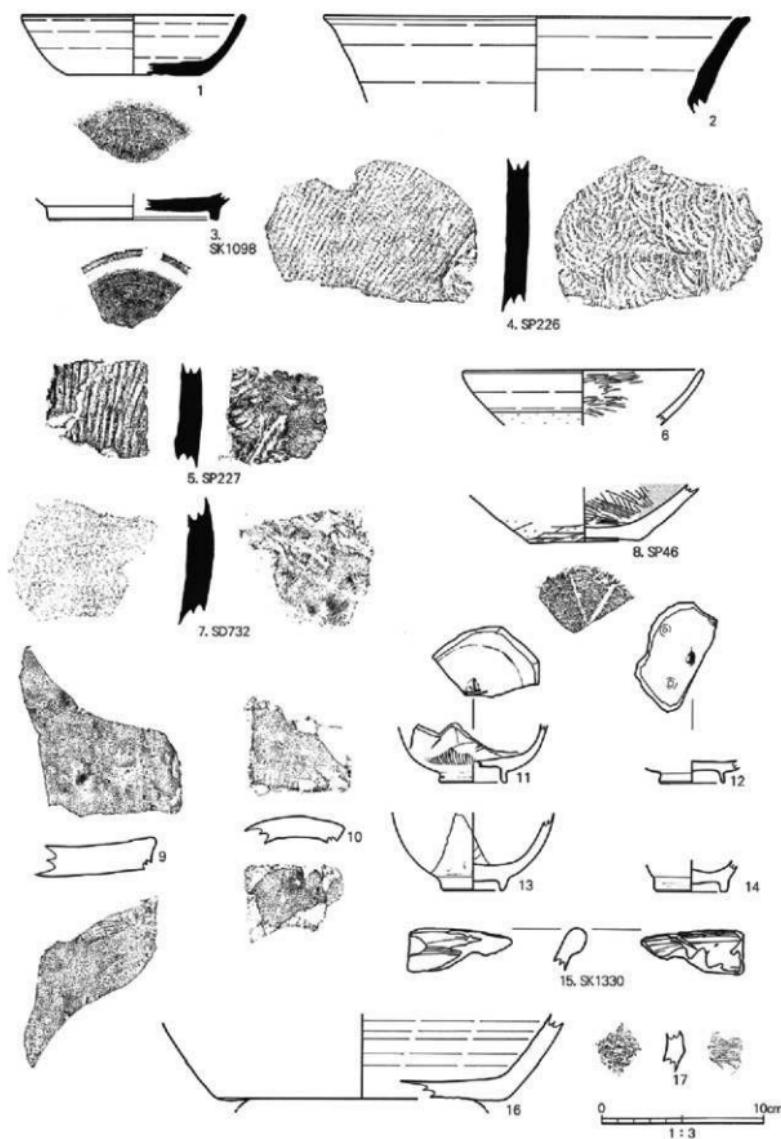
第75図 吉原I遺跡SD819・1214・1174・1102・1077溝跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SD819 a	1	10YR3/1	黒褐色	土質砂 砂粒や多量。
	2	10YR2/3	黒褐色	砂質土 φ2mmの礫あり、砂粒少。
	3	10YR3/1	黒褐色	砂質土 砂粒や少。
SD819 b	1	10YR2/4	暗褐色	砂均質 SP質土
	2	10YR2/3	黒褐色	砂質土 φ5cmの礫あり、砂粒少。
	3	7.5YR2/2	黒褐色	堆山主体・10YR2/3砂質土や少。
	4	10YR3/1	黒褐色	砂質土 砂粒や多量。
SD1214 c	1	10YR4/6	褐色	土 10YR2/2土粒、同ブロックを中程度含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒・同ブロックを中程度含む。
	3	10YR2/3	黒褐色	砂質土 地山粒・同ブロック多く含む。
	4	10YR5/6	黄褐色	土 10YR2/2土粒、同ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒・同ブロックを中程度含む。
	6	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒を少度含む。
	7	7.5YR3/4	暗褐色	砂質土 比較的均一な態。
	8	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒・同ブロックを少度含む。
	9	10YR6/8	明褐色	土 1~5mmの地山ブロックと地山粒を5%含む。微小の酸化鉄分を微量含む。
SD1174 d	1	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒を10%含む。微小の酸化鉄分を微量含む。
SD1162 e	1	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒を10%含む。微小の酸化鉄分を微量含む。
SD1077 f	1	10YR3/4	暗褐色	砂質土 10YR1.7/10の土粒を微量含む。φ2cm~8cmの地山ブロックと地山粒を30%含む。φ5cmを最大とする粒を20%含む。
	2	10YR4/6	褐色	砂 地山由来と思われる。φ5mm~3cmの礫を多量に含む。10YR2/3の土を堆積粒状に含む。
	3	10YR2/3	黒褐色	土 φ5cm程度の10YR4/4土ブロックを1片含む。φ1cmの礫を1個含む。地山粒を微量含む。
	4	10YR4/4	褐色	砂質土 地山の崩壊、均質。
	5	10YR4/4	褐色	砂質土 φ3cm程度の礫を多量含む。(地山中央) 10YR2/3を粒状に40%含む。
	6	10YR2/2	黒褐色	砂 10YR6/4土粒を30%含む。φ3~4cmの地山由来の礫を多量に含む。
SD1077 g	1	10YR2/2	黒褐色	土 φ2cm程度の地山ブロックと地山粒を40%含む。φ8mmの酸化鉄分を1個含む。φ1cm程度の礫を微量含む。
	2	10YR2/2	黒褐色	土 φ2cm程度の礫を1よりも多く含む。地山粒を少度含む。
	3	10YR2/1	黑色	土 φ2cm程度の地山ブロック1個と地山粒を微量含む。
	4	10YR1.7/1	黑色	土 φ1cm程度の地山ブロックをまんべんなく30%含む。
	5	10YR1.7/1	黑色	土 幅より大ぶりなものの9%、形のはっきりしない地山ブロックと地山粒を30%含む。
SK1098 g	1	10YR2/2	黒褐色	土 φ5cmを最も大きくする。地山ブロックと地山粒を30%含む。
	2	10YR2/1	黑色	土 地山粒・同ブロックを、6よりも多く40%含む。
	3	10YR2/2	黒褐色	土 地山粒・同ブロックを、6~7よりも多く50%含む。
	4	10YR2/1	黑色	土 φ5mmの酸化物を1個含む。極少の酸化鉄分を微量含む。
	5	10YR4/6	褐色	土 10YR1.7/10の土粒を10%含む。
	6	10YR1.7/1	黑色	粘質土 φ1cm程度の地山ブロック・地山粒を30%含む。礫少の酸化鉄分を微量含む。
	7	10YR1.7/1	黑色	粘質土 φ2~1cmの地山ブロック・地山粒を30%含む。礫少の酸化鉄分を微量含む。

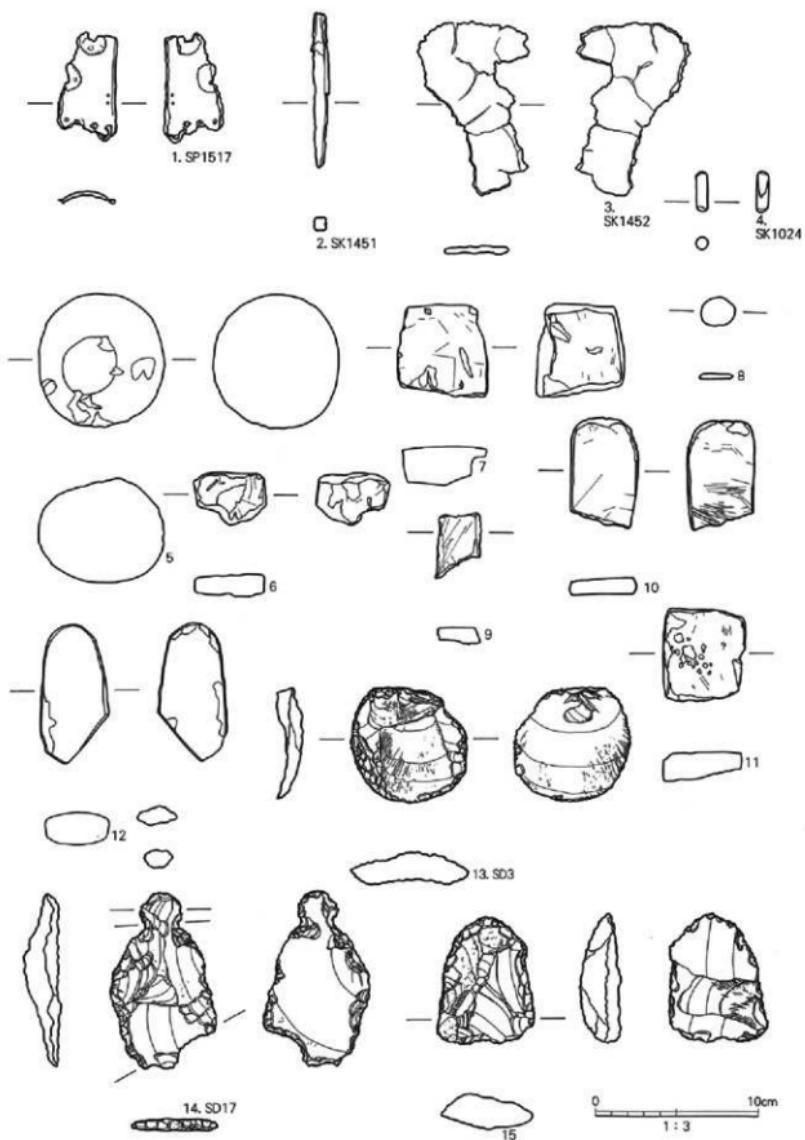
(7) その他出土遺物(第76・77図)

本遺跡において平面図の掲載していない遺構、またはグリッド、表土から出土した遺物のうち、図化したものについて以下に概述する。

76-1は底部切離しがヘラ切の須恵器壺、76-2は底部外面がヘラケズリ調整された須恵器高台壺である。76-3は須恵器壺の口縁部、76-4は須恵器甕底部片である。外面は平行タタキ、内面は同心円状のアテが施される。76-6はロクロ成形の土師器壺であり、外面底部下半がヘラケズリ、内面がミガキ調整される。76-7は赤褐色を呈する須恵器質の土器片である。76-8は土師器鉢で、体部外面はヘラケズリ、内面はミガキ、黒色処理される。底部に木葉痕が認められる。76-9は赤瓦片、76-10は黒瓦片である。76-11~14は肥前系の磁器碗である。76-15~17は瓦質土器である。15は鉢口縁部で、内外ともミガキ調整される。16は鉢底部で、脚部分が剥離しているが、本来は4脚付くものと思われる。17は鉢の体部片で、菊花状のスタンプ文が施されている。77-1~3は金属製品である。1は板状の鉄製品で、穿孔が全部で6ヶ確認された。そのうちの1ヶにはリングが通される。2は棒状鉄製品である。3は鉄鍋の破片と考えられる。77-4~10は石製品である。4は滑石製の石製品で、丁寧な加工がなされる。6・7・9・10・11は紙石である。77-12~15は石器である。これらの石器は磨滅しており、周辺の遺跡からの流れ込みによるものと考えられる。12は磨製石斧、13、15はスクレーパー、14は石匙である。石匙はその先端を加工しなおし、再利用している。



第76図 吉原 I 遺跡その他出土遺物 (1)



第77図 吉原 I 遺跡その他出土遺物（2）

表3 吉原Ⅰ遺跡出土遺物観察表(1)

件目 番号	遺物 番号	出土地点・層位	器種	種別	口径 (cm)	底深 (cm)	高さ (cm)	外面特徴	内面特徴	底部特徴	備考
4	1	SK030 E07	坪	土器				ナゲ、ケズリ			
5	1	SK040 E05	坪	土器				ナゲ	ミガキ、黒色		
8	1	SK055 E01	坪	土器				平行			ヘラナリ
2	2	SK055 E05	坪	土器			(20.09)	ロクロ	ロクロ		
10	1	SK092 E01	坪	土器				施子目			
	2	SK092 E04	坪	土器				マメツ	ミガキ、黒色	丸底	
11	1	SK093 E07	坪	土器				ロクロ削・ケズリ			ロクロ
	2	SK093 E08	坪	土器			(14.09)	ロクロ	ロクロ		
	3	SK093 E07	坪	土器			(22.3)	ロクロ	ロクロ		
4	4	SK093 E06	坪	土器				ロクロ	ロクロ		
5	5	SK093 E07	坪	土器				平行	同心円		
6	6	SK093 E07	坪	土器				平行	同心円		
7	7	SK093 E08	坪	土器				平行	同心円		
8	8	SK093 E08Y	坪	土器				平行			
9	9	SK093 E07F1	坪	土器				ロクロ	ロクロ		
10	10	SK093 E07	坪	土器				平行			
11	11	SK093 E08F1～F2	坪	土器				ハケヌ	ハケヌ		
12	12	SK093 E07F6	坪	土器			(25.6)	ナゲ	ナゲ		
13	13	SK093 E05	坪	土器				ハケヌ	ハケヌ		
14	1	SK094 E08	盆	土器			(10.0)	ロクロ	ロクロ		
	2	SK094 E05	盆	土器			(15.00)	ロクロ	ロクロ		
3	3	SK094 E01	盆	土器				平行	ロクロ		
4	4	SK094 E06	坪	土器				ケズリ	ミガキ	ヘラケズリ	
5	5	SK094 E06	鉢	土器			1.5	ハケヌ	ミガキ、黒色		
6	6	SK094 E06	笠石	石器	1.5		0.65				
7	7	SK094 E08	盆	土器				平行	同心円		
8	8	SK094 E08	盆	土器				平行	同心円		
9	9	SK094 E08	盆	土器				平行	同心円		
10	10	SK094 E08	盆	土器				平行	同心円		
11	11	SK094 E08	盆	土器				平行	平行		
12	12	SK094 E08	盆	土器			41.0				
13	13	SK094 E08F5	盆	土器				平行			
14	14	SK094 E08E	盆	土器				平行	同心円		
15	15	SK094 E08	盆	土器				平行	同心円		
1	1	SK097 E06	盆	土器			4.5	平行			
2	2	SK097 E06	盆	土器				平行	ロクロ		
3	3	SK097 E06	盆	土器				ハケヌ	ハケヌ		
4	4	SK097 E04	盆	土器				ハケヌ	ハケヌ		
5	5	SK097 E06F	盆	土器				ロクロ	ハケヌ		
18	1	SK118 E02	坪	土器			(13.2)	平行	ミガキ、黒色		
2	2	SK118 E03	盆	土器				ハケヌ	平行		
3	3	SK118 E03	盆	土器			(16.00)	ロクロ	平行		
4	4	SK119 E05	坪	土器			(15.50)	0.29	ロクロ		
5	5	SK119 E05	坪	土器			1.5	3.5	ロクロ		
6	6	SK119 E05	坪	土器			(14.52)	2.5	ロクロ		
7	7	SK119 E05	坪	土器			(13.80)	4.1	ロクロ		
8	8	SK119 E05	坪	土器			(14.27)	3.6	ロクロ		
9	9	SK119 E05F	高台付坪	土器			(16.0)	ロクロ	ロクロ		
10	10	SK119 E05F	高台付坪	土器			(16.4)	4.8	ロクロ		
21	1	SK065 EB4F	坪	土器			(9.0)	ロクロ	ロクロ		
	2	SK065 EB4F	坪	土器				ハラケズリ	ミガキ、黒色		
3	3	SK1307 F上	鉢	土器			—				ミガキ
4	4	SK1307 F上	鉢	土器			(26.00)	—	ロクロ		
5	5	SK1307 F下	鉢	土器			—	—	ナゲ		
29	2	ST1323	砾石	石製品	13.3		4.8				下部欠損 表面有斑
1	1	SK565	甕	土器							
2	2	SK565	甕	土器			(7.4)	平行			
3	3	SK1348	坪	土器			—	10.0	—	ロクロ	直切
44	1	SK207	坪	土器			—	—	平行	ロクロ	直切
	2	SK207	坪	土器			—	—	ナゲ	ヘラケズリ	
	3	SK207	坪	土器			—	—	ナゲ	ミガキ、黒色	
45	1	SK207	坪	土器			17.5	4.4	ロクロ	ナゲ	ヘラケズリ
	2	SK207	坪	土器			(12.4)		ナゲヘラケズリ	ミガキ、黒色	
3	3	SK207	坪	土器			—			ナゲ	
4	4	SK207	坪	土器			—			ナゲ、ハケヌ	
5, 6	5, 6	SK207	坪	土器			—			ハケヌ	ハケヌ
7	7	SK207	坪	土器			—			ナゲ	ナゲ
8	8	SK207	坪	土器			—			ハケヌ	ハケヌ
9	9	SK207	坪	土器			—			ハケヌ	ハケヌ
10	10	SK207	坪	土器			—			ハケヌ	ハケヌ
1	1	SK263	凹白	石製品	9.5	10.9	4.5	ハケヌ			西端を除き 会社にスス が付着
49	2	SK263	凹白	石製品	12.5	10.4	5.4				
	3	SK263	凹白	石製品	12.3		6.7				
50	1	SK982 F上	甕	土器			(17.4)	—	ナゲ		
2	2	SK982	甕	石製品	6.4	6.9	3.8				表面有斑
3	3	SK982	甕	金剛製品	28.9	2.3	0.85				
1	1	SK1462	甕石	石製品	8.4	3.4	1.7				表面有斑
52	2	SK1462	甕石	石製品	11.1	6.1	4.4				下部欠損 底面有斑
	3	SK1462	甕石	石製品	—	—	1.9				2面

表4 吉原I遺跡出土遺物観察表(2)

測定番号	遺物番号	出土場所・部位	種類	種別	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	外面特徴	内部特徴	底部特徴	備考
54	SK1326	P中～下	瓶	湖戸瓦壺形	—	5.6	—	河相(須縫)	輪子板	大器用	
	SK1327	F上	瓶	呂呂呂品	9.4	5.9	3.3			純縫4縫	
57	1	SK1525	甕	呂呂呂形	—	—	—	タタキ			
	2	SK1525	甕	呂呂呂形	—	—	—				
	3	SK1525	甕	呂呂呂形	—	—	—	ナデ			内面ススキ 付着
	4	SK1481	甕	呂呂呂形	—	(15.4)	—		ナデ		
58	1	SK1456	F中	罐	陶器	—	(13.0)	—		使用による マメツ	
59	1	SD1073	茶臼	石製品							
60	1	SD101	F1	甕	呂呂呂形						
63	2	SD101	杯	土鍋型		(8.6)		ロクロ	ロクロ		
	3	SD219	甕	呂呂呂形				ヘラケズリ	ミガキ	ヘラケズリ	
64	1	SD1490	杯	呂呂呂形	14.0	7.85	4.15	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	薄善骨削多 い
	2	SD1490	甕	呂呂呂形	—	—	—	平行	同心円		
65	1	SD361	杯	呂呂呂形	(14.0)	(7.6)	4.3	ロクロ	ロクロ	系縄	ヘラ記号 「X」
	2	SD191	甕	土脚瓦土器	8.8	5.2	2.0	ロクロ	ロクロ	スス材面に より手明	スス材面
	2	SD190	甕	土脚瓦土器	(14.8)	(11.4)	2.1	マメツ	マメツ	マメツ	
	3	SD191	罐	須彌足陶器				ロクロ	調査日		
66	4	SD801	F上	甕	須彌足向背器	—	—	—			
	5	SD100	甕	須彌足向背器				平行			
	6	SD100	甕	呂呂呂形				ナデ	ナデ		
	7	SD801	甕	呂呂呂形				ナデ	ナデ		
	8	SD100	F上型	甕石	石製品	4.7	4.2	3.2			
	9	SD100	甕	甕石	石製品	4.5	2.5	1.2			
	10	SD801	F下	平瓦	瓦	—	—	1.8			
	11	SD361	甕	石製品	8.9	8.5	4.75				破面を削
	12	SD100	F	甕石	石製品	5.2	3.2	2.0			
	13	SD801	F下	平瓦	瓦	—	—	1.65	マメツ	マメツ	
	14	SD361	甕	石製品	6.5	7.1	4.6				
	15	SD191	甕	石製品	8.7	7.3	5.2				
69	16	SD361	甕	石製品	10.8	9.7	6.3				
	17	SD361	甕	石製品	8.9	7.8	6.1				
	18	SD191	石裏	石裏	石製品	13.2	11.1	2.0			
	19	SD191	石裏	石裏	石製品	(26.4)	(19.4)	18.9			
70	20	SD100	F下型	石	石製品	(17.4)	20.4	14.4			
	21	SD100	石	石製品	(24.9)						
	1	SD3	F2	甕	呂呂呂形				ナデ	ナデ	
	2	SD3	F2	甕	呂呂呂形				ナデ	ナデ	
	3	SD3	F2	罐	呂呂呂形	(11.8)			ナデ	ナデ	
73	4	SD1179	甕	呂呂呂形	—	—	—	ナデ	ナデ		
	5	SD1179	甕	呂呂呂形	—	(17.4)	—				
	6	SD3	F	甕石	石製品	9.2	4.9	2.0			
	7	SD3	F1	甕石	石製品	14.4	4.3	2.0			
	8	SD1179	F	甕石	石製品	3.3	2.4	2.9			破面を削
	9	SD3	F	甕石	石製品	—	—	—			
	10	49-29G	杯	須彌足	(13.6)	6.25	3.6	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SK1996	高台付	須彌足	(10.4)	—				凹・へき側面	内・外削平面
	3	I	甕	須縫	(26.2)			ロクロ	ロクロ		
	4	SP226	甕	須縫				平行	同心円		
	5	SP227	F上	甕	須縫			平行	同心円		
	6	I	杯	土師器	(14.6)			ロクロ・ケズリ	ミガキ		
	7	SD732	F上	甕	須縫	—	—	梅子目			
	8	SP46	F	杯	土師器	(7.0)		ヘラケズリ	ミガキ、褐色	木葉底	
76	9	53-30G	平瓦	瓦							
	10	I	瓦	瓦							
	11	L	焼成痕	焼	細縫	—	(4.0)	—			
	12	49-29G	甕	須縫							
	13	I(表上)	焼	須縫							
	14	34-42G	焼	須縫							
	15	SK1330	甕	瓦	瓦	—	—	ミガキ	ミガキ		
	16	焼成痕	甕	瓦	瓦	—	—				
	17	I(表上)	甕	瓦	瓦	—	—	スタンプ文			
	4	SK1024	甕	石製品	2.45	0.7	0.7				
	5	焼成痕	甕石	石製品	8.15	7.6	6.3				
	6	I	甕石	石製品	4.3	3.2	1.3				
	7	34-42G	甕石	石製品	5.6	5.5	2.4				
	8	I	甕石	石製品	3.9	2.7	0.9				
	9	49-24G	甕	石製品	2.0	1.8	0.8				
	10	41-38G	甕石	石製品	6.4	4.1	1.0				
	11	49-24G	甕石	石製品	5.7	5.0	1.7				統然
	12	I	焼成痕	甕石	8.3	4.2	2.0				
	13	SD3	スクレーパー	石製品	9.2	8.9	5.9				
	14	SD17	石	石製品							
	15	38-37G	石	石製品							

表 5 吉原 I 遺跡出土古銭観察表

辨 認 番 号	遺 物 名	出土地点	層 序	種 別	初 鉄(年)	計 測 値 (mm)		整 理 番 号
						長 さ	幅 さ	
37	1	ST1200	F	天聖元寶	1023	25	1.5	41
39	1	ST1323	Y	景德元寶	1004	24	1.5	42
48	1	SK262	F	開元通寶	621	-	-	
54	2	SK1326	F	永樂通寶	1408	24.5	1.5	43
53	2	SK1387	Y直	成平元寶	998	24.5	1.5	44
53	1	SK1387	F	天聖元寶	1023	24	1.5	45
		SK1387	F	不明	-	-	-	46
56	1	SK1445	F上	皇宋通寶	1039	25	1	47
		SK1446	F上	詔聖元寶	-	24.5	-	48
		SK1446	F上	不明	-	-	-	49
56	3	SK1447	F上	天聖元寶	1023	24.5	1	50
		SK1447	F下	皇宋通寶	-	-	-	51
		SK1448	F下	元寶通寶	25	1.5	-	52
		SK1448	F上	不明	-	-	-	53
		SK1448	F上	天聖元寶	-	-	-	54
56	4	SK1449	F下	聖宋元寶	1101	24	1	55
55	4	SK1460	F上	開元通寶	621	23	1	56
55	5	SK1460	F上	皇宋通寶	1039	24	1.5	57
55	6	SK1460	F上	元〇〇寶	-	24	1	59
55	7	SK1460	F上	天聖元寶	1023	24.5	1	58
		SK1460	F上	天〇元寶	-	26	1.5	60
		SK1460	F上	不明	-	-	-	61
		SK1460	F下	元〇通寶	-	24	1	62
		SK1520	F上	不明	-	-	-	63
56	2	SK1530	F下	天豐通寶	1078	24	1.5	64
		SK1530	F下	嘉祐通寶	1056	25	1.5	65
		グリッド		元〇〇寶	-	23.5	1	66

表 6 吉原 I 遺跡出土金属製品観察表

辨 認 番 号	出 土 遺 構	層 序	種 別	計 測 値 (cm)			整 理 番 号	
				長 さ	幅 さ	厚 さ		
37	2	ST1200	F	棒状鉄製品	16.7	1.4	1.2	DZ1
39	3, 4	ST1323	床直	入八双金物	8.4	4.85	0.5	DZ2
42	1	ST1526	F上	笄	8.9	1.4	0.9	
51	3	SK982	F	短刀	28.9	2.3	0.85	
55	1	SK1324	F	板状鉄製品	5.1	2.9	0.35	DZ8
55	2	SK1324	F	鉄製品	8	1.4	0.6	DZ3
55	3	SK1460	F	刀子	11.3	1.3	0.3	DZ7
56	5	SK1448		刀子	3	1.3	0.6	DZ4
56	6	SK1447	F	金具	1.8	0.7	0.45	DZ6
77	1	SP1517	F	鉄製品	6	3.5	0.2	DZ10
77	2	SK1451	F(上)	棒状鉄製品	9.45	0.8	0.8	DZ5
77	3	SK1452	F	鉄製品	10.3	6.7	0.5	DZ11

3 まとめ

今回の調査では奈良～平安時代と中世の遺構と遺物が出土している。

奈良～平安時代

奈良～平安時代の遺構は掘立柱建物跡を中心とし、土坑・溝跡などが調査区の東側に多く検出された。掘立柱建物跡の規模は、 2×3 間の側柱建物が9棟を主体に、 2×2 間の総柱の建物が3棟確認される。 2×3 間以上の建物跡の柱穴掘り方は、平面形が概して方形や隅丸方形を呈し、大型で、 2×2 間の総柱の建物やそれ以外の建物の柱穴掘り方は、平面形が円形や梢円形を呈し、小型のものであるため、建物の規模・性格などにより、柱穴の掘り方も変えたものと考えられる。

主軸方向では、座標北を向くもの及び座標北から西に 1° ～ 9° 振れるものと、座標北から東に 3° ～ 20° 振れるものの大きく三つに分けられる。建物どうしの切り合いは、SB90→SB91、SB92→93、SB94→93で認められ、同じ主軸方向の中でも時期差があると判断される。また、SB90・91の先後関係から、東に振れる一群から、西へ振れる一群への変遷が考えられる。以上から、建物群は少なくとも3時期以上の変遷が考えられ、年代は出土遺物から、8世紀後葉～9世紀前半頃にあてられる。

SD101・121・218・219・820溝跡は、出土遺物などから、奈良～平安時代に帰属する溝跡で、当該期の掘立柱建物跡を区画する溝跡と考えられる。区画する範囲は南北77m、東西70mを測る。SD218はSB99と重複関係にあり、溝跡が構築された時期と建物跡の間に時期差が認められる。溝跡内部には 2×2 間の総柱の建物跡が位置しているのみであるが、中世の遺構が当該期の遺構を破壊した結果と推測される。

中世

中世の遺構は掘立柱建物跡・竪穴状遺構を中心に、それらを区画する堀跡・溝跡・土坑・ピットなどが調査区中央部に多数検出された。

掘立柱建物跡はSB185を除き、SD100・191・801堀跡の内部に検出され、SB178や183などの廂付きの大型建物を中心とし、SB177などの小型の建物を周辺に配置されている。

建物どうしの切り合いはSB179→SB181で認められ、主軸方向では座標北を向くもの、座標北からやや東に振れるもの、座標北から西に振れるものと大きく三つに分けられる。SB179・181の先後関係から、北から東に振れる一群から、西に振れる一群への変遷が考えられる。建物跡からの出土遺物がなく、年代根拠に乏しいが、掘立柱建物跡群を区画する堀跡と同時期と考え、14～16世紀にあてられる。

竪穴状遺構は、掘立柱建物跡群が構築される地区とは異なる場所に検出され、溝跡による区画がなされている。主軸方向から、座標北から 8° ～ 17° 西に振れる一群、座標北から 20° ～ 30° 以上西に振れる一群の、大きく二つのグループに分けられる。前者はSD3、後者はSD1504・1227と主軸方向を同じくする。

竪穴状遺構の年代は、瓷器系陶器片や北宋銭が出土していること、竪穴状遺構を区画する溝跡や周辺の土坑から、須恵器系・瓷器系陶器、瀬戸美濃系の皿などが出土することから、掘立柱建物跡と同じ14～16世紀にあてられる。

本遺跡における中世の集落は、堀跡内部はいわゆる「方形居館」の形態をなし、在地の有力層などが居住したものと推測され、堀跡外部は貯蔵施設や作業場的な空間としての利用が考えられる。

出土遺物からも斧や短刀など、一般の人々では持つことのできないであろう遺物が出土し、有力層の存在を物語っているものと思われる。

IV 吉原II遺跡

1 遺跡の概観

(1) 調査区と層序

吉原II遺跡の範囲は、南北200m、東西250mの22,000m²の範囲に広がる。地目は水田で、付近の標高は122～123mを測る。平成9・12・14年度の3次にわたり発掘調査が行われ、1・2次調査は街区道路工事、3次調査は民間の店舗建設に伴うものである。第1次調査区をA区、2次調査区をB区、3次調査区をC区と呼称する。

調査区のグリッドは現場調査段階でその都度、各調査区にあわせた任意のグリッドを設定したが、報告書作成にあたり公共座標をもとにグリッドを改めて設定しなおした。国土座標平面直角座標系第X系： $X = -196,920.00$ 、 $Y = -45,040.00$ を原点とし、南をS、西をWと表記し、そこから1mを最小単位とするグリッドの設定を行った。

基本層序は概ね3層に分けられた。具体的には、I層が褐色土（表土、耕作土）、II層が黒色土（遺物包含層）、III層が黄褐色土（地山）である。I層は現況の水田耕作土である。II層は部分的にみられる層で、III層が地山である。II層下部から遺物の包蔵が認められ、遺構の検出面はIII層直上面であった。全体的に粘性が強く、II、III層には凝灰岩質の小礫の混入が認められた。

(2) 遺構と遺物の分布

調査で検出された主な遺構は、奈良～平安時代の掘立柱建物跡7棟、竪穴住居跡1棟、土坑、溝跡、河川跡、柱穴などで、登録した数は260を超える。

掘立柱建物跡7棟はA区で検出され、B区には検出されていない。C区には柱穴と考えられる遺構が確認され、部分的な調査であり建物跡と認定するにはいたらなかったが、掘立柱建物跡はC区及びA区の東へ広がっていたものと推測される。

建物跡はいずれも南北方向で、建物の長軸も全て南北方向にもつ。主軸方向から少なくとも2時期以上の変遷が認められる。

竪穴住居跡は1棟確認されている。この竪穴住居の廃絶後、SB5が構築されている。

これらの建物跡の周辺に溝跡が検出されている。溝跡は建物跡と同方向であることから、同時期の遺構で、区画などを目的としたものと考えられる。

河川跡は、A・B区で検出され、東西に走っている。最上層に近・現代の遺物が混入するが、下層からは奈良～平安時代の土器片や木製造物、自然木などが多く出土し、遺存状態も良好であった。

遺物はおもに竪穴住居跡や河川跡から出土した。須恵器壺や土師器壺・鉢、赤焼土器壺などの土器が出土し、耳皿、風字硯、墨書き土器などの特徴的な遺物も出土している。時期的には、奈良時代末～平安時代前半の8世紀末～9世紀後半があてられる。

2 検出された遺構と遺物

(1) 穫穴住居跡

本調査区では平安時代の竪穴住居跡が1棟検出された。以下に概述する。

S I 01 (第78~80図)

位置 S B 05がS I 01の北東隅を切っている。またS D 130が本遺構の南に位置している。

規模 東西が調査区外となり全体の規模は不明であるが、平面形が南北約6.5m、東西5.8m以上の方形を呈する。確認面からの深さが約6cmと浅く、壁の立ち上がりは不明瞭である。カマドは、南壁東寄りに焼土と炭が検出されたが、ソデなどは確認できず、遺存状態は良くない。

柱穴は4基確認され、主柱穴となる。また、周溝がカマド部分を除き全周する。周溝は幅8~12cm、床面からの深さ3cm前後を測る。

主軸方向 N-2°-W

出土遺物 遺物はカマド周辺、柱穴から比較的多く出土した。器種は、須恵器蓋、坏(79-1~4)、高台坏(79-5)、壺、甕、土師器坏(79-9)、土師器甕などがある。

須恵器坏は底部切離しがヘラ切で、ヘラ切後、ナデなどの調整は見受けられない。高台坏は大型の形態で、底部切離しがヘラ切である。壺(79-6)は肩部に最大径を持つ形態で、口クロ痕が明瞭に残る。9は内面にミガキ、黒色処理される。土師器甕は非口クロ成形のもので、長胴形の大型のもの(80-15、16、21)と小型のもの(80-10~13)が認められる。口縁部付近はナデ、体部外面は縦方向、体部内面は横方向のハケメ調整が施されている。底部は編物痕と木葉痕が確認された。

(2) 堀立柱建物跡

堀立柱建物跡として確認できたものは7棟である。この他にも多くの小ピットを検出したが、積極的に建物跡とするまでに至らなかった。

内訳は2×3間が1棟、2×2間(廻付)が2棟、調査区外に伸びるなどの理由から、規模不明なものが4棟である。

建物の主軸方向は南北方向を基調とし、全て長軸を南北にもつ。主軸方位は座標北に対し西に振れるもの(S B 02・03・04・06・07)と、座標北に対し東に振れるもの(S B 01・05)と大きく二つのグループに分けられる。

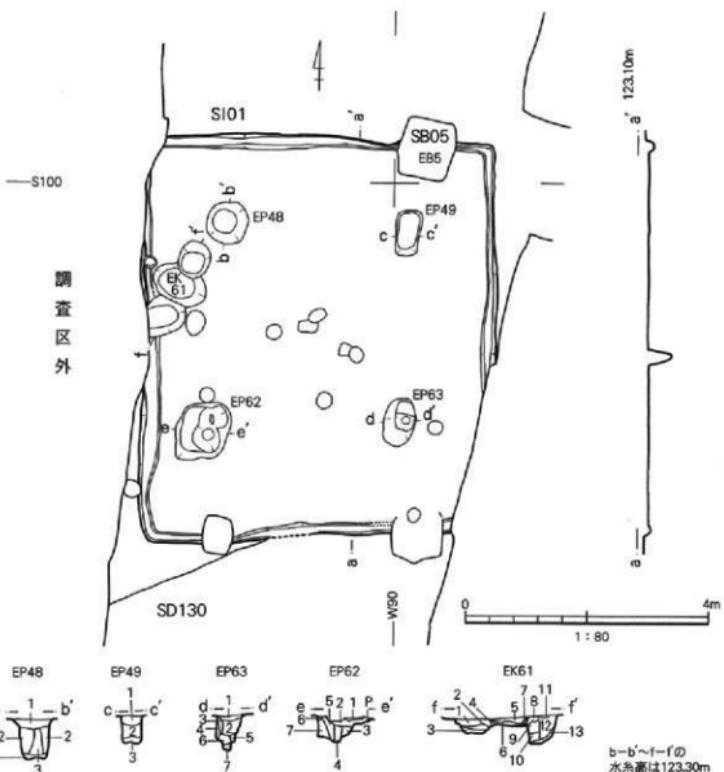
重複関係は堀立柱建物跡どうしでは確認されなかつたが、S I 01とS B 05について認められ、S B 05がS I 01を切っている。以下に各建物跡について概述する。

S B 01 (第81~84図)

規模 S D 123と重複関係にあり、切られている。梁行4.3m、桁行6.2mを測る2(北1間)×2間の母屋に、南に廂が付く南北棟の建物跡である。柱間は梁行が2.1~2.2m、桁行が1.9~2.2mを測る。

主軸方向 N-7°30' -E

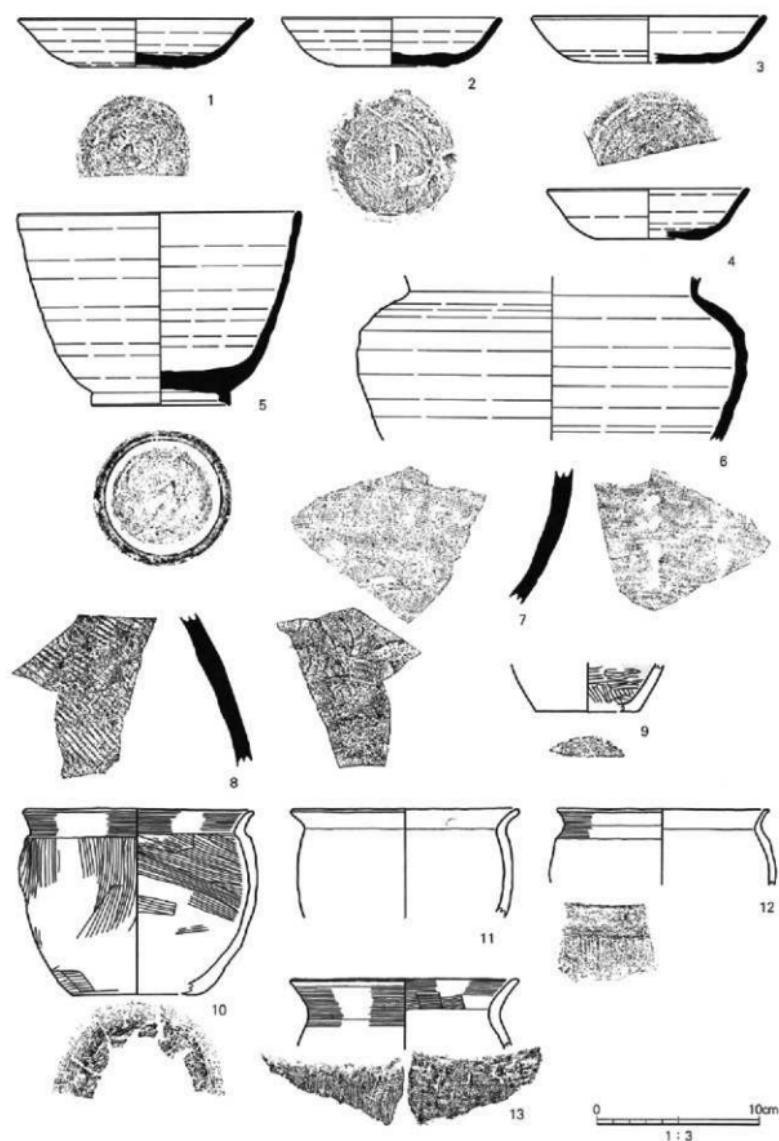
柱穴 堀り方は平面形が方形や隅丸方形で、長軸80~120cm、短軸70~116cmを測る。確認面か



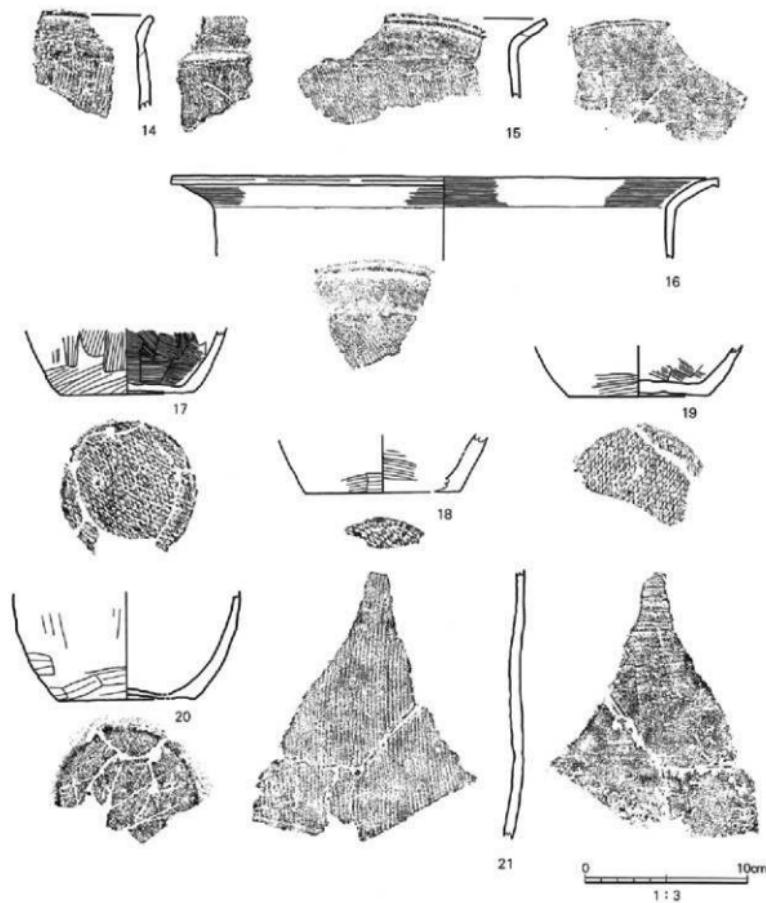
第78図 吉原 II 遺跡SI01堅穴住居跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SI01	1	10YR2/2 黒褐色	土	
	2	10YR3/4 暗褐色	土	風化のブロックを含む。
	3	10YR4/3 にぶい暗褐色	土	風化のブロックを含む。
	4	10YR4/2 暗黄褐色	土	
EP48	1	10YR2/2 黒褐色	土	
	2	10YR4/3 にぶい暗褐色	土	地山ブロックを含む。黒土ブロックを含む。
	3	10YR4/4 暗褐色	土	黒土ブロックを含む。
	4	10YR4/2 暗黄褐色	土	
EP49	1	10YR5/6 黄褐色	シルト	粘土ブロックが散じる。
	2	10YR4/3 にぶい暗褐色	土	砂2~20mm程度の礫が混じる。
	3	10YR4/4 暗褐色	土	
	4	10YR4/2 黒褐色	土	砂粒を含む。
EP63	1	10YR5/6 黄褐色	シルト	粘土ブロックを含む。
	2	10YR4/3 にぶい暗褐色	土	砂2~20mm程度の礫が混じる。
	3	10YR4/2 暗黄褐色	土	砂粒を含む。
	4	10YR3/2 黑褐色	土	砂粒を含む。
EP62	5	10YR3/4 暗褐色	土	砂粒を含む。
	6	10YR6/4 にぶい黃褐色	土	砂粒を含む。
	7	10YR6/6 黄褐色	粘土	
	8	2.5YR4/5 赤褐色	土	块状。

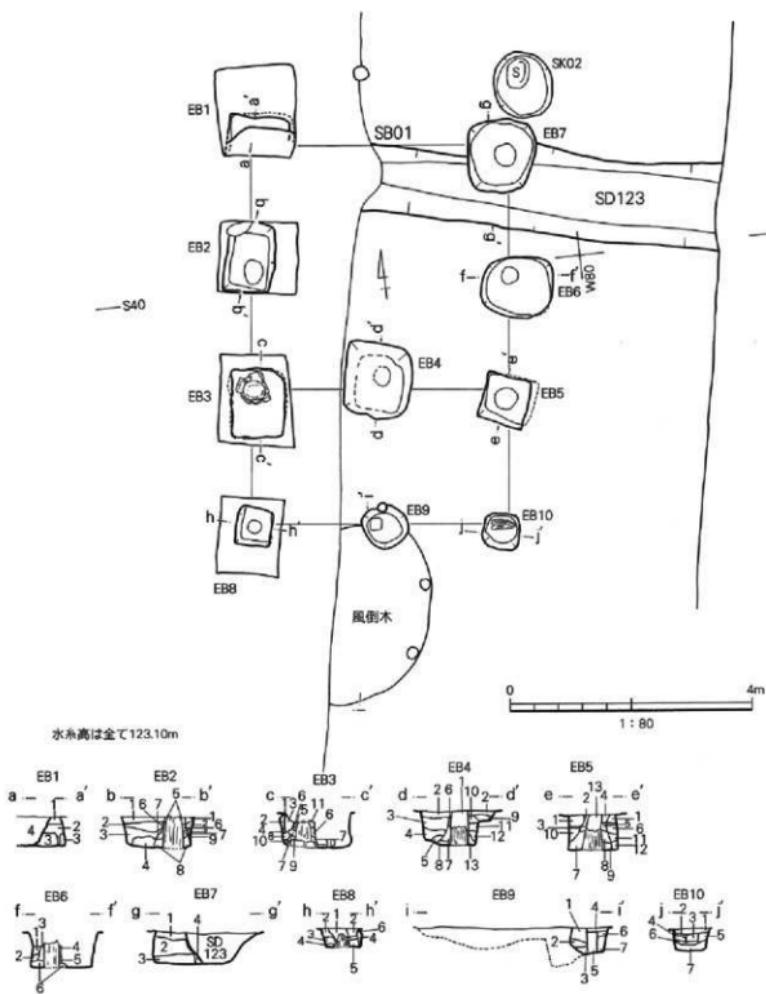
遺構番号	層位	土色	土質	備考
EK61	1	10YR2/2 黒褐色	土	地山ブロックを若干含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	暗い色調の地山ブロックを含む。
	3	10YR2/1 黒色	土	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックの層。
	5	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。炭化物を含む。植物を含む。
	6	10YR3/1 黒褐色	土	
	7	10YR4/4 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	8	10YR3/2 黑褐色	土	植物を含む。
	9	10YR3/3 墓褐色	土	地山ブロックを含む。
	10	10YR3/1 黑褐色	土	
	11	10YR4/1 黄褐色	土	
	12	10YR4/6 黄色	土	地山ブロックを含む。
	13	10YR3/1 黑褐色	土	



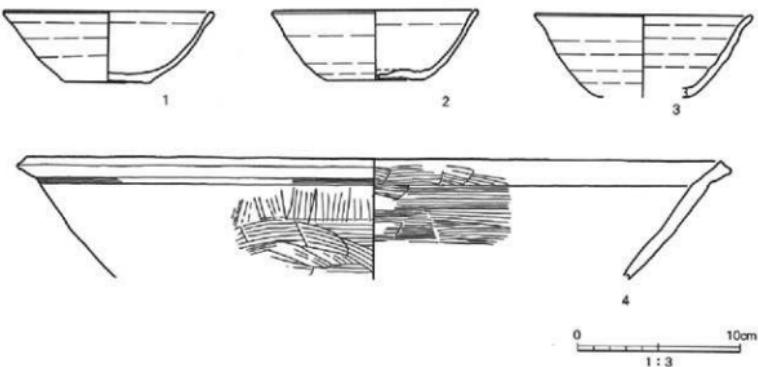
第79図 吉原Ⅱ遺跡S101出土土器（1）



第80図 吉原 II 遺跡SI01出土土器 (2)



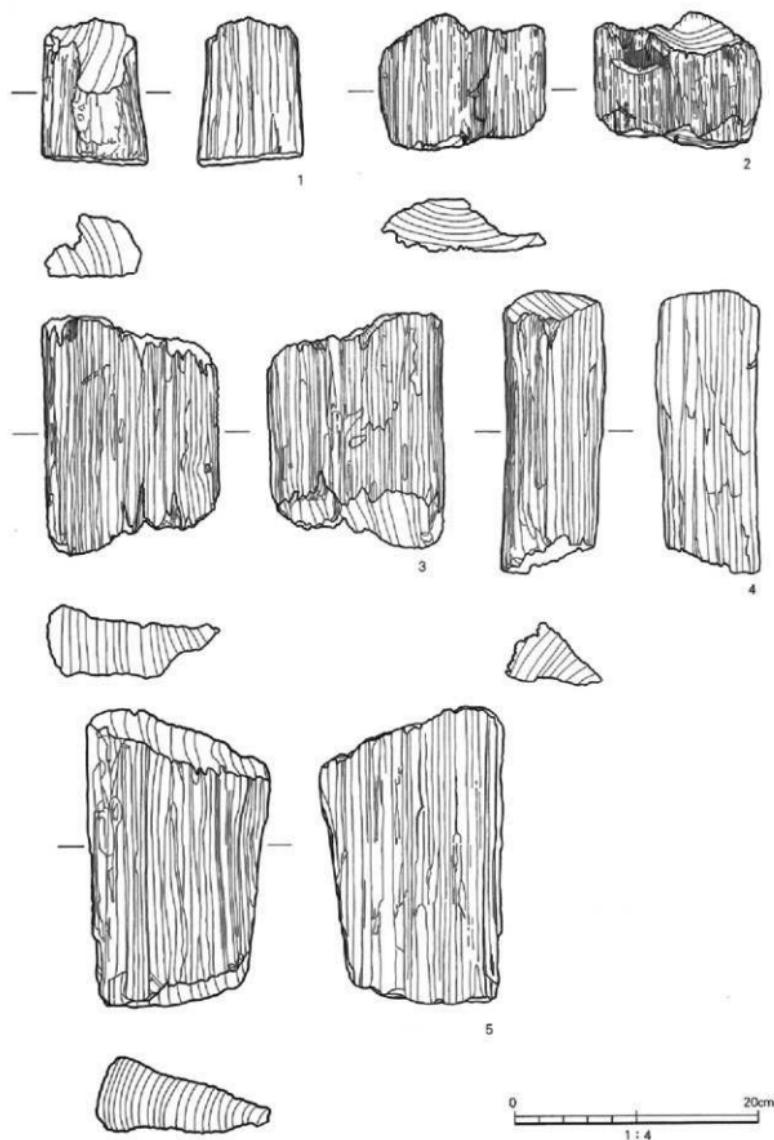
第81図 吉原Ⅱ遺跡SB01振立柱建物跡



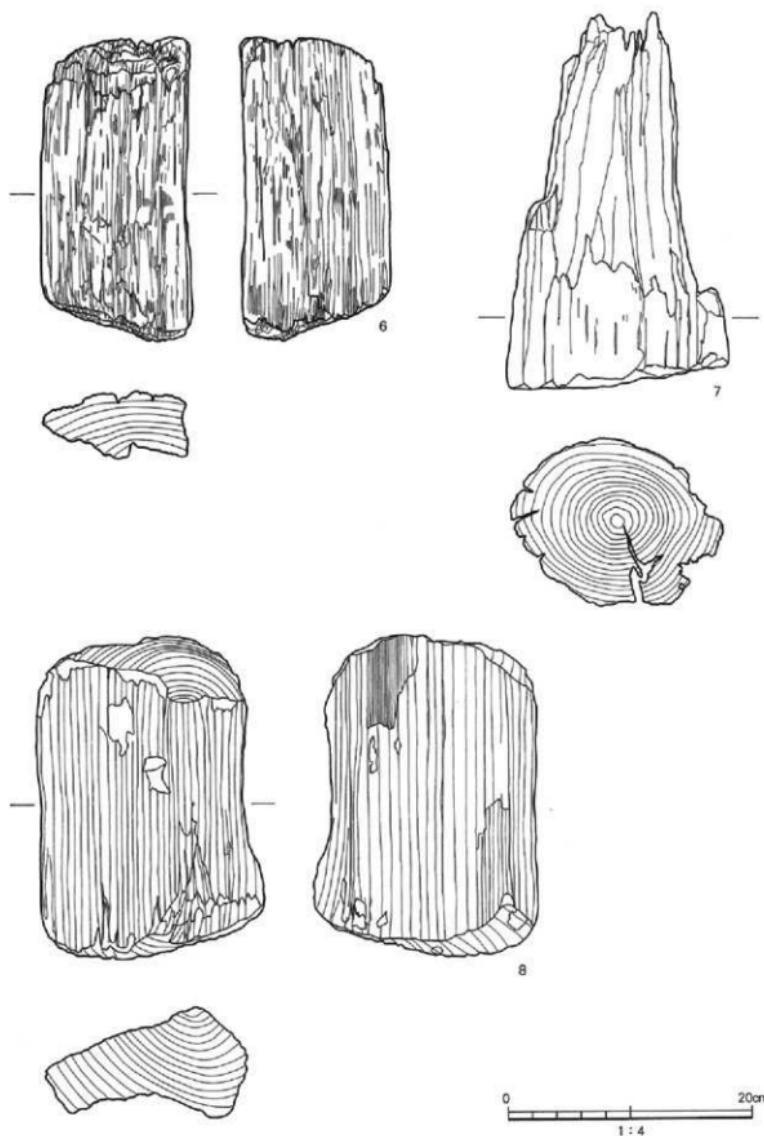
第82図 吉原II遺跡SB01出土土器

遺構番号	層 号	土 色	土 質	備 考
SB01	1	10YR4/2 黄赤褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	5GY3/3 にぶい黄褐色	シルト	
	4	10YR5/1 黒褐色	土	塊状。
EB1	1	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR3/2 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	2.5Y4/4 オリーブ褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	2.5Y3/2 黑褐色	土	粘土ブロックを含む。
EB2	1	10YR5/1 細オーリーブ灰色	シルト	
	2	2.5GY3/1 細オーリーブ灰色	シルト	
	3	2.5Y4/4 オリーブ褐色	シルト	
	4	2.5Y3/2 黑褐色	土	粘土ブロックを含む。
	5	2.5GY3/1 細オーリーブ灰色	シルト	
	6	2.5GY4/1 細オーリーブ灰色	シルト	砂粒を含む。
	7	2.5GY5/1 オリーブ褐色	シルト	砂粒を含む。
	8	2.5GY4/1 細オーリーブ灰色	シルト	
EB3	9	2.5Y5/6 黄褐色	土	
	1	10YR4/1 黑褐色	土	
	2	10YR6/3 明赤褐色	粘土	
	3	10YR5/2 黄褐色	シルト	砂粒が混じる。
	4	10YR4/1 黑褐色	シルト	若干砂粒が混じる。
	5	7.5GY5/2 黑褐色	粘土	
	6	7.5GY4/4 黑褐色	粘土	
	7	10G Y4/1 始緑灰色	粘土	馬土のブロックを含む。
	8	10Y5/2 オリーブ灰色	粘土	
EB4	9	5GY3/1 始緑灰色	粘土	
	10	5GY5/1 始緑灰色	粘土	
	11	10YR3/1 黑褐色	シルト	馬土のブロックが主体。
	1	10YR3/1 黑褐色	土	若干粘土ブロックを含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/8 黄褐色	シルト	褐色粘土が主体。
	4	10YR4/2 黄褐色	土	褐色粘土ブロックを含む。
	5	10YR6/9 明赤褐色	粘土	
	6	2.5Y5/2 黄褐色	シルト	
	7	5GY5/1 オリーブ灰色	粘土	
EB5	8	7.5GY2/1 黄褐色	粘土	
	9	10YR4/6 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	10	10YR5/3 にぶい黄褐色	土	褐色粘土ブロックを含む。
	11	10YR4/2 黄褐色	土	褐色粘土ブロックを含む。
	12	10YR4/2 黄褐色	シルト	
	13	2.5GY4/1 細オーリーブ灰色	粘土	

遺構番号	層 号	土 色	土 質	備 考
1	10YR4/4 黄色	土	地山ブロックを含む。	
2	7.5GY3/3 黄オリーブ色	土	若干粘土が混じる。	
3	5GY3/1 黄オリーブ灰色	土	若干粘土が混じる。風化が進む。	
4	2.5Y3/2 黑褐色	土	若干粘土が混じる。	
5	10Y4/2 オリーブ灰色	土	若干粘土が混じる。	
6	10YR4/4 黄色	土	若干粘土が混じる。	
7	7.5GY4/1 始緑灰色	シルト	風土が混じる。	
8	7.5GY3/1 始緑灰色	シルト	風土が混じる。	
9	10GY4/1 始緑灰色	シルト	風土が混じる。	
10	10YR3/4 始緑灰色	土	地山ブロックを含む。	
11	2.5Y3/3 始緑灰色	土	地山ブロックを含む。	
12	10YR2/4 黑褐色	土	地山ブロックを含む。	
13	10YR2/2 黑褐色	土	地山ブロックを含む。	
1	10Y3/1 オリーブ黒色	土		
2	7.5Y3/2 オリーブ黒色	シルト		
3	10GY4/1 始緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。	
4	2.5GY4/1 始緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。	
5	10GY4/1 始緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。	
6	10GY3/1 始緑灰色	シルト	粘土ブロックを含む。	
1	10YR3/1 黑褐色	土		△1~10mmの砂を含む。
2	7.5Y3/4 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
3	7.5Y2/2 黑褐色	シルト		地山ブロックを含む。
4	7.5Y3/2 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
1	10YR3/3 黑褐色	土		
2	10YR4/3 黑褐色	土		
3	10YR5/6 黄褐色	シルト		△1~5mmの砂を含む。
4	10YR4/2 黄褐色	土		
5	10YR5/1 黄褐色	シルト		△1~5mmの砂を含む。
6	10YR4/3 にぶい黄褐色	土		砂粒を含む。
1	10YR4/1 黑褐色	土		
2	10YR4/1 黑褐色	土		地山ブロックを含む。(△より多い)
3	10YR4/6 黑褐色	シルト		
4	10YR4/1 黑褐色	土		△3~10mmの石を含む。
5	10YR2/1 黑褐色	シルト		
6	10YR3/3 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
7	10YR3/2 黑褐色	土		地山ブロックを含む。(△より多い)
1	10TR4/2 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
2	10YR3/3 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
3	10YR2/1 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
4	10YR3/1 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
5	10YR4/1 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
6	10YR3/2 黑褐色	土		地山ブロックを含む。
7	10YR2/2 黑褐色	土		地山ブロックを含む。



第83図 吉原 II 遺跡SB01出土石板



第84図 吉原 II 遺跡SB01出土礎板・木柱

らの深さは30~60cmで、廂部分の柱穴は母屋部分の柱穴に比べ、小型で確認面からの深さも浅い。

断面形は側壁が一部オーバーハングする。柱根がEB2~6、8で遺存しており、直径35cm前後のクリ材である。EB3では、柱根の下に礎板が7枚敷かれていた。礎板は長さ12~26cm、幅8~17cm、厚さ4~9cmを測り、大きさなどに規格性は特に見受けられない。

出土遺物 柱穴覆土より赤焼土器壺(82-1~3)、土師器壠(82-4)、内面が黒色処理される、土師器壺片が出土した。

S B02 (第85図)

規模 S B01の南方に位置し、梁行3.8m、桁行5.8mを測る2×2間に北面に廂が付く南北棟の建物跡である。柱間は梁行が1.7~2.1m、桁行が2.1~2.2mを測る。

主軸方向 N-1°-W

柱穴 掘り方は平面形が方形で、長軸70~100cm、短軸60~85cmを測る。確認面からの深さは14~58cmを測る。断面形は、壁が一部オーバーハングして掘り込まれる。EB3で柱根が遺存していた。

出土遺物 遺物は出土していない。

S B03 (第86・87図)

規模 S B02の南に位置する。梁行4.6m、桁行6.6mを測る2×3間規模の南北棟の建物跡である。柱間は梁行がEB1・2・3間で2.2~2.4m、桁行が2.0~2.3mを測る。

主軸方向 N-5°-W

柱穴 掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸84~116cm、短軸72~92cmを測る。確認面からの深さは36~54cmを測る。断面形は側壁が一部オーバーハングする。EB10では柱根が遺存していた。

出土遺物 柱穴覆土から須恵器壺(87-1~3)、須恵器壠(87-4・6)、赤焼土器壺が出土した。須恵器壺は底部の切離しが糸切とヘラ切が混在する。87-6は被熱による火ハネ痕が認められる。

S B04 (第86・87図)

規模 S B03の東に位置する。東側が調査区外となるため、全体の規模は不明であるが、南北6.5mを測る1×4間以上の建物跡である。柱間は北から1.2・2.1・1.8・1.4mを測る。

主軸方向 N-6°-W

柱穴 掘り方は平面形が方形で、径70~86cm、確認面からの深さは14~46cmを測る。

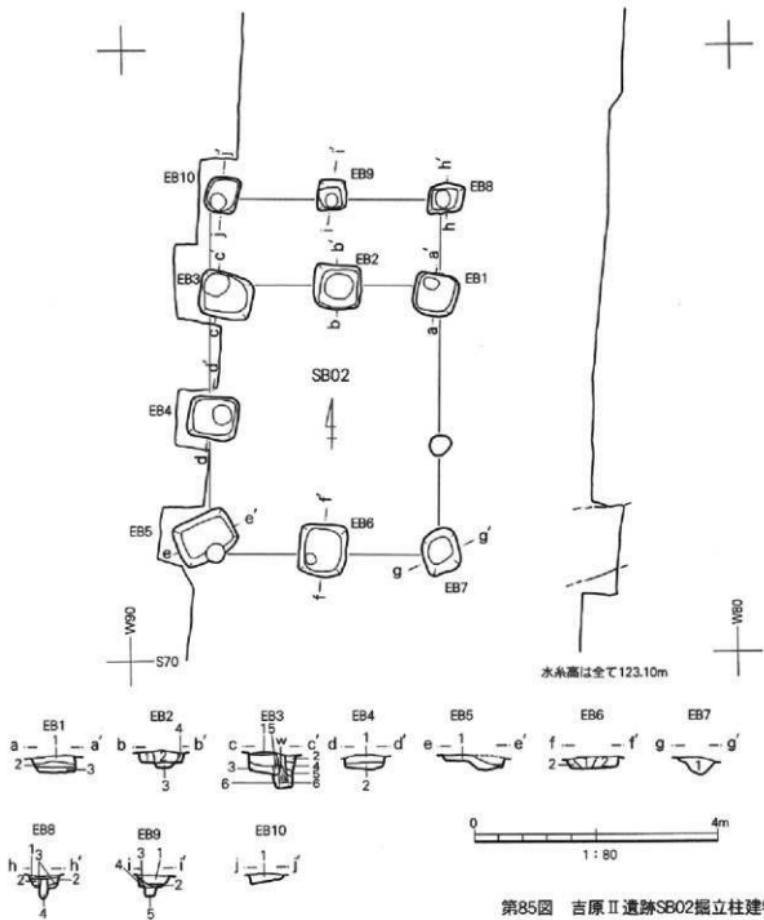
出土遺物 柱穴覆土から須恵器壠(87-5)、底部切離しがヘラ切の須恵器壺片が出土した。

S B05 (第88図)

規模 東側が調査区外となり、SI01を切っている。全体の規模は不明であるが、南北5.3m、東西1.8m以上を測る3×1間以上の規模の建物跡で、柱間は南北、東西ともに1.7~1.8mを測る。

主軸方向 N-7°-E

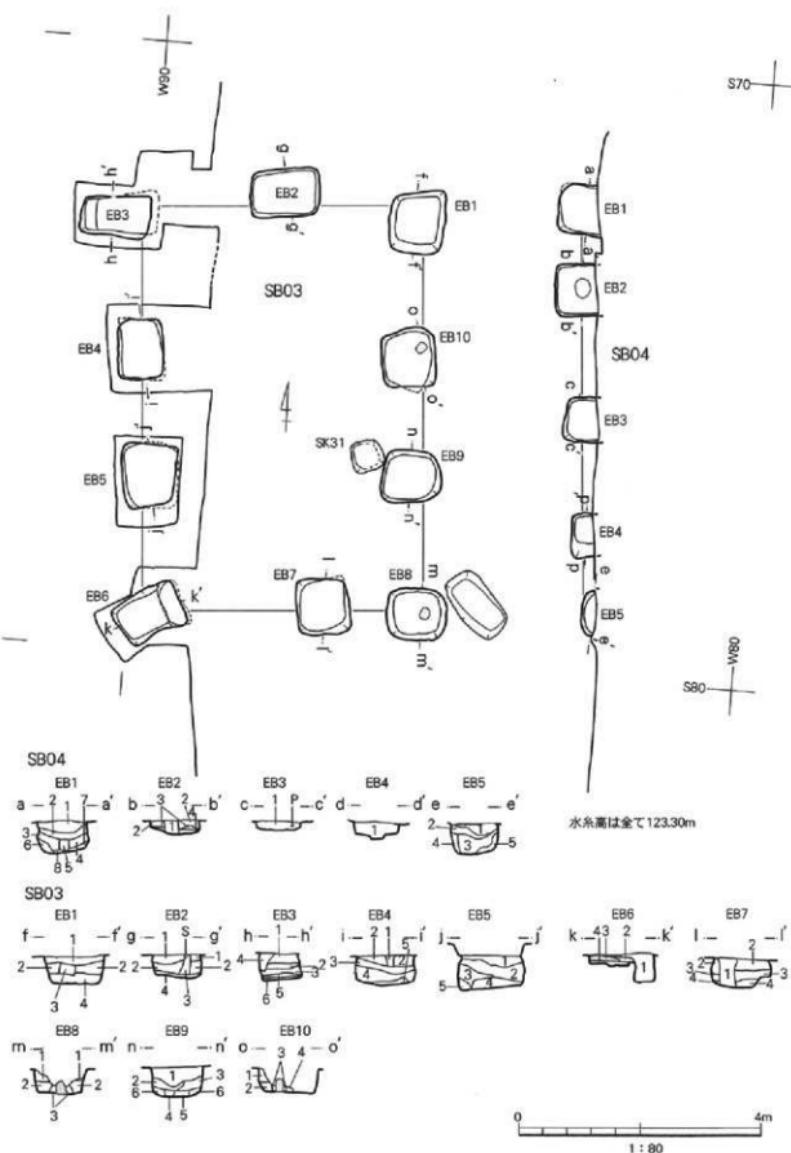
柱穴 掘り方は平面形が方形で、長軸66~100cm、短軸44~90cmを測る。確認面からの深さは20~42cmを測る。断面形は側壁が一部オーバーハングする。



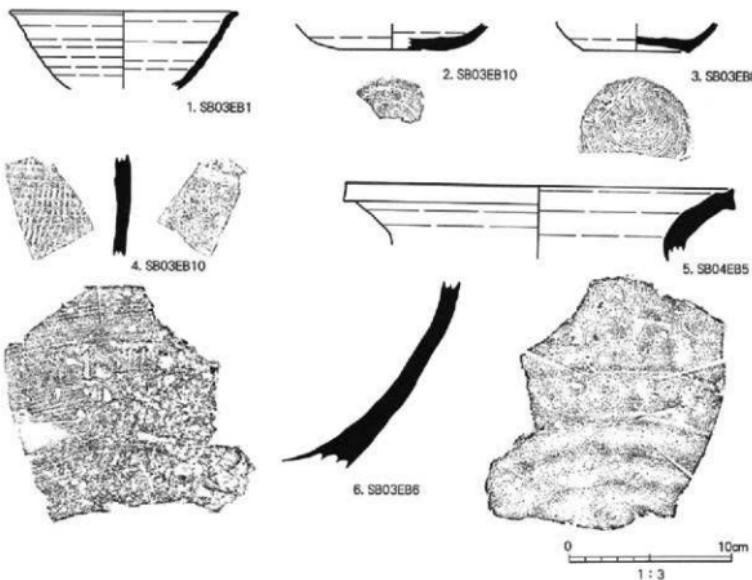
第85図 吉原 II 遺跡SB02掘立柱建物跡

遺跡番号	層位	土色	土質	備考
SB02				
EB1	1	10YR3/1 黄褐色	土	φ 20~40mmの石を含む。
	2	10YR3/3 茶褐色	土	
	3	10YR4/3 茶褐色	堅土	
EB2	1	10YR6/6 明黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/2 深黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ 5~30mmの石を含む。
EB3	3	10YR4/1 黄褐色	土	
	4	10YR2/1 黑色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR4/1 明黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR5/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
EB4	1	10YR2/1 黑褐色	土	
	2	10YR4/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ 10~40mmの石を含む。

遺跡番号	層位	土色	土質	備考
EB5	1	10YR3/3 黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ 10~30mmの石を含む。
	2	10YR2/2 黄褐色	土	φ 10~30mmの石を含む。
EB6	1	10YR2/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/1 黄褐色	土	
	3	10YR3/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
EB7	1	10YR2/1 黄褐色	土	φ 10~30mmの石を含む。
	2	10YR4/1 黄褐色	土	
	3	10YR2/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR2/1 黄褐色	土	
EB8	1	10YR2/1 黄褐色	土	
	2	10YR3/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/3 にじい黄褐色	土	
EB9	5	10YR2/1 黄褐色	土	
	6	10YR2/1 黄褐色	土	
EB10	1	10YR3/1 黄褐色	土	地山ブロックを含む。

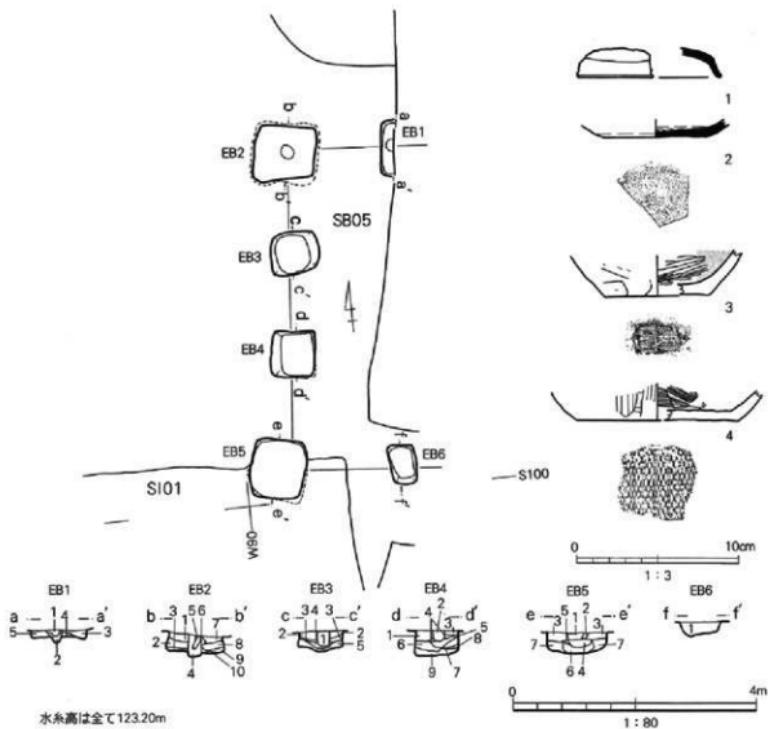


第86図 吉原II遺跡SB03・04掘立柱建物跡



第87図 吉原II遺跡SB03・04出土土器

遺物番号	層位	土色	土質	備考
SB04				
EB1	1	10YR5/2 灰黃褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10Y4/1 黄褐色	土	φ10~30mmの石を含む。
	3	10YR4/4 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/2 黒褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR2/2 黑褐色	土	
	6	10YR3/1 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR2/1 黑褐色	シルト	
	8	10YR3/1 暗褐色	砂質土	
EB2	1	10YR3/2 黑褐色	土	
	2	10YR4/1 海灰色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/4 灰黃褐色	土	
	4	10YR4/2 灰黃褐色	土	地山ブロックを含む。
EB3	1	10YR4/2 灰黃褐色	土	地山ブロック含む。
EB4	1	10YR3/2 黑褐色	土	地山ブロック含む。
EB5	1	10YR4/2 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/1 海灰色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/6 黄褐色	土	
	4	10YR4/4 黄褐色	シルト	
	5	10YR3/2 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR4/1 海灰色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR4/6 黄褐色	土	
	8	10YR4/4 黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ50~100mmの礫を含む。
EB6	1	10YR3/2 黑褐色	土	
	2	10YR4/2 灰黃褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/4 にじい海褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/1 黑褐色	土	
EB7	1	10YR4/1 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR3/4 細褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/3 細褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR2/1 黑褐色	土	
EB8	1	10YR4/1 海灰色	土	地山ブロックを若干含む。
	2	10YR4/3 にじい海褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10Y4/2 サーフ灰色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/2 灰黃褐色	土	地山ブロックを含む。
EB9	2	10YR4/3 にじい海褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/4 海褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/3 細褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR2/1 黑褐色	シルト	地山ブロックを含む。
	6	10YR3/2 黑褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR4/4 黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ5~20mmの石を含む。
EB10	1	10YR4/4 黄褐色	土	地山ブロックを含む。φ5~20mmの石を含む。
	2	10YR3/4 細褐色	土	地山ブロックを含む。φ2~10mmの石を含む。
	3	7.5Y4/3 緑オリーブ色	土	φ5~20mmの石を含む。
	4	10YR3/4 細褐色	土	φ5~20mmの石を含む。



第88図 吉原 II 遺跡SB05掘立柱建物跡・出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB05				
EB1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	土	
	3	10YR4/1 褐灰色	土	
	4	10YR5/8 黄褐色	土	地山ブロックの層。
	5	10YR5/6 褐褐色	土	地山ブロックを含む。
EB2	1	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	2	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR4/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR4/2 反黄褐色	土	
	5	10YR3/1 黑褐色	土	炭化物を含む。
	6	10YR5/8 黄褐色	土	
	7	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	8	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	9	10YR4/4 黄色	土	地山ブロックを含む。
	10	10YR4/6 黄色	土	
EB3	1	10YR5/2 灰黄褐色	土	下層に土壙あり。
	2	10YR5/6 黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR3/2 黑褐色	土	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR2/1 黑色	土	

遺構番号	層位	土色	土質	備考
EB4	1	10YR4/2 灰黄褐色	土	炭化物若干混じる。
	2	10YR5/6 褐褐色	土	地山ブロックを含む。
	3	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	
	4	10YR3/2 黑褐色	土	炭化物若干混じる。
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
EB5	7	10YR4/6 褐色	土	地山ブロックを含む。
	8	10YR4/1 褐灰色	土	
	9	10YR5/4 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	1	10YR3/1 黑褐色	土	S101の断面
	2	10YR3/2 黑褐色	土	
EB6	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	4	10YR3/3 褐褐色	土	地山ブロックを含む。
	5	10YR4/3 褐褐色	土	地山ブロックを含む。
	6	10YR4/2 灰黄褐色	土	地山ブロックを含む。
	7	10YR4/4 褐色	土	地山ブロックを含む。
EB6	1	10YR3/2 黑褐色	土	地山ブロックを含む。

出土遺物 柱穴覆土から須恵器蓋（88-1）、底部切離しが糸切の坏（88-2）、土師器鉢（88-3）、土師器甕（88-4）、赤焼土器の小型甕が出土した。3は内面がミガキ、黒色処理される。3、4は底部に縞模様が認められる。

S B 06 (第89図)

規模 南部が調査区外となり、全体の規模は不明であるが、梁行6.2m、桁行6.4m以上を測る2×3間以上の規模の建物跡で、柱間は梁行が2.8・3.4m、桁行が2.1~2.3mを測る。

主軸方向 N-5°-W

柱穴 堀り方は平面形が隅丸方形で、長軸74~120cm、短軸66~80cmを測る。確認面からの深さは28~46cmである。断面形は、側壁が一部オーバーハングする。建物隅の堀り方が、建物の中心に向かって斜めに掘られている。柱根がE B 2、3、5~8で遺存していた。

出土遺物 遺物は出土していない。

S B 07 (第90図)

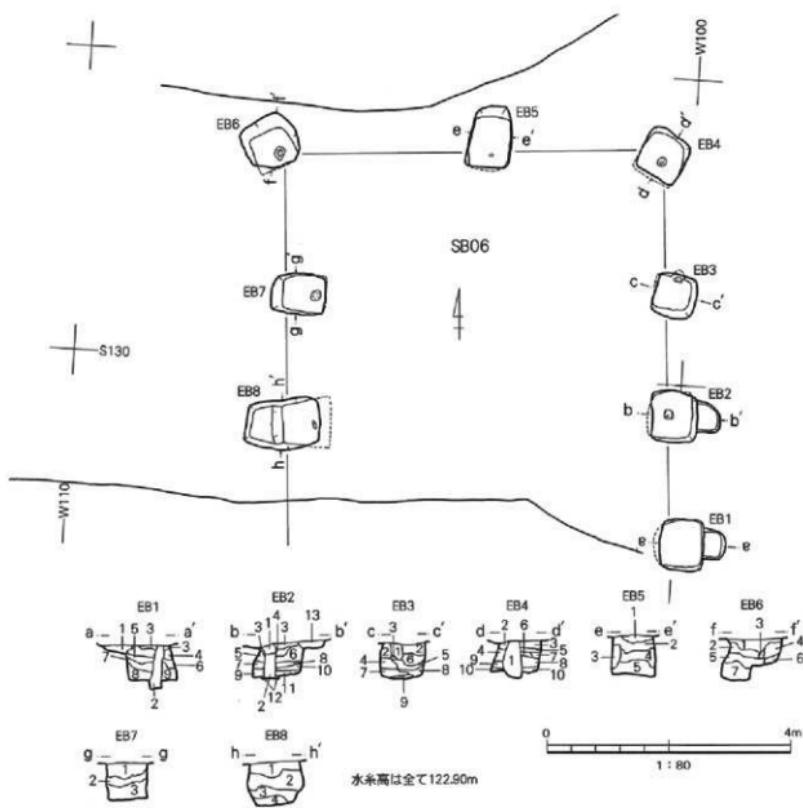
規模 S B 06の西、S D 126の東に位置する。南部が調査区外となるため、全体の規模は不明であるが、梁行5.0m、桁行6.0m以上を測る2×3間以上の規模の建物跡で、柱間は梁行が2.4・2.6m、桁行が1.8~2.1mを測る。

主軸方向 N-6°-W

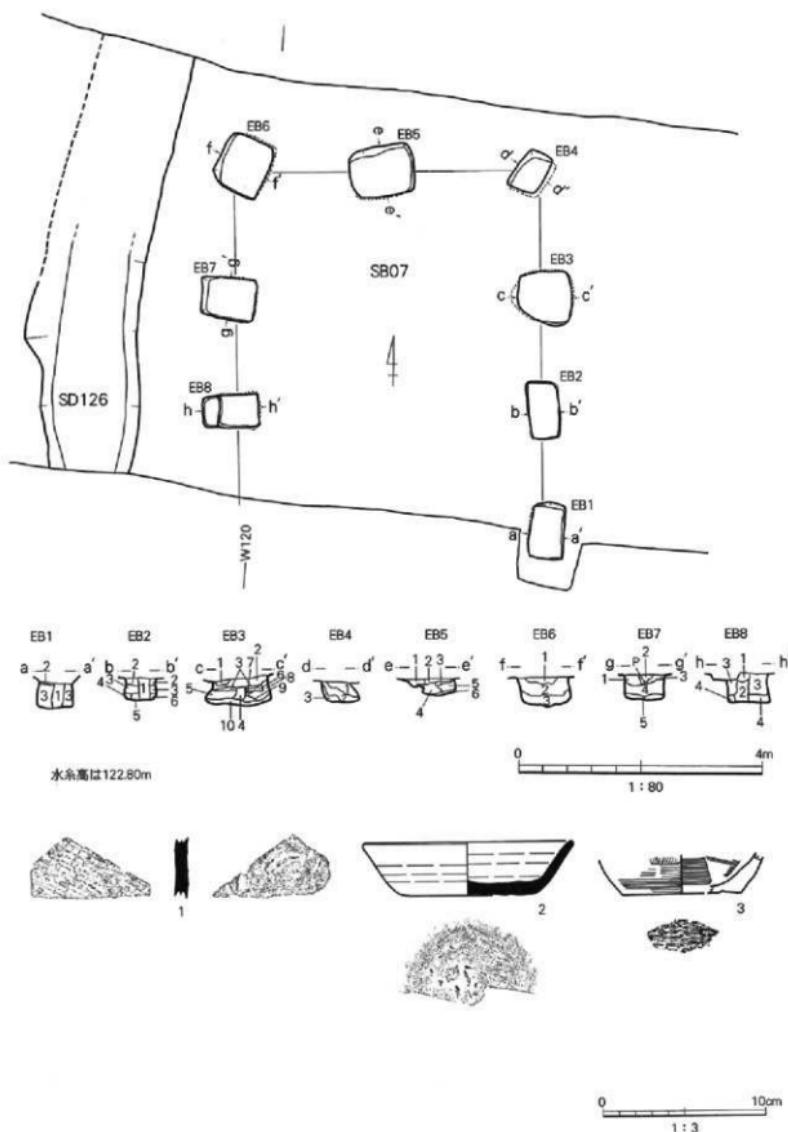
柱穴 堀り方は平面形が隅丸方形や長方形で、長軸66~106cm、短軸46~84cmを測る。確認面からの深さは28~46cmを測り、断面形は側壁が一部オーバーハングする。建物隅の堀り方が、建物の中心に向かって斜めに掘られている。

出土遺物 柱穴覆土から須恵器坏（90-2）、甕（90-1）、土師器甕底部（90-3）が出土した。須恵器坏は底部切離しが全てヘラ切のものである。

遺構番号	層 級	土 色	土 面	断 面
S B 06				
EB1	1	10Y25/6 黄褐色	土	塊山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	2	10Y22/2 黒褐色	シルト	
	3	10Y25/4 にぶい黄褐色	土	灰白色粘土ブロックを含む。
	4	10Y24/2 黄褐色	土	灰白色粘土ブロックを含む。
	5	10Y24/2 黄褐色	土	黒色粘土ブロックを含む。
	6	10Y24/6 黄褐色	シルト	塊山粘土ブロックを含む。
	7	10Y24/6 黄褐色	粘土	
	8	10Y25/6 黄褐色	粘土	
	9	10Y25/2 黑褐色	粘土	
EB2	1	10Y22/2 黑褐色	シルト	
	2	10Y22/2 黑褐色	シルト	
	3	10Y25/2 黄褐色	土	灰白色の粘土ブロックを含む。
	4	10Y25/3 にぶい黄褐色	シルト	粘土ブロックを含む。
	5	10Y26/4 にぶい黄褐色	シルト	塊山粘土ブロックを含む。
	6	10Y26/6 にぶい黄褐色	シルト	塊山粘土ブロックを含む。
	7	10Y22/2 黑褐色	粘土	
	8	10Y23/2 黑褐色	粘土	
	9	10Y23/3 黑褐色	粘土	
EB3	10	10Y24/6 黄褐色	粘土	
	11	10Y24/3 にぶい黄褐色	粘土	塊山粘土と黒色粘土の混合層
	12	10Y5/2 オリーブ灰褐色	粘土	
	13	10Y26/3 にぶい黄褐色	土	塊山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	1	10Y22/2 黑褐色	土	
	2	10Y24/2 黄褐色	土	塊山ブロックを含む。
	3	10Y24/2 にぶい黄褐色	土	
	4	10Y25/2 黄褐色	土	塊山ブロックを含む。
	5	10Y24/2 にぶい黄褐色	土	
EB4	6	10Y25/3 にぶい黄褐色	土	塊山ブロックを含む。
	7	10Y24/3 黄褐色	土	
	8	10Y24/4 黄褐色	土	砂利を含む。
	9	10Y24/5 にぶい黄褐色	土	砂利を含む。
	10	10Y26/6 明灰褐色	粘土	
	1	10Y24/4 黄褐色	土	
	2	10Y25/4 にぶい黄褐色	土	塊山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	3	10Y25/3 にぶい黄褐色	土	
	4	10Y23/3 黄褐色	土	
EB5	5	10Y24/2 黄褐色	土	
	6	10Y24/3 黄褐色	土	
	7	10Y24/2 黄褐色	土	
	8	10Y24/4 黄褐色	土	砂利を含む。
	9	10Y24/5 にぶい黄褐色	土	砂利を含む。
	10	10Y26/6 明灰褐色	粘土	
	1	10Y24/4 黄褐色	土	
	2	10Y25/4 にぶい黄褐色	土	塊山ブロックを含む。
	3	10Y25/3 にぶい黄褐色	土	
EB6	4	10Y24/2 黄褐色	土	
	5	10Y24/2 黄褐色	土	
	6	10Y25/4 にぶい黄褐色	土	塊山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	7	10Y24/2 黄褐色	土	
	8	10Y24/3 黄褐色	土	
	9	10Y25/2 黑褐色	土	
	10	10Y26/6 黄褐色	粘土	
	11	10Y25/3 黑褐色	土	
	12	10Y24/2 黄褐色	土	
EB7	13	10Y25/3 黑褐色	土	
	1	10Y24/2 黑褐色	土	
	2	10Y25/4 にぶい黄褐色	土	塊山ブロックを含む。粘土ブロックを含む。
	3	10Y25/3 黄褐色	土	
	4	10Y25/2 黑褐色	土	
	5	10Y24/3 黄褐色	土	
	6	10Y25/4 にぶい黄褐色	土	
	7	10Y24/2 黄褐色	土	
	8	10Y24/3 黄褐色	土	
EB8	9	10Y25/2 黑褐色	土	
	10	10Y25/2 黄褐色	土	
	11	10Y24/3 黄褐色	土	
	12	10Y24/3 黄褐色	土	
	13	10Y24/2 黄褐色	土	
	14	10Y24/4 黄褐色	土	
	15	10Y24/5 黄褐色	土	
	16	10Y25/6 黄褐色	土	
	17	10Y26/6 黄褐色	土	



第89図 吉原 II 遺跡SB06櫛立柱建物跡



第90図 吉原Ⅱ遺跡SB07掘立柱建物跡・出土土器

(3) 土坑

本遺跡で、土坑として登録した遺構は10基を超える。全て奈良～平安時代に帰属する。以下に主な土坑について個別に概述する。

SK 59 (第91図)

規模 A区、S I 01とSD 130の間に位置する。東側が調査区外となるため、全体の規模は不明であるが、平面形が橢円形を呈すると考えられる。南北2.2m、東西2m以上を測り、確認面からの深さは約50cmである。覆土は黒褐色土を基調とし、3層に大別される。

出土遺物 比較的多くの遺物が出土している。須恵器蓋(91-1)、壺(91-2)、壺(91-3)、土師器壺(91-4、5)、壺(91-6、7)が出土した。土師器壺は底部が平底の、体部から口縁部にかけて内湾する器形で、体部外面がケズリ、内面がミガキ、黒色処理される。底部には木葉痕が認められる。

SK 131 (第92図)

規模 A区南部に位置する。平面形が橢円形を呈し、長径1.4m、短径0.8mを測る。確認面からの深さは38cmを測る。

出土遺物 底部切離しがヘラ切の須恵器壺(92-2、3)、土師器壺(92-1)、内面が黒色処理される土師器壺片が出土した。

SK 132 (第92図)

規模 A区、SK 131の北西に位置し、北側は調査区外となる。平面形は円形を呈すると考えられる。径は東西0.9mを測り、確認面からの深さは56cmである。

出土遺物 遺物は出土していない。

SK 02 (第92図)

規模 A区、SB 01EB 7の北東に位置する。平面形は橢円形を呈し、長径1.0m、短径0.9mを測り、確認面からの深さは約20cmである。

出土遺物 砥石(92-4)が出土した。全面が砥面として利用されている。その他に、内面が黒色処理される土師器壺、赤焼土器壺片が出土している。

SK 06 (第93図)

規模 SB 01の南に位置する。平面形は円形を呈し、長径1.0m、短径0.9mを測り、確認面からの深さは約40cmである。

出土遺物 遺物は出土していない。

SK 07 (第93図)

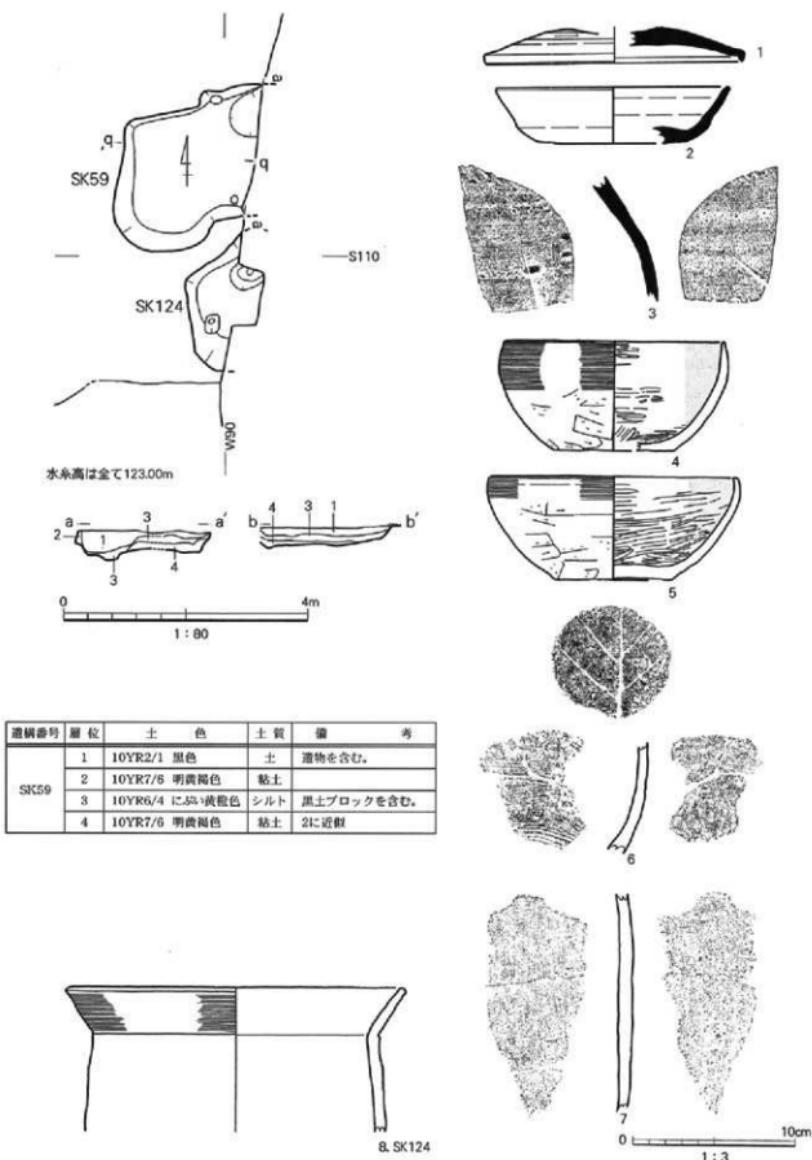
規模 SK 06の南に位置する。平面形は円形を呈し、長径1.7m、短径1.5mを測り、確認面からの深さは約12cmである。

出土遺物 遺物は出土していない。

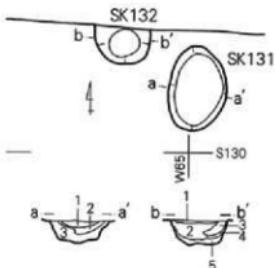
SK 01 (第93図)

規模 A区、SB 01の北に位置する。平面形は橢円形を呈し、長径1.7m、短径1.0mを測り、確認面からの深さは約25cmである。

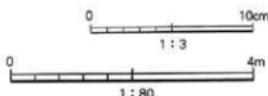
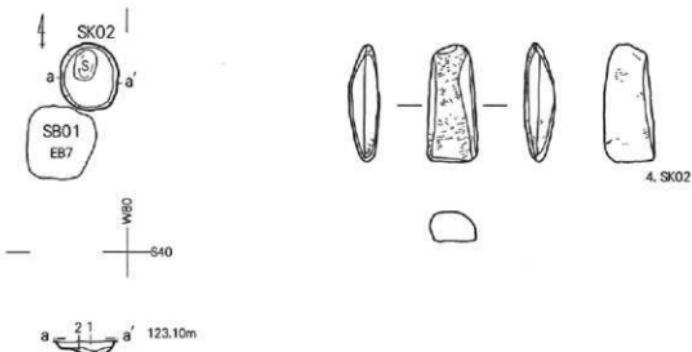
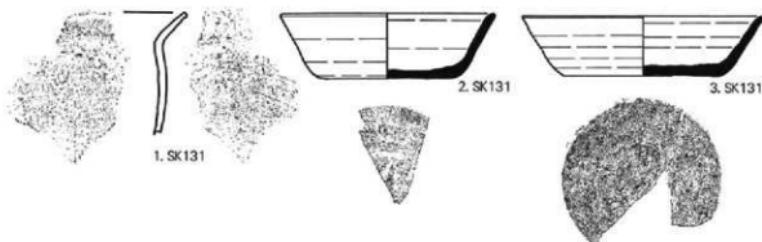
出土遺物 遺物は出土していない。



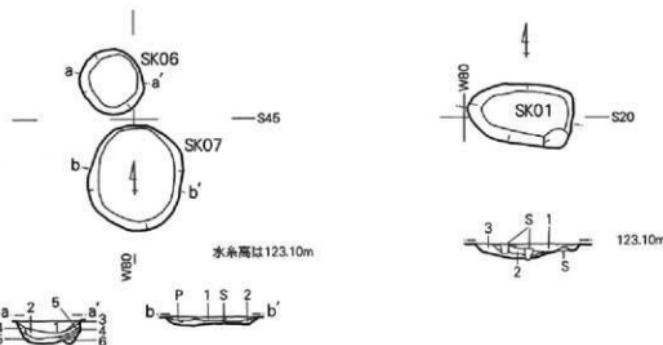
第91図 吉原Ⅱ遺跡SK59・124土坑・出土土器



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK131	1	10YR3/2 黒褐色	土	遺物を含む。
	2	10YR7/6 明黄褐色	粘土	黒土のブロックを含む。
	3	10YR2/1 黒色	シルト	炭化物を含む。
SK132	1	10YR3/2 黒褐色	土	
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	遺物を含む。
	3	10YR3/3 喜褐色	シルト	褐色粘土ブロックを含む。
SK02	4	10YR6/6	粘土	
	5	10YR5/4	粘土	
	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	φ1~20mmの砂を含む。
	2	10YR4/6 薄色	シルト	砂っぽい。



第92図 吉原II遺跡SK131・132・02土坑・出土遺物



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SK06	1	10YR3/3 暗褐色	土	地山ブロックを含む。 φ5~20mmの砂を含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	土	
	3	10YR4/1 褐灰色	シルト	
	4	10YR2/1 黒色	砂質土	
	5	10YR3/1 黒褐色	粘土	
	6	10YR4/1 純灰褐色	土	地山ブロックを含む。
SK07	1	10YR4/1 褐灰色	土	炭化物土器を含む。
	2	10YR4/2 灰黃褐色	シルト	
SK01	1	10YR3/1 黑褐色	シルト	φ1~10mmの砂を含む。
	2	10YR4/6 褐色	シルト	地山ブロックを含む。
	3	10YR2/2 黑褐色	粘質土	



第93図 吉原II遺跡SK01・06・07土坑

(4) 溝跡・河川跡

調査で溝跡は大小含めて、8条検出されている。そのほとんどが区画などを目的としたものと考えられる。以下に主なものについて個別に概述する。

S D 123 (第81図)

規模 S B01と重複関係にあり、同遺構を切る、東西に伸びる溝跡である。幅1.1~1.4m、確認面からの深さは50cm前後を測る。検出長は約5.8mである。底面は平坦で、断面形は逆台形状を呈している。

出土遺物 底部切離しが糸切の須恵器壺、甕(98-6)、赤焼土器壺(98-4、5)、が出土している。

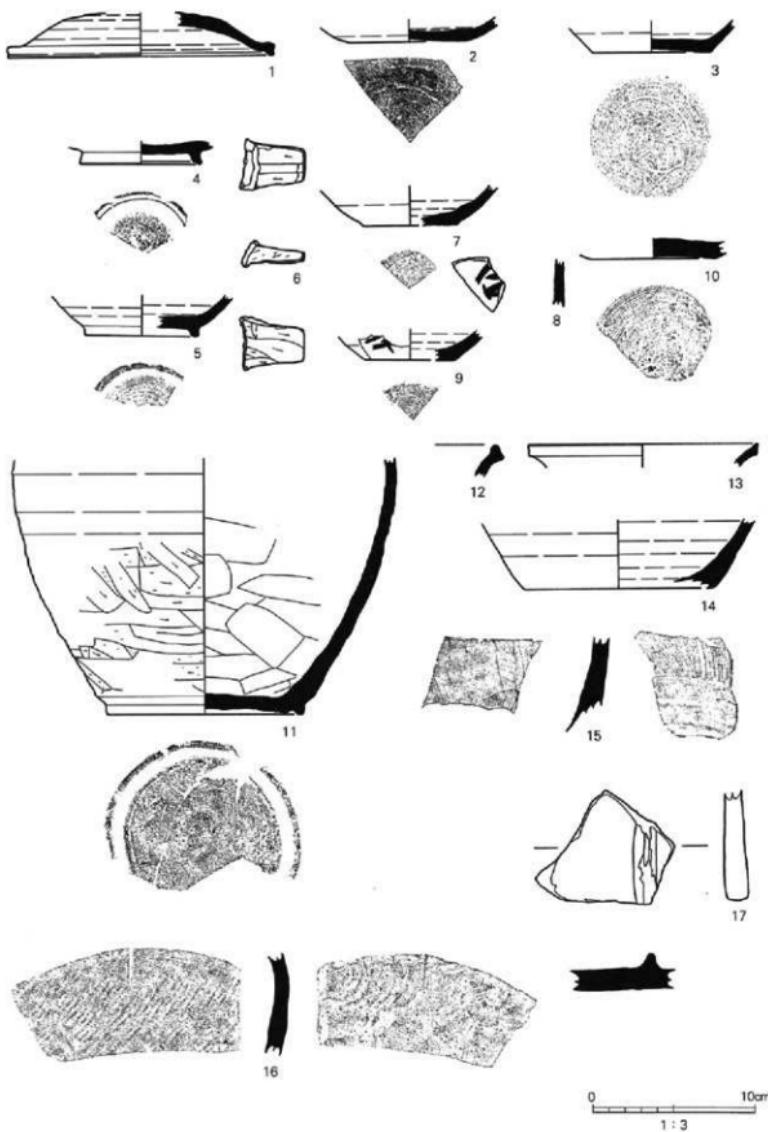
S D 126 (第90図)

規模 S B07の西に位置し、南北に伸びる溝跡である。幅1.3~1.8m、確認面からの深さは30cm前後を測る。検出長は約7.0mである。北半にいくにつれ、確認面からの深さが徐々に浅くなる。底面は平坦で、断面形は逆台形状を呈する。

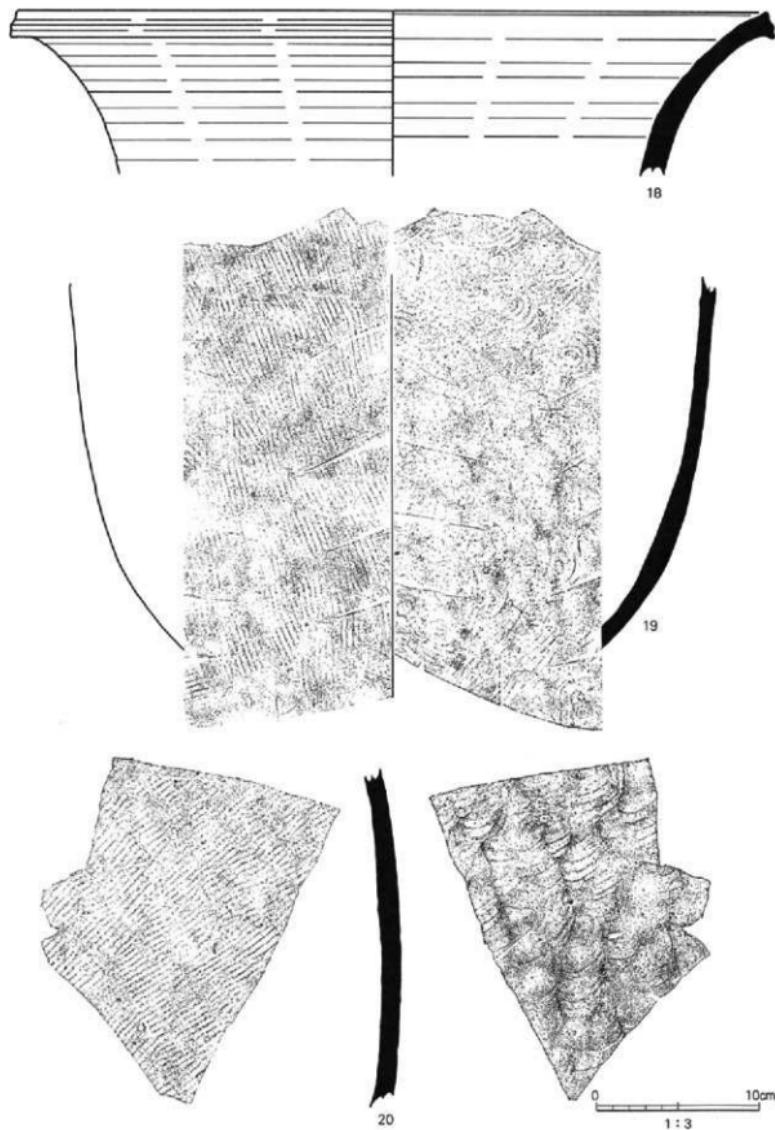
出土遺物 遺物は出土していない。

SD 130 (第94~97図)

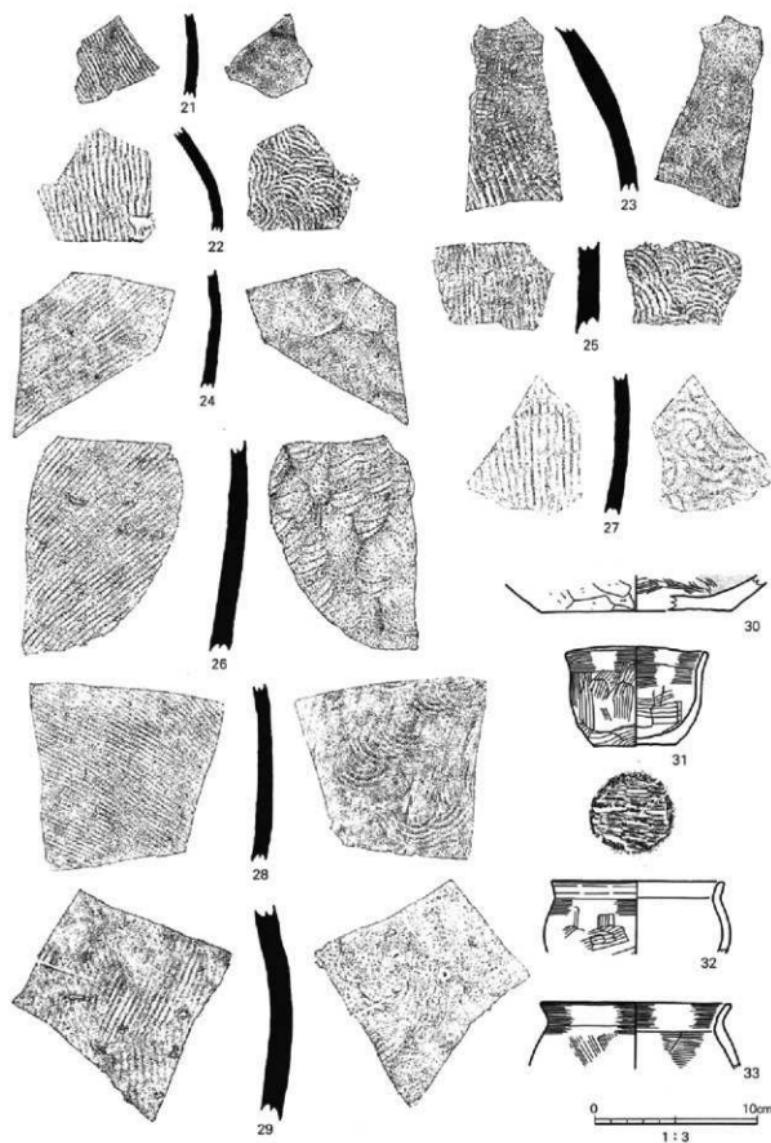
- 規模** A区、S I 01の南に位置する。東西が調査区外となり全体の規模は不明であるが、幅9.1mの東西に伸びる河川跡である。2次調査(B区)ではSD131として遺構登録した。
- 最上層からは近・現代の遺物が出土するため、当初、近・現代の溝跡と捉えていたが、精査を進めると、下層から奈良～平安時代の遺物と共に自然木などが多く出土した。
- 覆土下層は、小礫が混じる砂で構成されており、ある程度の水流をもった河川跡と考えられる。遺物の出土状況から、最終的な埋没年代が近・現代と考えられる。
- 出土遺物** 覆土から奈良～平安時代及び近・現代の多くの遺物が出土した。そのうち、主に奈良～平安時代の遺物について図化し、以下に概述する。
- 須恵器では蓋・坏・高台坏・双耳坏・壺・甕・風字硯が出土している。蓋は天井部が丸みを持つもの(94-1)、坏は底部切離しがヘラ切と糸切が混在する。坏の中には、体部外面に「合」(94-7)などの墨書がなされるものや、内面に墨痕があり、墨溜めに使用したと考えられるもの(94-3)も出土した。高台坏の底部切離しも坏同様、糸切とヘラ切が混在する。94-6は双耳坏の耳部分である。94-11は底部が砂底の壺で、当地域にはあまり確認されず、北東北に類例が多い。甕は外面が平行タタキ、内面が同心円状のアテが施されるものが大半である。94-17は風字硯である。
- 土師器では、坏・鉢・甕が出土している。96-30は鉢で、体部外面がケズリ、内面がミガキ、黒色処理される。31~37は甕で、非ロクロ成形でハケメ調整がなされている。底部は編物痕と木葉痕の2種類が確認される。
- 赤焼土器では、坏・甕・耳皿が出土している。坏は底部切離しが糸切の、底径が小さいもので、ロクロ痕も明瞭に残る。耳皿(97-40)は底部切離しが糸切で、耳の部分が欠損する。その他、近世以降の遺物として、釘(97-41)、黒瓦(97-42)などが出土した。



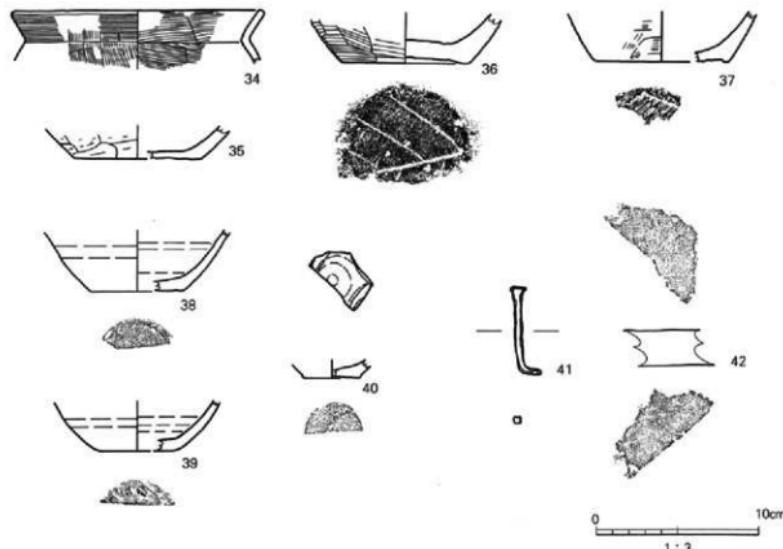
第94図 吉原Ⅱ遺跡SD130出土遺物（1）



第95図 吉原 II 遺跡SD130出土遺物（2）



第96図 吉原II遺跡SD130出土遺物（3）

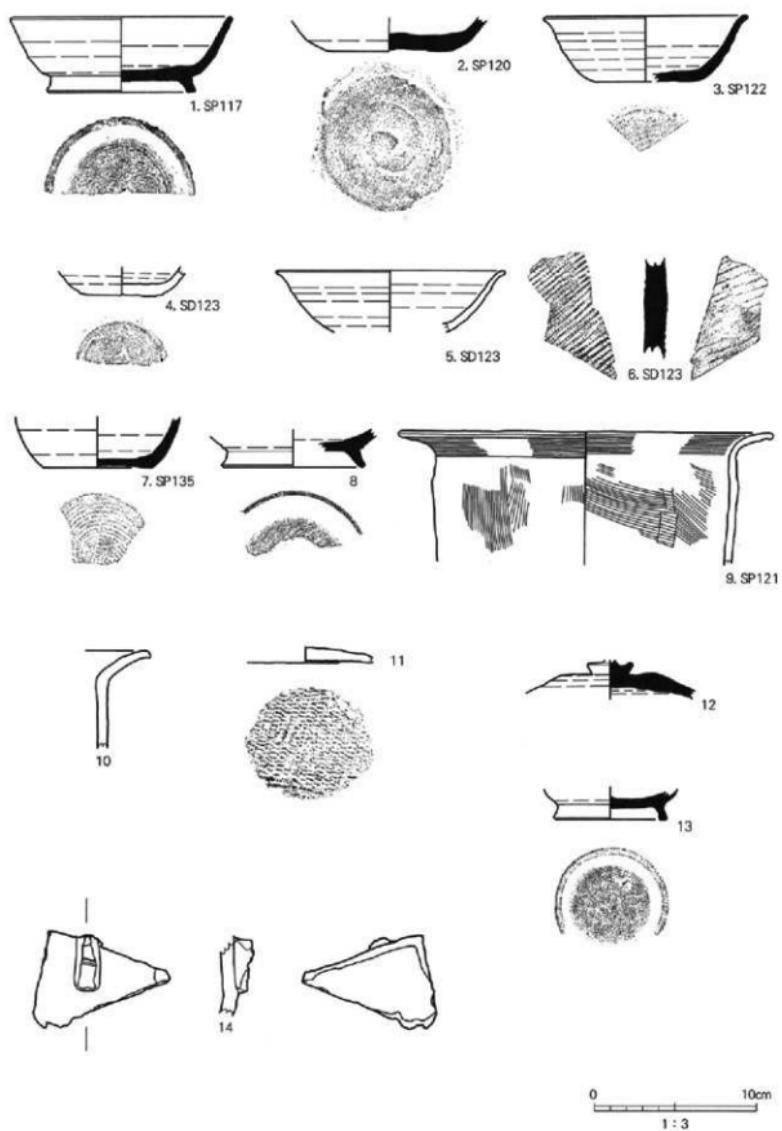


第97図 吉原 II 遺跡SD130出土遺物（4）

(5) その他出土遺物（第98図）

1次調査で出土した遺物のうち、平面図の掲載していない遺構、またはグリッド、表土から出土し、図化した遺物について以下に概述する。

98-1は底部切離しがヘラ切の須恵器高台壺、98-2はヘラ切の須恵器壺である。98-3は底部切離しが糸切の須恵器壺、98-4、5は赤焼土器壺である。98-6は須恵器壺で外面に平行タタキ、内面に平行アテが施される。98-7は須恵器壺の底部片で、底部切離しが糸切、ヘラ記号「×」がなされる。98-8は底部切離しが糸切の須恵器高台壺である。98-9は体部が長胴形になる土師器壺で、口縁部はナデ、体部外面は縦方向、内面は横方向のハケメ調整が施される。90-10、11は非ロクロ成形の土師器壺である。11は底部で織物痕が確認される。98-12は須恵器蓋で、天井部が平坦になるものである。98-13は須恵器高台壺、98-14は須恵器壺で、双耳瓶の耳部分と考えられる。



第98図 吉原Ⅱ遺跡その他出土遺物

第2次調査は、吉原Ⅱ遺跡の街区道路部分にかかる、調査面積約315m²について、平成12年8月21日～9月8日まで実施した。

検出された奈良～平安時代の遺構は溝跡5条、ピット1基である。掘立柱建物跡や竪穴住居跡は検出されず、本調査区が遺跡の西側の縁辺にあたると判断される。以下、第2次調査（B区）において検出された遺構と遺物について概述する。

(6) S P 132土器埋設遺構（第99・100図）

規模 B区南端、S D 131の南に位置する。平面形が不整円形で、径44cm、確認面からの深さが約10cmを測る。覆土は3層からなり、黒褐色土を基調に、炭化物が多く含まれる。

出土遺物 覆土から、土師器甕が横位に倒れた状態で出土した。土師器甕はピット内の東寄りに位置し、その直下から一部木質の残る炭化物が出土しているため、樹皮状のものに土器が乗せられていた可能性が考えられる。

甕は、底部が欠損しているが、非口クロ成形の、口縁部が短く「く」の字に外反する器形で、体部下半がヘラケズリ調整される。

(7) 溝跡・河川跡

S D 116溝跡（第101図）

規模 B区北半で検出された、南北に伸びる溝跡で、南北部は調査区外となる。幅0.5～1.4m、確認面からの深さは15～60cmを測る。検出長は9.2mである。底面は凹凸があり、壁の立ち上がりは緩やかで、断面形はU字型を基本とする。

出土遺物 覆土から、須恵器甕（101-1）が出土している。

S D 129（第102図）

規模 B区南半で検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。幅65cm、確認面からの深さは30cm前後を測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形はU字型を呈する。

出土遺物 遺物は出土していない。

S D 130（第102図）

規模 B区南半、S D 129の南に検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。幅60～85cm、確認面からの深さは10cm前後を測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形はU字型を呈する。

出土遺物 遺物は出土していない。

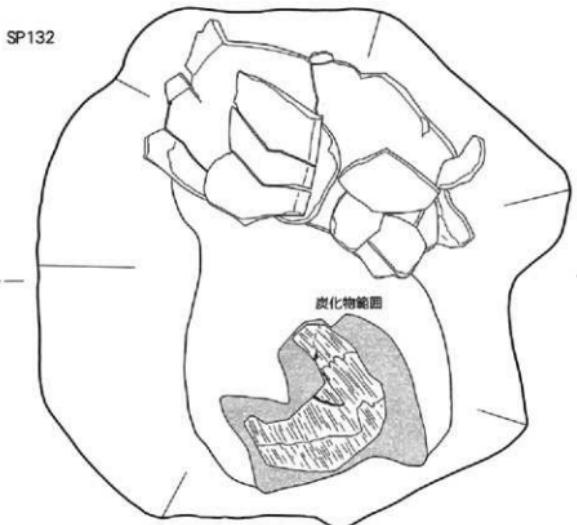
S D 135（第102図）

規模 B区南半、S D 130の南に検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。幅110～150cm、確認面からの深さは30cm以上を測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形はU字型を呈する。覆土下層に砂礫が多く含まれているため、ある程度の水流をもつ溝跡と考えられる。

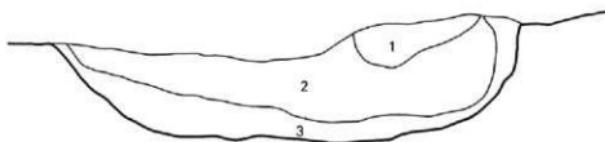
出土遺物 遺物は出土していない。

S D 131（第102～105図）

規模 B区南半、S D 135の南に検出された、東西に伸びる溝跡で、東西は調査区外となる。規模・形状および覆土から1次調査のS D 130と同一遺構と判断される。



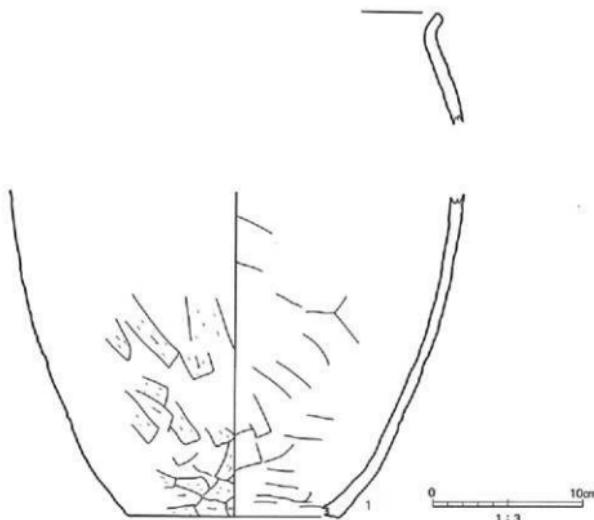
122.30m



遺構番号	層位	土色	土質	備考
SP132	1	10YR2/1 黒色	シルト	
	2	10YR5/2 灰黃褐色	粗砂	10YR2/2黒褐色シルト ブロックを20%含む。
	3	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物を多く含む。



第99図 吉原Ⅱ遺跡 2次SP132土器埋設遺構



第100図 吉原Ⅱ遺跡 2次SP132出土土器

幅4.0~4.5m、確認面からの深さは1.3mを測る。検出長は2.7mである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは緩やかである。断面形は逆台形状を呈する。

出土遺物 覆土下層から土器などの多くの遺物が出土した。木製遺物の遺存状況も良好で、図化した木器の他、加工痕のある木片や自然木も出土している。以下、種別ごとに概述する。

須恵器では、壺・高台壺・双耳壺・壺・甕・鉢などが出土している。壺(103-1~4、6)は底部切離しがヘラ切と糸切が混在し、ヘラ切が多い。高台壺(103-7、8)も壺同様、底部切離しが糸切とヘラ切が混在する。

土師器では、壺・甕が出土している。壺は底部が平底の、体部外面がケズリ、内面がミガキ、黒色処理されるもの(104-17、18、20)で、底部には木葉痕が認められる。また黒色処理されない壺(104-19)も少量ながら出土する。甕は非口クロ成形で、ハケメ調整の施されるもの(104-21、24)である。

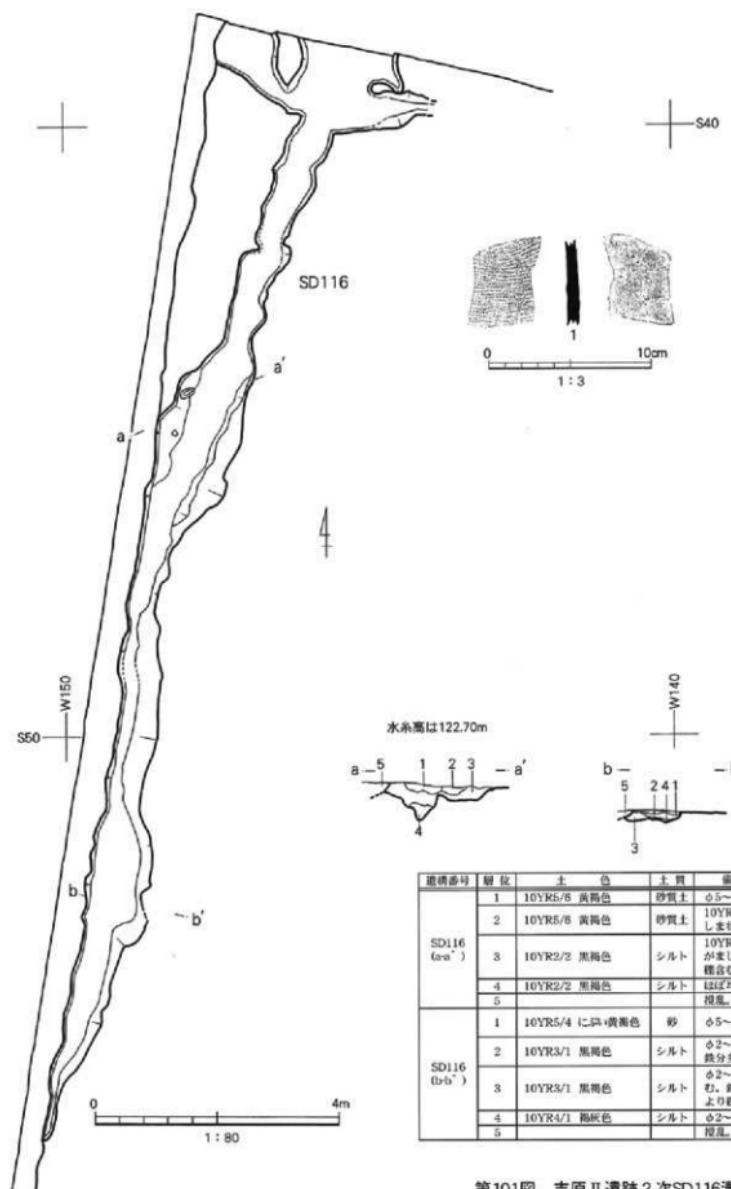
赤焼土器では壺・高台壺・甕などが出土している。高台壺(104-22)は高台が「ハ」の字に開くものである。104-23は小型の甕で、口縁部付近にスヌが付着している。

木製遺物では、皿(105-1、2)、椀(105-3)、曲物の底板(105-4、5)などが出土した。

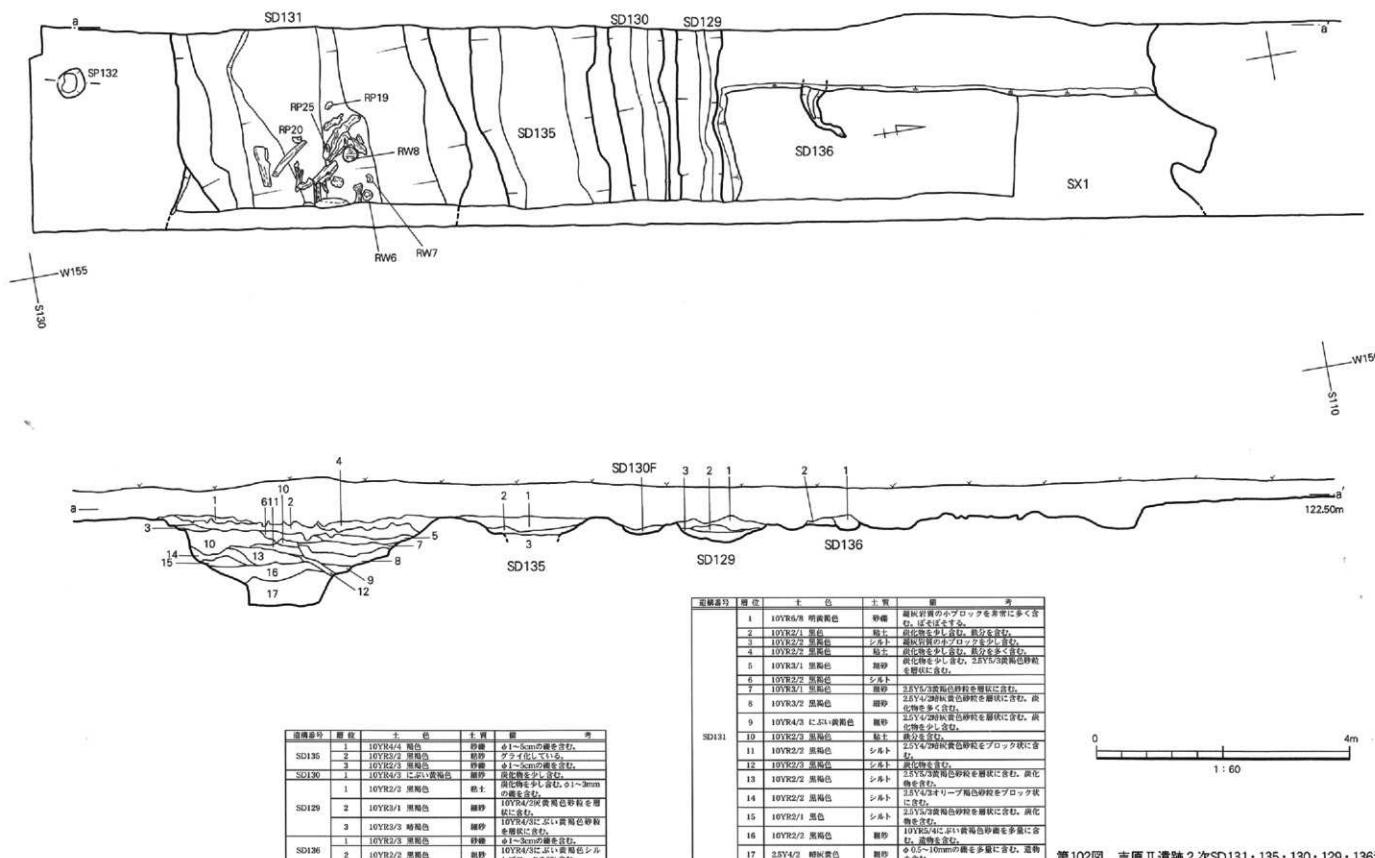
(8) その他出土遺物(第106図)

2次調査において出土した遺物のうち、平面図の掲載していない遺構、グリッド、表土から出土し、図化した遺物について以下に述べる。

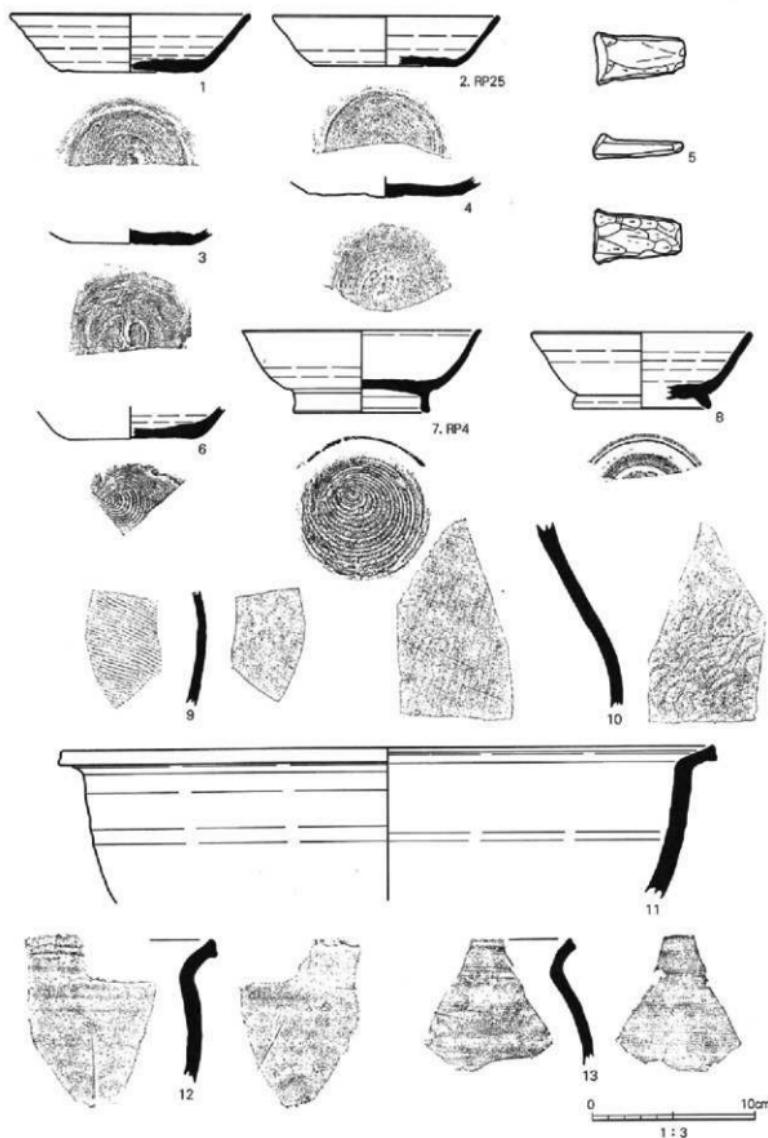
106-1、2は須恵器壺で、1は底部切離しがヘラ切、2は糸切である。2の底部には墨書が確認される。106-3は須恵器の稜塊と考えられる。106-4は須恵器甕、106-5は須恵器甕の底部で、外側及び底部にハケメのような調整が施されている。



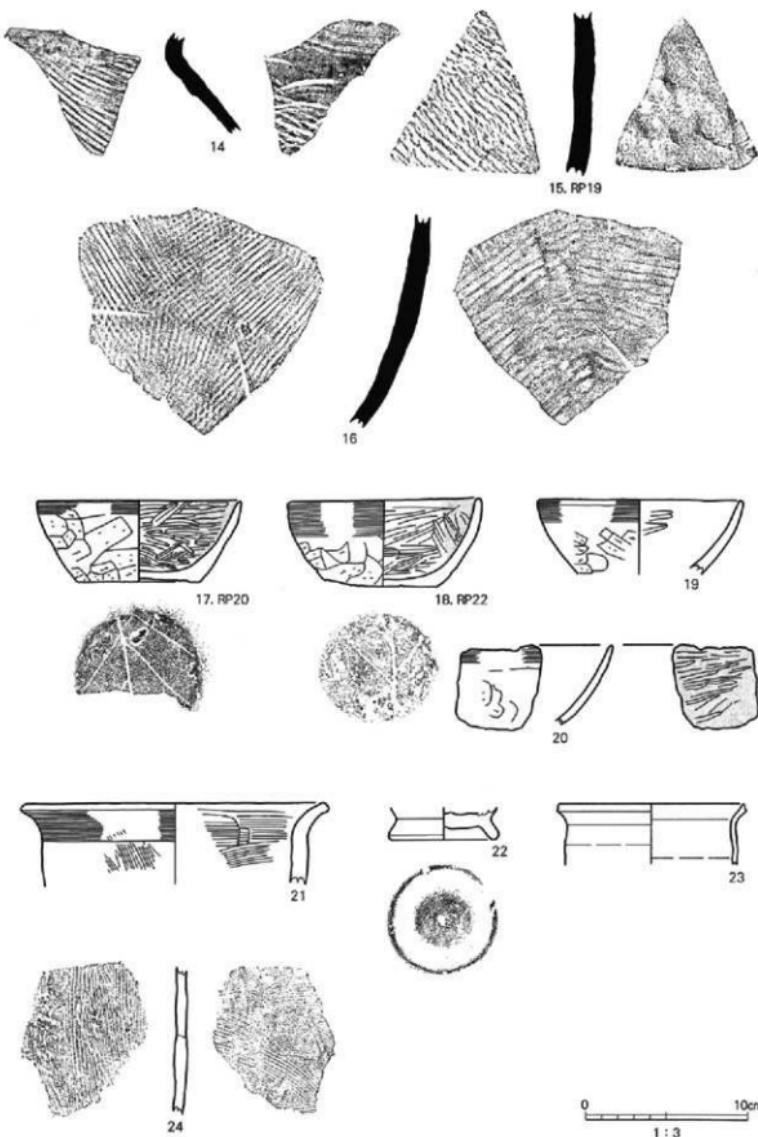
第101図 吉原 II 遺跡 2次SD116溝跡・出土土器



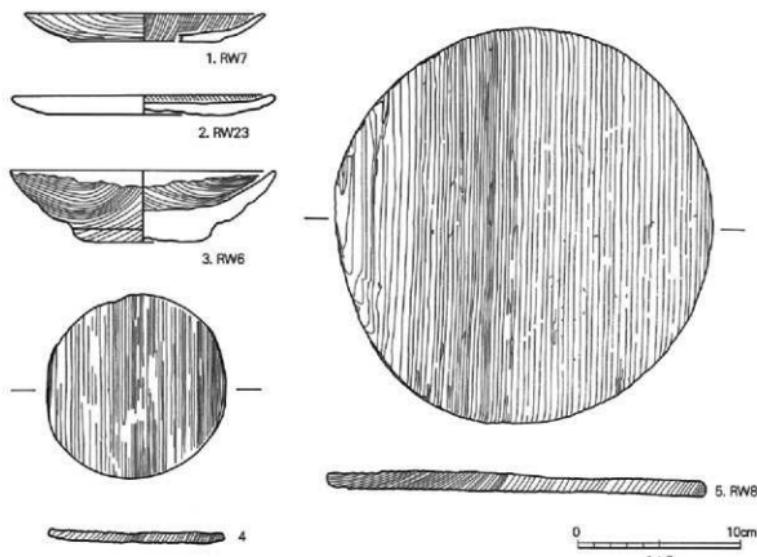
第102図 吉原 II 遺跡 2 次 SD131・135・130・129・136溝跡



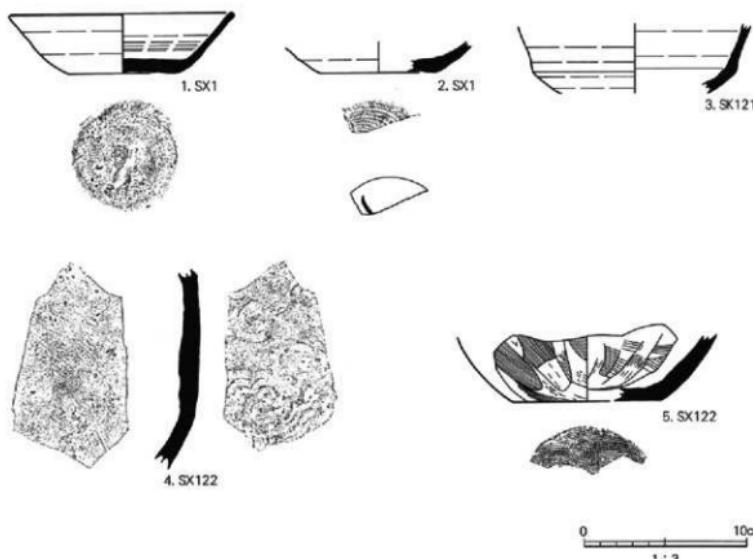
第103図 吉原II遺跡2次SD131出土土器(1)



第104図 吉原II遺跡2次SD131出土土器(2)



第105図 吉原II遺跡2次SD131出土木製品



第106図 吉原II遺跡2次その他出土遺物

表9 吉原II遺跡出土遺物観察表(2)

探査番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	外観特徴	内面特徴	底部特徴	備考
96	21	SD130	甕	直筒型				平行			
	22	SD130	甕	直筒型				平行			
	23	SD130	甕	直筒型				平行	同心円		
	24	SD130	甕	直筒型				平行	平行	斜45°	
	25	SD130	甕	直筒型				平行	平行	斜45°	
	26	SD130	甕	直筒型				平行	平行	斜45°	
	27	SD130	甕	直筒型				平行	平行	斜45°	
	28	SD130	甕	直筒型				平行	平行	斜45°	
	29	SD130	甕	直筒型				平行	平行	斜45°	
	30	SD130	甕	直筒型	(11.6)			ヘラケズリ	ミガキ→黒色	木製板	
97	31	SD130	甕	土師器	12.4	5.2	6.1	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	織物痕	
	32	SD130	甕	土師器	(10.5)			ハケメ			
	33	SD130	甕	土師器	(11.6)			ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ		
	34	SD130	甕	土師器	(15.2)			口:ナデ 体:ハケメ	ハケメ		
	35	SD130	甕	土師器	(7.9)			ヘラケズリ			
	36	SD130	甕	土師器	7.9						
	37	SD130	甕	土師器	(8.4)			ハケメ	マツツ	木製板	
	38	SD130	甕	土師器	(5.6)			ロクロ	ロクロ	織物痕	
	39	SD130	甕	土師器	(5.2)			ロクロ	ロクロ	糸切	
	40	SD130	甕	土師器	3.5			ロクロ	ロクロ	糸切	
98	41	SD130	甕	土師器	5.35	0.95	0.45				
	42	SD130	甕	土師器							
	1	SP117	高台付环	乳頭型	(13.4)	9.0	4.65	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SP120	环	直筒型		8.0		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	墨書きあり?
	3	SP122	环	直筒型	(12.8)	(6.0)	4.05	ロクロ	ロクロ	糸切	
	4	SD123	环	直筒型		5.2		ロクロ	ロクロ	糸切	
	5	SD123	环	直筒型	(13.8)			ロクロ	ロクロ	糸切	
	6	SD123	环	直筒型				ロクロ	ロクロ	糸切	
	7	SP123	环	直筒型	(6.6)			ロクロ	ロクロ	糸切	
	8	SD123	环	直筒型	(8.6)			ロクロ	ロクロ	ヘラ切	ヘラ記印X
	9	SP121	环	直筒型	(22.8)			ハケメ			
	10	SD121	环	直筒型				ロクロ使用?	ロクロ使用?		
99	11	SD120	环	直筒型						織物痕	
	12	T-T25	高台付环	直筒型				ロクロ	ロクロ	打ち欠けている	
	13	T-T25	高台付环	直筒型		6.9		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	14	T-T25	高台付环	直筒型							

表10 吉原II遺跡2次出土遺物観察表

探査番号	遺物番号	出土地点・層位	器種	種別	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	外観特徴	内面特徴	底部特徴	備考
100	1	SP132	甕	土師器				平行			
101	1	SD116	F1	甕							
	1	SD131	环	直筒型	(14.9)	7.2	3.55	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	2	SD131	环	直筒型	(13.9)	8.6	3.05	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	RP25
	3	SD131	环	直筒型				ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	4	SD131	环	直筒型		7.8		ロクロ	ロクロ	ヘラ切	
	5	SD131	双耳环	直筒型				ヘラケズリ、ナデ			
	6	SD131	环	直筒型				ロクロ	ロクロ	糸切	
	7	SD131	高台付环	直筒型	(14.6)	(8.4)	5.1	ロクロ	ロクロ	糸切	RP4
	8	SD131	高台付环	直筒型	(13.9)	(8.3)	4.75	ロクロ	ロクロ	ヘラ切	RP19
	9	SD131	甕	直筒型				平行			RP22
	10	SD131	甕	直筒型				平行	同心円		
	11	SD131	甕	直筒型	(40.0)			ロクロ	ロクロ		
	12	SD131	甕	直筒型				ロクロ	ロクロ		
	13	SD131	甕	直筒型				ロクロ	ロクロ		
	14	SD131	甕	直筒型				平行	平行		
	15	SD131	甕	直筒型							
	16	SD131	甕	直筒型							
	17	SD131	环	直筒型	(12.4)	7.5	5.0	ナデ、ヘラケズリ	ミガキ→黒色	木製板	RP20
	18	SD131	环	直筒型	11.6	7.1	5.3	ロクロ	ロクロ	木製板	RP22
	19	SD131	环	直筒型	(12.4)			ナデ、ヘラケズリ	ミガキ		
	20	SD131	环	土師器				口:ナデ 体:ケズリ	ミガキ→黒色		
	21	SD131	甕	土師器	(19.0)			口:ナデ 体:ハケメ	ハケメ		
	22	SD131	高台付环	直筒型		6.4					糸切→ナデ
	23	SD131	甕	直筒型	(11.5)			ロクロ	ロクロ		RP25
	24	SD131	甕	土師器				ハケメ	ハケメ		
	1	SD131	甕	木製品	14.8	9.2	16.5				RW7
	2	SD131	甕	木製品	16.2	11.1	1.2				RW23
	3	SD131	甕	木製品	16.2	8.0	4.4				RW6
	4	SD131	曲物底板	木製品	11.3	11.0	0.6				RW8
	5	SD131	曲物底板	木製品	24.1	23.1	1.1				RP3
	1	SX1	环	直筒型	14.0	6.6	3.7				
	2	SX1	环	直筒型				ロクロ	ロクロ	糸切	
	3	SX121	縹	直筒型				ロクロ	ロクロ		
	4	SX122	甕	直筒型				平行?	同心円		
	5	SX122	甕	直筒型	(9.0)			ハケメ	ハケメ	ハケメ削籠	

3 まとめ

調査では奈良～平安時代の掘立柱建物跡、竪穴住居跡、土坑、溝跡、河川跡などを検出した。遺構分布からは遺跡の主体がA・C区及びその東側に広がり、B区は遺跡の西縁辺であることを示している。遺物は竪穴住居跡や土坑、河川跡などでまとまつた土器類が出土した。以下に遺構と遺物について整理してまとめる。

本遺跡では、掘立柱建物跡を中心とした集落構成がなされ、竪穴住居跡は1棟が検出されているのみである。

掘立柱建物跡の規模は、 2×2 間（廂付）や 2×3 間の建物が主体的で、柱穴の掘り方は径0.8～1m、柱根は直径約35cmを測るなど、当該期の一般的な掘立柱建物跡と比較しても大型である。

主軸方向では、座標北から西に振れるもの（SB02～04・06・07）と、座標北から東に振れるもの（SB01・05）の大きく二つに分けられる。また、建物どうしの切り合いは、SI01→SB05で認められる。SI01の主軸方向は座標北からやや西に振れているため、主軸方向が西に振れる一群から東に振れる一群への変遷が想定される。

以上のことから、建物群は少なくとも2時期以上の変遷が考えられ、年代は出土遺物から、8世紀末～9世紀後半に比定される。

SD130・131河川跡はA・B区の南方に検出され、覆土から奈良～平安時代の遺物が多く出土した。また木製造物も保存状態が良好で、多く出土している。最上層から近～現代の遺物が出土することから、最終的な埋没年代は近～現代であるが、河川として機能していたのは奈良～平安時代と考えられる。なお、本遺構は1973年頃の空撮写真では、東西に走る黒い筋として、本遺跡の範囲を超えて、西に続いていることが確認できる。

遺物では、須恵器・土師器・赤焼土器などが出土している。須恵器では、壺類の底部切離しがヘラ切と糸切が混在し、ヘラ切がやや多い傾向を示す。また土師器では、平底で身が深く、体部外面にケズリ、内面にミガキ、黒色処理される壺が出土しており、いわゆる有段丸底の壺や、丸底平底で身の浅い壺は見受けられない。また赤焼土器は、底径が小さい糸切の壺や甕などが出土した。その他、特徴的な遺物として、耳皿や風字硯、施釉陶器（3次調査）などの遺物が出土している。

これらを基として以下に奈良～平安時代の主な遺構の変遷と年代観はI期：SB02～04・06・07・SI01（8世紀末～9世紀前半）、II期：SB01・05（9世紀後半）に比定される。しかし、I期では建物の位置的関係などから、さらに細分されることも考えられる。遺跡の性格としては、掘立柱建物跡の規模が大型であること、施釉陶器や硯、耳皿などの遺物が出土していることから、一般集落というよりは官衙に関連した集落と考えられる。

V 吉原Ⅲ遺跡

1 遺跡の概観

(1) 調査区と層序

吉原Ⅲ遺跡の範囲は南北110m、東西140mの範囲に広がる。地目は水田、宅地で、付近の標高は121～122mを測る。平成11・12・13年度の3次にわたり発掘調査が行われ、1次調査は都市計画道路工事、2・3次調査は民間の店舗建設に伴うものである。第1次調査区をA区、2次調査区をB区、3次調査をC区と呼称する。

調査区のグリッドは現場調査段階でその都度、各調査区にあわせた任意のグリッドを設定したが、報告書作成にあたり公共座標をもとにグリッドを改めて設定しなおした。国土座標平面直角座標系第X系： $X = -197,060.00$ 、 $Y = -45,260.00$ を原点とし、南をS、西をWと表記し、そこから1mを最小単位とするグリッドの設定を行った。

基本層序は概ね4層に分けられた。具体的には、I層が暗褐色土（表土、耕作土）、II層が暗褐色粘質土（旧耕作土）、III層が黒褐色粘質土（遺物包含層）、IV層が褐色粘質土（地山）である。I層は現況の水田耕作土である。II層は旧耕作土、III層は部分的にみられる層で、耕地整理などの際に既に削平されていた。IV層が地山である。III層下部から遺物の包蔵が認められ、遺構の検出面はIV層直上面であった。

(2) 遺構と遺物の分布

第2・3次調査の成果については、既に報告済み（山形市埋蔵文化財調査報告書第11集・山形市埋蔵文化財調査年報－平成13年度－）のため、本書においては、第1次調査の成果について報告する。

調査で検出された主な遺構は、奈良～平安時代の掘立柱建物跡11棟、土坑、杭列跡、溝跡、柱穴などで、登録した数は70を超える。

掘立柱建物跡11棟はいずれも南北方向で、主軸方向から少なくとも2時期以上の変遷が認められる。

杭列跡はA区西半・B区で検出された。南北に伸びる杭列跡で、北側はSD37に切られ、全体の規模は不明であるが、少なくとも南北25m以上を測る。B区で、西に向かって屈曲することが確認された。掘立柱建物跡と主軸方向を同じくすることから、建物跡を区画する施設と考えられる。

土坑は掘立柱建物跡の周辺に検出され、土器などの遺物が多く出土している。

SD24溝跡はA、B区で検出された。北東から南西に伸びる溝跡で、覆土の状況などから自然の小河川と考えられる。確認面からの深さは浅いものの、遺物が多く出土した。

遺物はおもに土坑や溝跡から出土した。土器が大半で、須恵器蓋や壺、土師器壺・鉢などが出土し、墨書き土器なども出土している。時期的には、奈良時代後葉～平安時代前半の8世紀後葉～9世紀前半があてられる。

その他、近世以降の遺構として、SD37が検出され、近世の陶磁器などが出土している。

以上のことから、本遺跡の主体である奈良～平安時代の集落は、A区を中心に広がっており、南側にいくにつれ、遺構と遺物の分布は希薄となる様相が窺える。

2 検出された遺構と遺物

(1) 堀立柱建物跡

第1次調査で、堀立柱建物跡として確認できたものは11棟である。この他にも多くの小ピットを検出したが、積極的に建物跡とするまでに至らなかった。

内訳は 2×4 間（廂付）が1棟、 2×3 間が2棟（内廂付1棟）、 2×2 間が2棟（内総柱1棟）、 2×1 間が2棟、調査区外に伸びるなどの理由から規模不明なものが4棟である。

建物の主軸方向は南北方向を基調とし、その大半が長軸を南北にもつ。主軸方位は座標北に向くもの（SB 8・9・10・11）、座標北に対し西に振れるもの（SB 1・2・4・5・6・7）と、座標北に対し東に振れるもの（SB 3）と大きく三つに分けられる。

重複関係はSB 4と5、SB 8と10で確認され、SB 10→SB 8の先後関係がある。以下に各建物跡について概述する。

SB 1（第108図）

規模 調査区東半部に位置する。梁行3.4m、桁行3.7mを測る 2×1 間規模の南北棟の建物跡である。柱間は梁行が1.6～1.7m、桁行が3.7mを測る。

主軸方向 N-7°-W

柱穴 挖り方は平面形が円形で、径25～30cmを測る。確認面からの深さは18～30cmを測る。

出土遺物 遺物は出土していない。

SB 2（第109・110図）

規模 SB 1の西に位置し、梁行7.0m、桁行8.6mを測る 2×4 間の母屋に東面に廂が付く南北棟の建物跡である。柱間は梁行が2.6～2.7m、桁行が2.0～2.2mを測る。

主軸方向 N-6°-W

柱穴 挖り方は平面形が隅丸方形で、長軸74～100cm、短軸60～80cmを測る。確認面からの深さは26～56cmを測る。断面形は、側壁が一部オーバーハングして掘り込まれる。廂部分の柱穴は母屋部分の柱穴に比べ、小型で、確認面からの深さも浅い。EB 11、12では礎板が遺存していた。礎板は長さ27cm、幅が22cm、厚さが約6cmを測る。

出土遺物 遺物は出土していない。

SB 3（第111・112図）

規模 SB 2の南に位置する。梁行2.4m、桁行2.5mを測る 2×2 間規模の総柱の建物跡である。

柱間は梁行が1.2m、桁行が1.2～1.3mを測る。

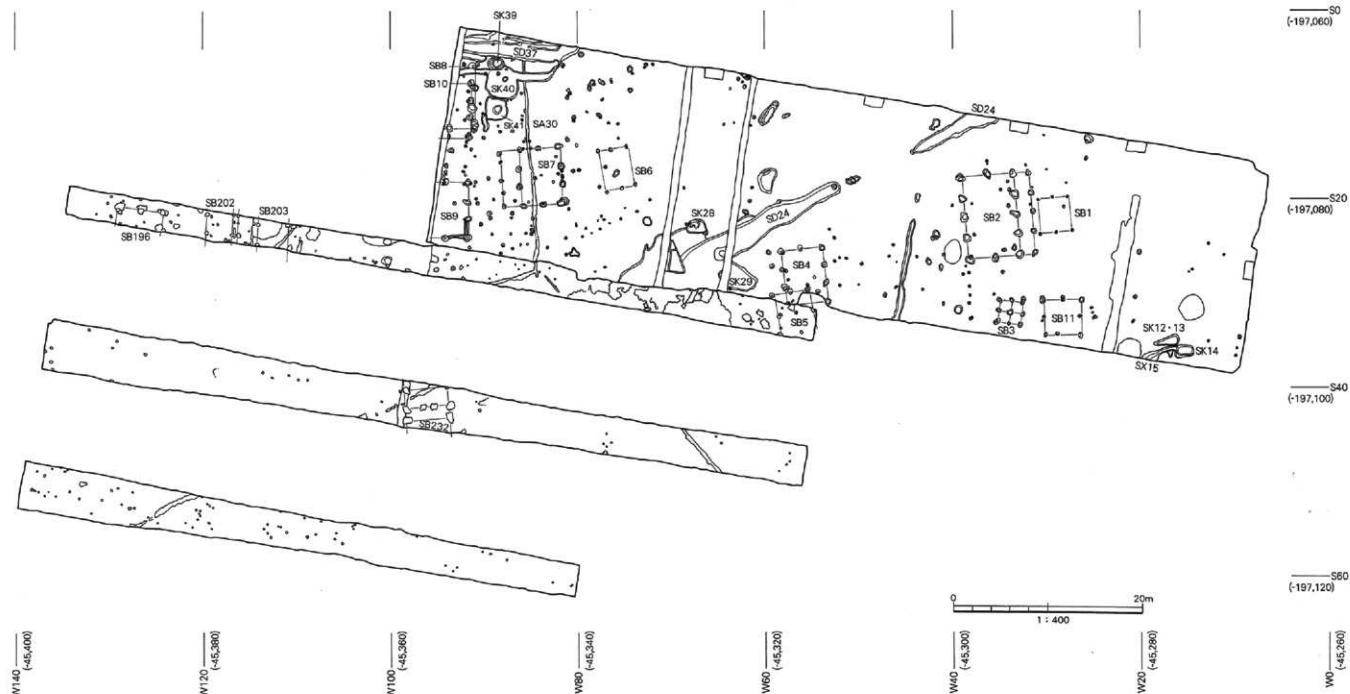
主軸方向 N-7°-E

柱穴 挖り方は平面形が円形や橢円形で、径20～70cmを測る。確認面からの深さは20～48cmを測る。断面形は側壁が一部オーバーハングする。

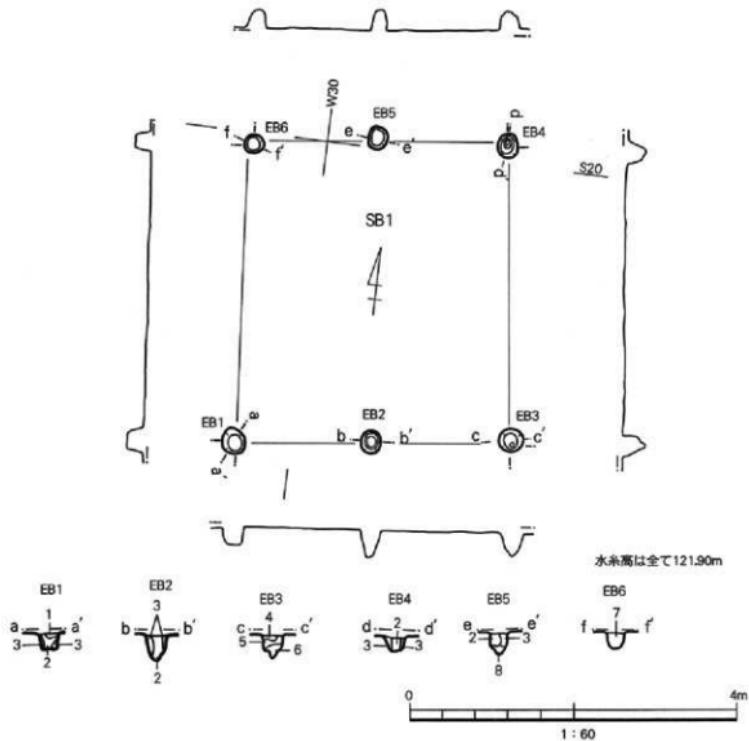
出土遺物 柱穴覆土から須恵器壺（112-1・2）が出土した。壺の肩部で、体部に内外面にハケメによる調整が施されている。他に、土師器甕が出土している。

SB 4（第113図）

規模 調査区中央部に位置し、SB 5と重複関係にあるが、遺構の直接的な切り合いがないため、先後関係は不明である。梁行4.6m、桁行5.7mを測る 2×3 間の南北棟の建物跡である。柱間は梁行が2.1～2.5m、桁行が1.8～2.0mを測る。

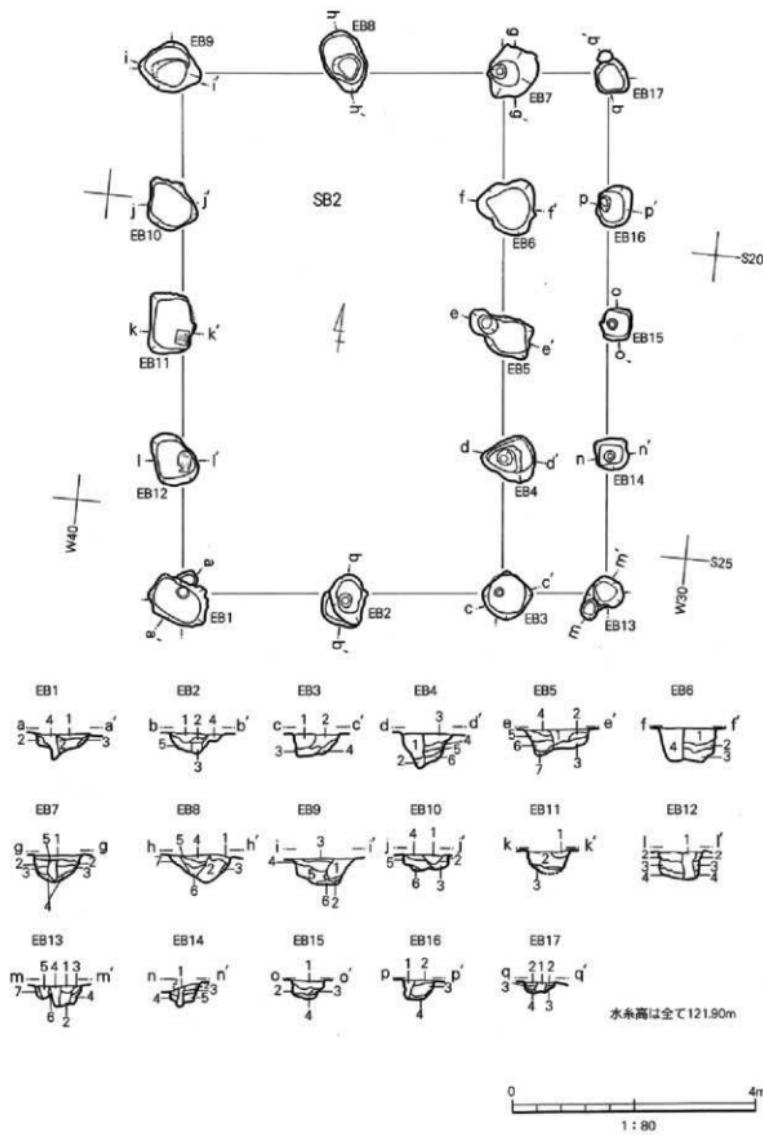


第107図 吉原Ⅲ遺跡遺構配置図



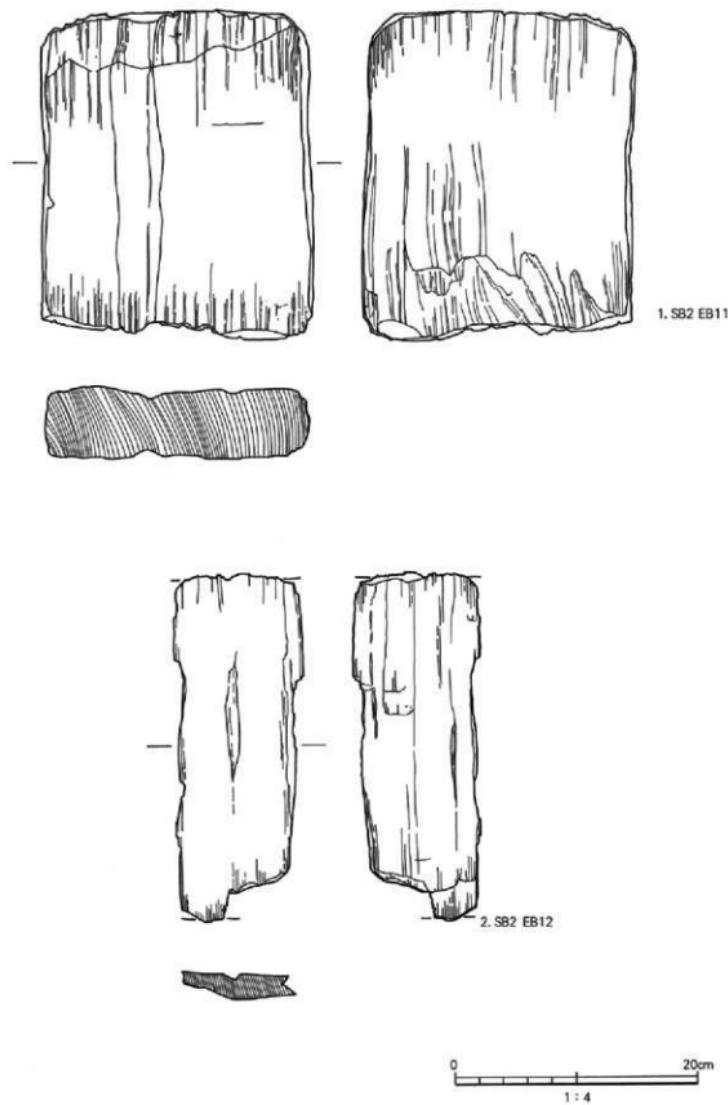
第108図 吉原Ⅲ遺跡SB1櫛立柱建物跡

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB1	1	10YR2/2 黒褐色	土	10YR5/6 黄褐色土粒を少量含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	粘質土	10YR5/6 黄褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	3	10YR4/6 褐色	粘質土	10YR2/2 黑褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10YR4/6 褐色	土	10YR2/2 同ブロックを中程度含む。
	5	10YR2/2 黒褐色	土	やや暗い色調。ほほ均質な層。
	6	10YR2/2 黒褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	7	10YR2/2 黒褐色	粘質土	10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。炭化粒を少量含む。小穂(2~3mm大)を含む。
	8	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘質土	10YR2/2 黑褐色粘質土粒を少量含む。

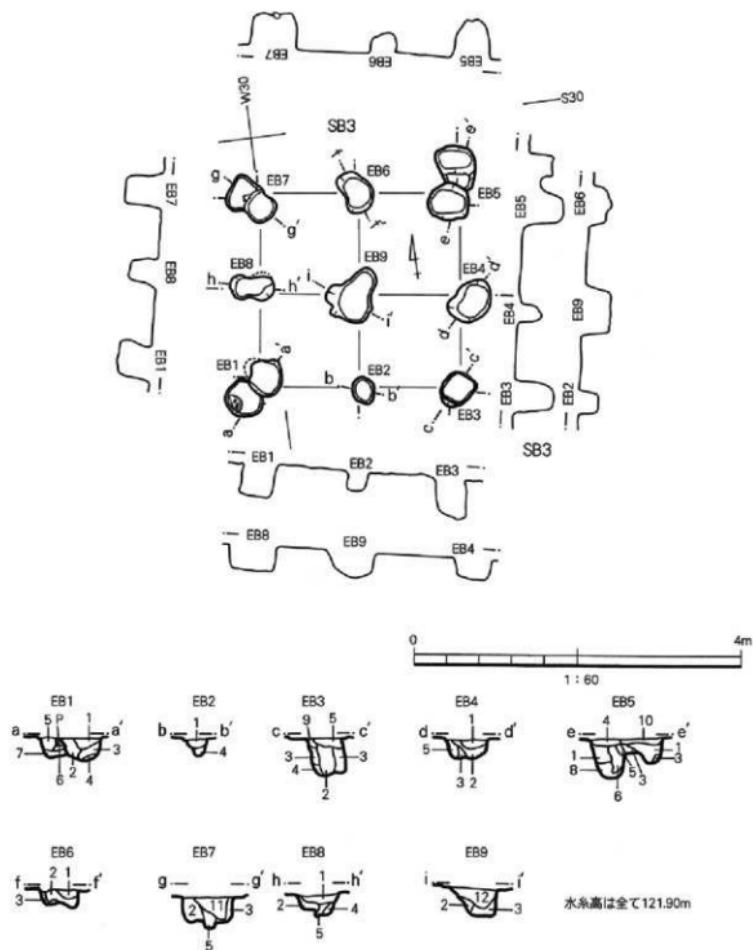


第109図 吉原Ⅲ遺跡SB2掘立柱建物跡

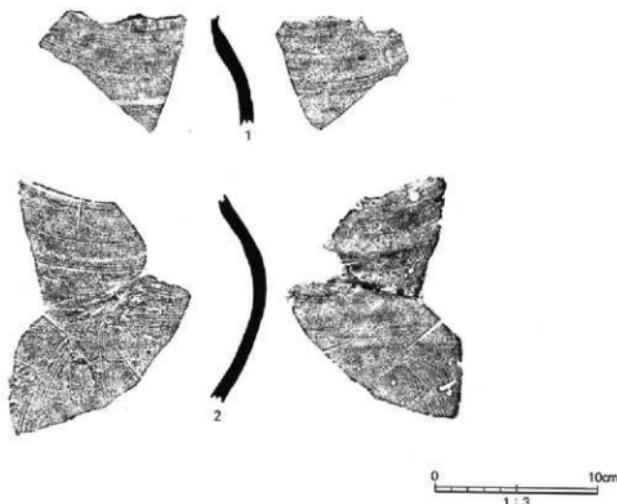
遺跡番号	層 標	土 色	土 質	圖 印
SB2EB1	1	10Y3/2/2 黒褐色	粘質土	IOYR4/6 黒色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	2	10Y3/2/2 黒褐色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒・同ブロック10Y3/3 黑褐色粘質土粒・同ブロックを多量に含む。
	3	10Y3/2/2 黒褐色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒(2~3mm)を少量含む。
	4	10Y3/2/1 黒色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒・同ブロックを少量含む。
SB2EB2	1		EII F1 + 同一。	
	2		EII F3 + 同一。	
	3	10Y3/2/1 黒色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒(2~3mm)を多く含む。柱抜き。
	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
SB2EB3	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	2		EII F1 + 同一。	
	3	10Y3/4/6 黑色	粘質土	やや柱抜けを認めた色斑層。10Y3/2/1 黒色粘質土粒(2~4mm)を少量化。
	4	10Y3/4/6 黑色	粘質土	IOYR2/1 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。小粒を少量化。
SB2EB4	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け。
	2	10Y3/2/1 黑色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量含む。
	3		EII F2 + 同一。	
	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを半量含む。
SB2EB5	1		EII F3 + 同一。	
	2		EII F4 + 同一。	
	3		EII F4 + 同一。	
	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。柱抜き取り組。
SB2EB6	5	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜けを取り組。地山粒・同ブロックをより多く含む。柱抜け取り組。
	6	10Y3/2/1 黑色	粘質土	地山粒・同ブロックをより多く含む。小粒を中程度含む。柱抜け取り組。
	7	10Y3/2/1 黑色	粘質土	地山粒・同ブロックをやや多く含む。柱抜け取り組。
SB2EB7	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	EII F4 + 同一。
	2	10Y3/4/6 黑色	粘質土	EII F4 + 同一。
	3	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量化。
	4		地山粒をわざりに含む。	
SB2EB8	5	10Y3/5/6 黑褐色	粘質土	IOYR2/2 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。柱抜け取り組。
	2	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックをより多く含む。柱抜け取り組。
	3	10Y3/4/6 黑色	粘質土	地山粒・同ブロックをより多く含む。柱抜け取り組。
SB2EB9	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックをより多く含む。IOYR2/1 黑色粘質土粒・同ブロックを少量化。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	IOYR4/6 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	2	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量化。
	3		地山粒をわざりに含む。	
SB2EB10	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	IOYR2/2 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。柱抜け取り組。
	5	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜けを取り組。10Y3/2/2 黑色粘質土粒・同ブロックをより多く含む。
	6	10Y3/2/1 黑色	粘質土	柱抜けを取り組。小粒を中程度含む。10Y3/2/1 黑色粘質土粒をわずかに含む。
	7	10Y3/3/4 黑褐色	粘質土	柱抜けを取り組。小粒を中程度含む。10Y3/2/2 黑色粘質土粒・同ブロックを少量化。
SB2EB11	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	2	10Y3/5/6 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを少量化。
	3	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	IOYR2/2 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。
	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
SB2EB12	5	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロック・10Y3/3/4 黑色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。小粒を中程度含む。
	2	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	3	10Y3/5/6 黑褐色	粘質土	IOYR2/2 黑色粘質土粒・同ブロックを少量化。
SB2EB13	4	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	2	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
SB2EB14	4	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを中程度含む。
	2	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。
	3	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
SB2EB15	4	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。EII F3と同一。泥化を少量化。
	2	10Y3/5/6 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	3	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
SB2EB16	4	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	2	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	地山粒・同ブロックを多く含む。
	3	10Y3/5/6 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
SB2EB17	4	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。
	1	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	2	10Y3/2/2 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	3	10Y3/5/6 黑褐色	粘質土	柱抜け取り組。
	4	10Y3/4/6 黑色	粘質土	柱抜け取り組。



第110図 吉原Ⅲ遺跡SB2出土礎板

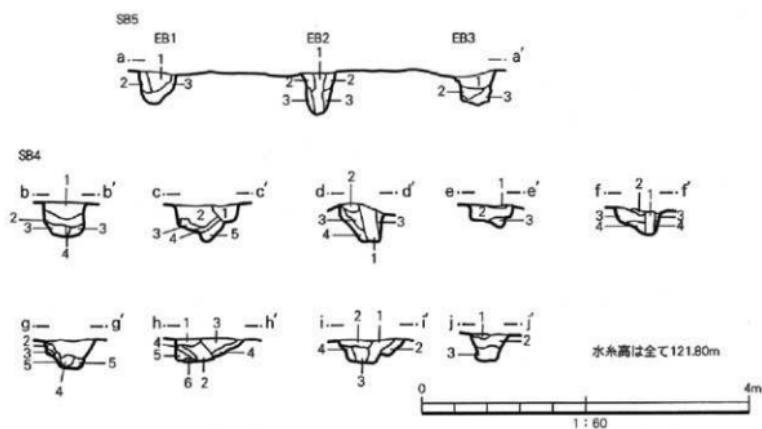
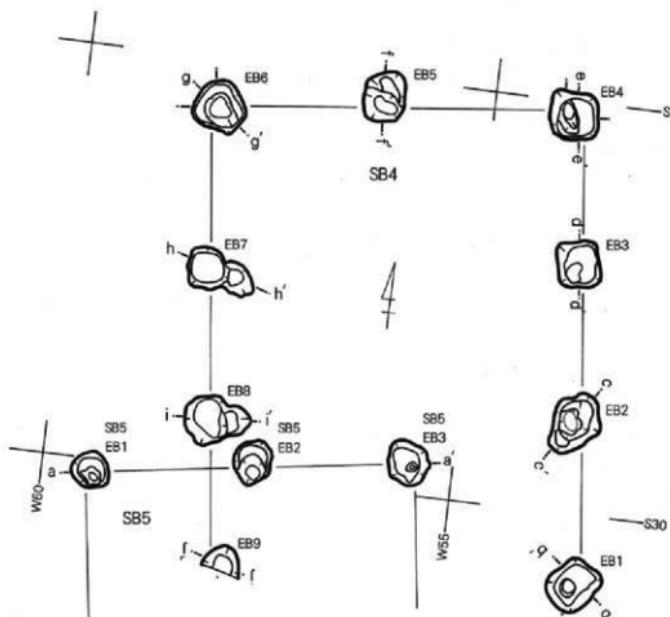


第111図 吉原Ⅲ遺跡SB3櫛立柱建物跡



第112図 吉原Ⅲ遺跡SB3出土土器

遺構番号	層位	土色	土質	備考
SB3	1	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒(2~6mm大)を中程度含む。
	2	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	3	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックを多量に含む。
	4	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘質土	10YR2/1黒色粘質土粒を少量含む。
	5	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒(2~5mm大)を中程度含む。
	6	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックを中程度含む。土器片を含む。
	7	10YR3/4 暗褐色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒・10YR2/1黒色粘質土粒を中程度含む。
	8	10YR4/6 淡褐色	粘質土	10YR2/1黒色粘質土粒を少量含む。
	9	10YR4/6 淡褐色	粘質土	10YR2/1 黑色粘質土粒を少量含む。炭化粒を少量含む。
	10	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒を少量含む。
	11	10YR2/1 黒色	粘質土	桃土粒をわずかに含む。10YR5/6黄褐色粘質土粒・同ブロックをやや多く含む。
	12	10YR2/1 黒色	粘質土	10YR5/6黄褐色粘質土粒(2~3mm大)を少量含む。炭化粒・焼土粒を含む。



第113図 吉原Ⅲ遺跡SB4・5掘立柱建物跡